

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(平成29年)

平成30年11月

名古屋市観光文化交流局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 調査の目的と観光入込客統計に関する共通基準の採用	1
(2) 入込客数	2
(3) 観光消費額	6
2. 調査の集計結果	9
2-1観光客の現状	9
(1) 調査の概要	9
(2) 調査結果	11
2-2宿泊施設調査	33
(1) 調査の概要	33
(2) 宿泊施設の現状	34
(3) 宿泊客数	37
2-3全国から見た名古屋の観光に関する評価	49
(1) 調査の概要	49
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	50
(3) 名古屋に対する評価	53
(4) 観光振興について	57
3. 資料編	58
(1) 主要観光施設への入込動向	58
(2) 名古屋のまちの印象（自由回答より）	62

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成29年）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と観光入込客統計に関する共通基準の採用

①調査目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

②観光入込客統計に関する共通基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、今回の調査から、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準（平成25年3月改定）」に基づき、調査結果の対象期間を年度から暦年に変更して実施した。また、調査を行う観光地点等についても、基準に適合するよう整理を行った。

参考：「観光入込客統計に関する共通基準（平成25年3月改定）」より抜粋

①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点

②観光入込客が適切に把握できる地点であること。

③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

この報告書に記載のある数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

（2）入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体への入込客数調査によって観光入込客延べ人数を算出した。平成29年の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約7,092万人となった。

平成28年度まで採用していた「全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～」の基準をもとにした、観光地点で算出した場合、平成29年度の観光入込客延べ人数（推計）は約6,863万人、観光入込客実人数（推計）は約4,575万人となり、平成28年度と比較すると延べ人数では約180万人の減少、実人数では約152万人の減少となった。

これは10月に連続して発生した台風の影響により、名古屋まつりなど集客の多いイベントの中止が要因と考えられる。

表 1-1-1 観光地点等の分類別入込客数の推移

観光地点等の分類		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成29年度 (参考)	
大分類	中分類						
学ぶ (見る・体験する)	自然	調査地点数				1	1
		入込客述べ人数				54,692	54,692
		対前年度比				-	-
	文化・歴史	調査地点数	26	26	26	37	37
		入込客述べ人数	22,361,685	23,556,367	23,300,401	23,848,487	23,646,692
		対前年度比	▲1.2%	5.3%	▲1.1%	-	1.5%
	産業観光	調査地点数	6	6	6	6	6
		入込客述べ人数	2,175,112	2,274,288	2,149,817	1,364,185	1,338,285
		対前年度比	0.9%	4.6%	▲5.5%	-	▲37.7%
遊ぶ (楽しむ・リフレッシュ)	スポーツ・レクリエーション施設	調査地点数	16	16	15	22	22
		入込客述べ人数	11,412,265	12,059,196	13,263,867	15,897,887	16,037,302
		対前年度比	▲0.8%	5.7%	10.0%	-	20.9%
	温泉						
	買物						
触れ合う (交流する)	行・祭事	調査地点数	16	16	15	15	15
		入込客述べ人数	8,502,057	8,021,482	8,592,346	6,255,906	6,251,149
		対前年度比	28.6%	▲5.7%	7.1%	-	▲27.2%
	イベント	調査地点数	20	20	21	22	22
		入込客述べ人数	22,564,723	22,525,264	23,129,212	23,496,410	23,674,807
		対前年度比	1.3%	▲0.2%	2.7%	-	2.4%
計	調査地点数	84	84	83	103	103	
	入込客述べ人数	67,015,842	68,436,597	70,435,643	70,917,567	71,002,927	
	対前年度比	2.8%	2.1%	2.9%	-	0.8%	

注1：調査した観光地点数は、年・年度によって変動する。

注2：対前年度比の▲はマイナス。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 29 年の観光入込客実人数は 4,728 万人となった。

表 1-1-2-1 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年	平成 29 年度 (参考)
観光入込客延べ人数 (人)	67,015,842 (2.8%)	68,436,597 (2.1%)	70,435,643 (2.9%)	70,917,567 (-)	71,002,927 (0.8%)
平均訪問観光地点数	1.69	1.58	1.49	1.50	1.50
観光入込客実人数 (万人)	3,965 (10.8%)	4,331 (9.2%)	4,727 (9.1%)	4,728 (-)	4,734 (0.1%)

(カッコ内は前年比増減率)

表 1-1-2-2 平成 28 年度までの基準で算出した場合の観光入込客数 (参考)

	平成 29 年度
観光入込客延べ人数 (人)	68,626,104 (▲2.6%)
平均訪問観光地点数	1.50
観光入込客実人数 (万人)	4,575 (▲3.2%)

(カッコ内は前年比増減率)

③居住地別観光入込客数の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、「名古屋市内客」「市外客」別の観光入込客実人数を推計した。居住地別の入込客実人数は、「名古屋市内客」が 1,678 万人で構成比 35.5%、「名古屋市外客」は 3,050 万人で構成比 64.5%だった。

表 1-1-3-1 居住地別観光入込客実人数の推計 (平成 29 年)

	全体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	35.5%	64.5%
観光入込客実人数	4,728 万人	1,678 万人	3,050 万人

表 1-1-3-2 居住地別観光入込客実人数の推計 (平成 29 年度・参考)

	全体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	33.0%	67.0%
観光入込客実人数	4,734 万人 (0.1%)	1,562 万人 (▲8.7%)	3,172 万人 (5.2%)

(カッコ内は前年度比増減率)

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推計した。平成 29 年の延べ宿泊者数は約 890 万人となり、宿泊客平均宿泊日数から推計した宿泊客実人数は約 625 万人となった。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年	平成 29 年度 (参考)
延べ宿泊客数 (人)	7,523,002 (0.2%)	8,453,709 (12.4%)	8,409,011 (▲0.5%)	8,899,856 (-)	8,679,950 (3.2%)
宿泊客実人数 (人)	5,855,719 (▲2.1%)	6,529,101 (11.5%)	6,387,048 (▲2.2%)	6,247,166 (-)	6,235,248 (▲2.4%)
宿泊客平均宿泊日数(日泊)	1.28	1.29	1.32	1.42	1.39

(カッコ内は前年比増減率 ▲はマイナス)

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

観光客の現状調査によって、宿泊施設に宿泊する入込客の居住地を「名古屋市内」と「名古屋市外」に分けて宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5-1 居住地別宿泊客実人数の推計 (平成 29 年)

	全体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	3.5%	96.5%
宿泊客実人数	625 万人	22 万人	603 万人

表 1-1-5-2 居住地別宿泊客実人数の推計 (平成 29 年度・参考)

	全体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	4.2%	95.8%
宿泊客実人数	624 万人 (▲2.3%)	26 万人 (550.0%)	598 万人 (▲5.8%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

⑥ 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推計した。
平成 29 年の日帰り客実人数は 4,103 万人となった。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数推移

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年	平成 29 年度 (参考)
観光入込客 実人数	計	3,965 万人 (10.8%)	4,331 万人 (9.2%)	4,727 万人 (9.1%)	4,728 万人 (-)	4,734 万人 (0.1%)
	市内客	2,109 万人 (45.4%)	1,481 万人 (▲29.8%)	1,711 万人 (15.5%)	1,678 万人 (-)	1,562 万人 (▲8.7%)
	市外客	1,856 万人 (▲12.9%)	2,850 万人 (53.6%)	3,016 万人 (5.8%)	3,050 万人 (-)	3,172 万人 (5.2%)
宿泊客実人数	計	586 万人 (▲2.0%)	653 万人 (11.4%)	639 万人 (▲ 2.1%)	625 万人 (-)	624 万人 (▲2.3%)
	市内客	14 万人 (▲65.9%)	5 万人 (▲64.3%)	4 万人 (▲20.0%)	22 万人 (-)	26 万人 (550.0%)
	市外客	572 万人 (2.7%)	648 万人 (13.3%)	635 万人 (▲2.0%)	603 万人 (-)	598 万人 (▲5.8%)
日帰り客 実人数	計	3,379 万人 (13.3%)	3,678 万人 (8.8%)	4,088 万人 (11.1%)	4,103 万人 (-)	4,110 万人 (0.5%)
	市内客	2,095 万人 (48.7%)	1,476 万人 (▲29.5%)	1,707 万人 (15.7%)	1,814 万人 (-)	1,817 万人 (6.4%)
	市外客	1,284 万人 (▲18.4%)	2,202 万人 (71.5%)	2,381 万人 (8.1%)	2,289 万人 (-)	2,293 万人 (▲3.7%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、宿泊客と名古屋市内・市外日帰り客別に観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。その結果、平成29年の名古屋市内の観光総消費額は3,656億円となった。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成29年度 (参考)
宿泊客実人数		586万人	653万人	639万人	625万人	624万人
日帰り客実人数	市内客	2,095万人	1,476万人	1,707万人	1,814万人	1,817万人
	市外客	1,284万人	2,202万人	2,381万人	2,289万人	2,293万人
宿泊客一人あたり消費額		26,422円	26,353円	24,530円	25,498円	24,442円
日帰り客一人あたり消費額	市内客	3,527円	3,215円	2,905円	3,090円	3,044円
	市外客	7,134円	7,292円	6,211円	6,558円	6,551円
宿泊客総消費額		1,549億円	1,720億円	1,567億円	1,595億円	1,525億円
日帰り客総消費額	市内客	739億円	474億円	496億円	560億円	553億円
	市外客	916億円	1,606億円	1,478億円	1,501億円	1,502億円
名古屋市内観光総消費額		3,204億円	3,800億円	3,541億円	3,656億円	3,580億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での旅行費用項目別の平均消費額を、宿泊客と名古屋市内・市外日帰り客別に設定し、名古屋市内での各項目別の消費額を推計した。

宿泊客の平均消費額は25,498円、市内日帰り客が3,090円、市外日帰り客は6,558円だった。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年	平成29年度 (参考)
食事費消費額	929 億円	1,096 億円	1,082 億円	1,145 億円	1,198 億円
交通費消費額	453 億円	438 億円	435 億円	418 億円	335 億円
土産費消費額	537 億円	900 億円	773 億円	741 億円	719 億円
宿泊費消費額	512 億円	584 億円	523 億円	604 億円	515 億円
入場料消費額	411 億円	363 億円	345 億円	364 億円	385 億円
その他消費額	362 億円	419 億円	383 億円	384 億円	428 億円
観光総消費額	3,204 億円	3,800 億円	3,541 億円	3,656 億円	3,580 億円

表 1-2-3-1 観光客一人あたりの平均消費額 (平成 29 年)

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,570 円	1,207 円	2,252 円
交通費	1,565 円	509 円	994 円
土産費	4,634 円	485 円	1,584 円
宿泊費	9,657 円		
入場料	1,417 円	403 円	884 円
その他	1,655 円	486 円	844 円
合計	25,498 円	3,090 円	6,558 円

表 1-2-3-2 観光客一人あたりの平均消費額 (平成 29 年度・参考)

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,157 円 (▲5.1%)	1,357 円 (21.6%)	2,474 円 (23.8%)
交通費	1,136 円 (▲32.1%)	451 円 (0.0%)	795 円 (▲24.7%)
土産費	4,952 円 (▲3.9%)	433 円 (▲11.8%)	1,445 円 (▲4.4%)
宿泊費	8,247 円 (0.7%)		
入場料	1,714 円 (36.7%)	338 円 (8.6%)	945 円 (11.2%)
その他	2,236 円 (26.4%)	465 円 (▲2.5%)	892 円 (12.3%)
合計	24,442 円 (▲0.4%)	3,044 円 (4.8%)	6,551 円 (5.5%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

表 1-2-4-1 旅行費用項目別総消費額の推計（平成 29 年）

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費消費額	411 億円	219 億円	515 億円	1,145 億円
交通費消費額	98 億円	92 億円	228 億円	418 億円
土産費消費額	290 億円	88 億円	363 億円	741 億円
宿泊費消費額	604 億円			604 億円
入場料消費額	89 億円	73 億円	202 億円	364 億円
その他消費額	103 億円	88 億円	193 億円	384 億円
観光消費額	1,595 億円	560 億円	1,501 億円	3,656 億円

表 1-2-4-2 旅行費用項目別総消費額の推計（平成 29 年度・参考）

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費消費額	384 億円 (▲7.5)	247 億円 (29.3%)	567 億円 (19.1%)	1,198 億円 (10.7%)
交通費消費額	71 億円 (▲33.6%)	82 億円 (▲6.5%)	182 億円 (▲27.5%)	335 億円 (▲23.0%)
土産費消費額	309 億円 (▲6.1%)	79 億円 (▲6.0%)	331 億円 (▲8.1%)	719 億円 (▲7.0%)
宿泊費消費額	515 億円 (▲1.5%)			515 億円 (▲1.5%)
入場料消費額	107 億円 (33.8%)	61 億円 (▲3.2%)	217 億円 (7.4%)	385 億円 (11.6%)
その他消費額	139 億円 (23.0%)	84 億円 (3.7%)	205 億円 (8.5%)	428 億円 (12.0%)
観光消費額	1,525 億円 (▲2.7%)	553 億円 (11.5%)	1,502 億円 (1.6%)	3,580 億円 (1.1%)

2. 調査の集計結果

2-1 観光客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

②調査日時等

●観光施設：名古屋城、東山動植物園、熱田神宮、名古屋市科学館、名古屋港水族館、ノリタケの森

●実施日

- ・春期調査：平成 29 年 3 月 1 日 (水)
- 3 月 4 日 (土)
- 3 月 5 日 (日)
- ※熱田神宮は、 3 月 4 日 (土)
- 3 月 5 日 (日)
- 3 月 8 日 (水)
- ・秋期調査：平成 29 年 11 月 1 日 (水)
- 11 月 4 日 (土)
- 11 月 5 日 (日)
- 11 月 11 日 (土)
- 11 月 12 日 (日)

③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

④調査場所及びサンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

（単位：人）

観光地点名称	春期調査（3月）			秋期調査（11月）			合計
	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	
名古屋城	104	105	104	104	103	103	623
東山動植物園	103	104	104	101	105	102	619
熱田神宮	104	100	103	99	97	102	605
名古屋市科学館	104	103	100	102	106	103	618
名古屋港水族館	101	104	103	100	98	101	607
ノリタケの森	101	102	101	97	102	102	605
全 体	617	618	615	603	611	613	3,677

（注）大分類「学ぶ・（みる・体験する）」・中分類「文化・歴史」では「名古屋城」「東山動植物園」「熱田神宮」「名古屋市科学館」「名古屋水族館」、同・中分類「産業観光」では「ノリタケの森」にご協力いただいた。

(2) 調査結果

①居住地構成、性別・年齢構成

a. 居住地構成

観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」の割合が35.5%と最も高く、「愛知県（名古屋市を除く）」「岐阜県・三重県・静岡県」を合計した「東海」が68.4%を占め、「関東」「近畿」など「東海」以外の地域からの入込客は全体で31.6%である。

観光地点別にみると、「東山動植物園」の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が45.8%と高い。また、「名古屋港水族館」の入込客では8割以上が「東海」居住となっている。一方、「熱田神宮」、「名古屋城」では「関東」をはじめ「東海以外」の地域の割合がそれぞれ43.8%、40.1%となっており、比較的広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地域構成（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	東海				関東	近畿	北陸・甲信越	北海道・東北	中国・四国	九州・沖縄	国外
	名古屋市	愛知県（名古屋市を除く）	岐阜県・三重県・静岡県								
名古屋城	59.9	34.5	18.0	7.4	19.2	9.3	4.4	3.0	1.8	1.1	1.3
東山動植物園	76.5	45.8	19.4	11.3	6.7	6.9	4.2	2.5	0.8	1.1	1.3
熱田神宮	56.2	29.7	17.3	9.2	19.0	9.2	5.4	2.1	2.6	5.2	0.3
名古屋市科学館	68.3	33.7	20.4	14.2	9.1	12.3	6.3	1.1	0.8	1.5	0.6
名古屋港水族館	80.4	35.2	30.8	14.4	4.4	7.1	5.4	0.5	1.0	1.0	0.2
ノリタケの森	68.9	34.3	23.7	10.9	7.0	9.1	6.3	2.5	2.7	2.2	1.3
全 体	68.4	35.5	21.6	11.3	10.9	9.0	5.3	1.9	1.6	2.0	0.9

注：東海：名古屋市、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県

関東：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県

北陸・甲信越：福井県、石川県、富山県、新潟県、長野県、山梨県

北海道・東北：北海道、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県

中国・四国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、大分県、宮崎県、熊本県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、沖縄県

b. 性別・年齢構成

男性が41.2%、女性が58.8%と、女性の割合が男性より高くなっている。

男性は「30～39歳」の割合が19.8%と最も高く、次いで「40～49歳」（19.6%）、「20～29歳」（18.3%）とつづく。女性は「30～39歳」が20.0%と最も高く、次いで「20～29歳」（19.2%）、「40～49歳」（15.9%）とつづく。

全体の観光地点別にみると、「名古屋港水族館」、「名古屋市科学館」、「熱田神宮」では「20～29歳」の割合が全体の割合と比べて高い。一方、「東山動植物園」では「60～69歳」の割合が22.9%、「70歳以上」が15.5%、「名古屋城」では「70歳以上」が16.0%と全体の割合と比べて高い。

男女別でみると、男性は、「東山動植物園」の「30～39歳」の割合が28.5%、「ノリタケの森」の「60～69歳」の割合が24.1%と男性全体の割合と比べて高い。女性は、「東山動植物園」の「20～29歳」の割合が26.9%、「名古屋市科学館」の「20～29歳」の割合が28.7%、「ノリタケの森」の「60～69歳」の割合が22.2%と女性全体の割合と比べて高い。

表 2-1-2 入込客の地点別性別・年齢構成

(単位：%)

性別	観光地点	年齢								男女比
		10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
全体	名古屋城	4.7	13.1	17.7	19.8	11.5	17.2	16.0	-	
	東山動植物園	4.3	10.1	15.0	15.0	17.2	22.9	15.5	-	
	熱田神宮	4.1	21.6	15.6	20.7	11.9	13.9	12.2	-	
	名古屋市科学館	10.7	24.8	23.5	17.5	12.2	8.7	2.6	-	
	名古屋港水族館	11.4	25.5	25.3	14.8	9.0	9.6	4.4	-	
	ノリタケの森	8.5	17.9	22.3	16.6	14.9	12.8	7.0	-	
	合計	7.3	18.8	19.9	17.4	12.8	14.2	9.6	-	
男性	名古屋城	4.6	22.4	15.4	23.2	12.0	12.0	10.4	42.0	
	東山動植物園	8.0	23.6	28.5	16.0	8.4	9.8	5.7	42.7	
	熱田神宮	5.4	12.3	14.8	23.5	11.2	16.2	16.6	45.3	
	名古屋市科学館	10.0	18.9	23.7	20.9	12.4	10.9	3.2	40.3	
	名古屋港水族館	9.7	23.0	22.2	18.1	8.9	11.7	6.4	41.1	
	ノリタケの森	5.5	9.1	13.6	15.0	14.5	24.1	18.2	35.9	
	合計	7.2	18.3	19.8	19.6	11.2	13.9	10.0	41.2	
女性	名古屋城	3.6	21.0	15.6	19.0	12.0	15.4	13.4	58.0	
	東山動植物園	13.9	26.9	23.0	13.9	9.6	9.3	3.4	57.3	
	熱田神宮	4.2	13.8	20.0	16.8	11.7	18.0	15.5	54.7	
	名古屋市科学館	11.1	28.7	23.3	15.2	12.2	7.3	2.2	59.7	
	名古屋港水族館	7.6	14.4	22.5	15.5	19.2	13.5	7.3	58.9	
	ノリタケの森	3.6	10.7	15.8	15.1	18.6	22.2	14.0	64.1	
	合計	7.3	19.2	20.0	15.9	14.0	14.3	9.3	58.8	

※男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」が多く、これをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて87.0%を占める。

時系列で見ると、「観光・娯楽」の割合は8割以上で推移している。

観光地点別にみると、「名古屋城」では「イベント」や「帰省・冠婚葬祭」、「熱田神宮」では「飲食」、「大会・学会・国際会議への出席・参加」、「ノリタケの森」では「飲食」が全体の割合と比較して高くなっている。

図 2-1-1 入込客の主要な旅行目的と構成比の推移

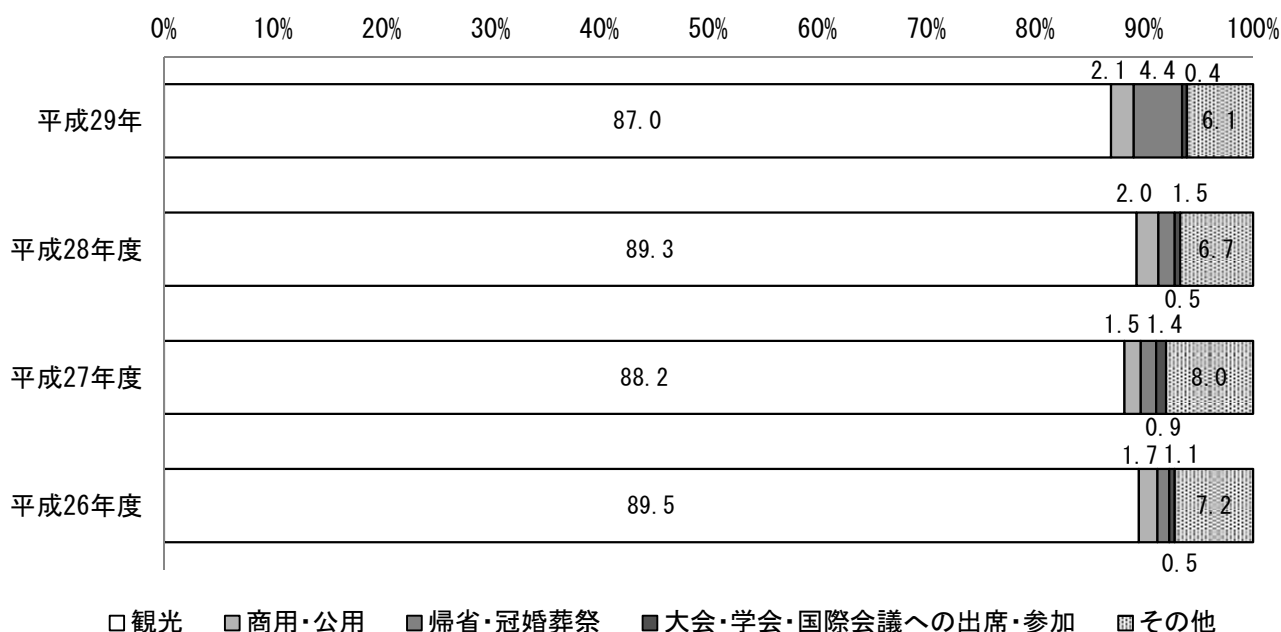


表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的	観光							商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・学会・国際会議への出席・参加	その他
	観光・娯楽計	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為				
観光地											
名古屋城	75.3	52.2	1.3	2.0	15.4	2.3	2.1	3.3	16.4	0.3	4.7
東山動植物園	94.3	69.0	6.2	4.3	7.2	3.4	4.2	0.8	0.8	0.2	3.9
熱田神宮	85.3	60.3	2.9	1.1	9.6	6.7	4.7	2.9	2.4	1.6	7.8
名古屋市科学館	88.5	66.4	4.5	3.7	7.1	3.1	3.7	2.4	2.9	0.2	6.0
名古屋港水族館	89.1	77.1	2.1	0.7	4.2	1.3	3.7	0.6	2.1	0.2	8.0
ノリタケの森	89.2	64.7	5.1	2.3	4.5	6.1	6.5	2.5	2.0	0.2	6.1
全体	87.0	65.0	3.7	2.3	8.0	3.8	4.2	2.1	4.4	0.4	6.1

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した人（全体の86.9%）が名古屋を選んだきっかけとして、「前に来たことがあり良かったから」が34.8%で最も割合が高い。

観光地点別にみると、「東山動植物園」、「名古屋港水族館」では、「前に来たことがあり良かったから」の割合が全体と比較して高い。

図 2-1-2 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

(単位：%)

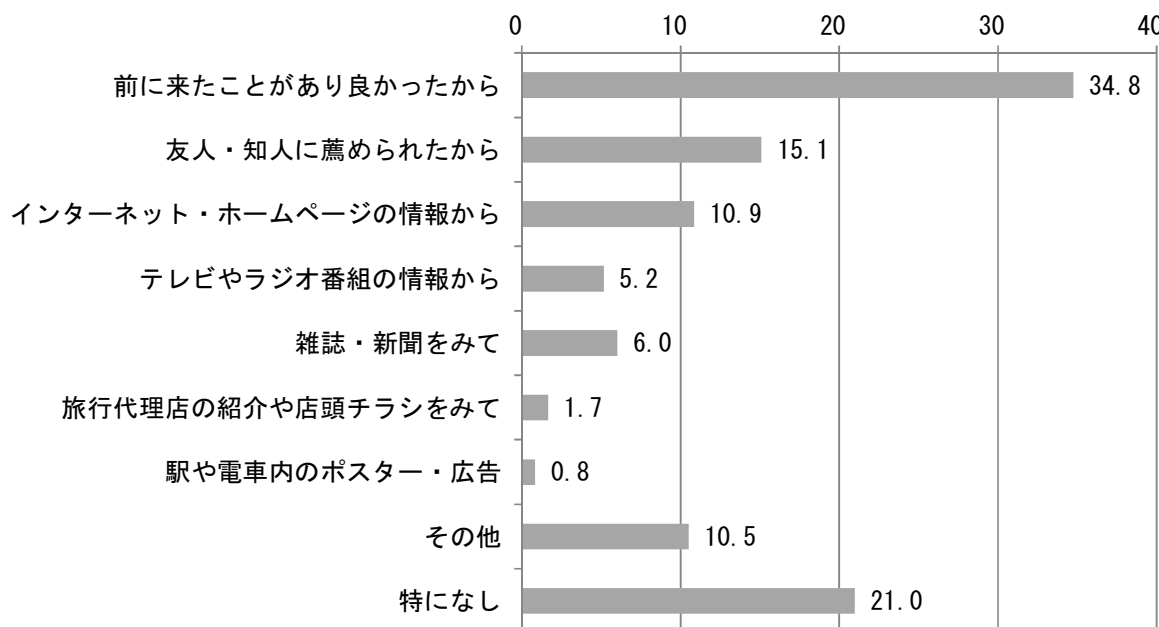


表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	きっかけ	前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	インターネット・ホームページの情報から	テレビやラジオ番組の情報から	雑誌・新聞をみて	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車のポスター・広告	その他	特になし
名古屋城		28.0	16.5	12.6	6.5	7.0	1.7	0.2	11.1	20.2
東山動植物園		43.3	11.1	5.0	5.5	4.3	1.2	0.7	10.1	24.1
熱田神宮		23.2	14.1	9.1	2.7	4.4	1.5	0.6	20.9	28.3
名古屋市科学館		34.6	19.0	13.9	4.8	9.0	1.8	1.3	6.8	15.4
名古屋港水族館		43.7	12.6	11.7	6.7	6.0	0.7	1.1	6.7	20.8
ノリタケの森		33.6	17.8	13.4	4.8	5.6	3.0	1.1	8.0	17.1
全体		34.8	15.1	10.9	5.2	6.0	1.7	0.8	10.5	21.0

(合計値が100を超えるのは複数回答のため)

c. 観光施設への遊覧状況

観光施設への立ち寄り状況を見ると、一人あたりの平均訪問施設数は1.50施設である(計算式は次ページを参照)。

観光地点相互で見ると、「名古屋城」とセットで立ち寄る割合が高く、特に「熱田神宮」では入込客の18.0%が名古屋城に訪れており、他の観光地点と比べて高い。

その他、セットで訪れている観光地点としては、「ノリタケの森」と「トヨタ産業技術記念館」、「名古屋港」と「名古屋港水族館」があり、特に近隣の観光地同士の周遊がみられる。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況(観光地点別)

(単位：%)

訪問施設 \ 観光地点	名古屋城	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	名古屋テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ボストン美術館
名古屋城		3.9	4.5	5.8	5.3	12.8	1.0	3.5	0.6	3.0	0.5	1.4	0.2
東山動植物園	7.8	1.3	1.8	0.6	1.5	2.3	1.0		5.2	1.5	0.3	1.5	0.0
熱田神宮	18.0	1.7	1.7	2.8	2.3		2.0	2.8	0.3	4.3	0.0	0.8	0.5
名古屋市科学館	11.5	2.1	1.6	0.5	1.1	6.0	0.3	1.8	0.6	2.8	2.1	0.8	0.2
名古屋港水族館	10.5	2.3	1.6	1.2	1.2	3.8	0.8	4.4	0.3	2.1	1.2	0.2	0.5
ノリタケの森	15.0	13.4		5.0	3.6	6.4	0.3	1.0	0.2	3.1	0.5	1.0	0.0

訪問施設 \ 観光地点	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	久屋大通庭園フラリエ	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	レゴランド®・ジャパン	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数(施設)
名古屋城	2.2	0.5	0.2	0.3	3.0	1.0	0.3	2.3	0.6	2.9	0.3	0.6	1.56
東山動植物園	0.3	0.5	0.5	0.2	0.6	1.1	0.3	2.3	0.0	1.3	0.8	0.2	1.32
熱田神宮	1.7	0.2	0.2	0.5	2.1	1.8	0.0	0.3	0.0	2.0	0.8	0.7	1.47
名古屋市科学館		2.8	0.3	0.0	3.4	3.6	0.6	3.5	0.5	3.1	1.1	0.2	1.49
名古屋港水族館	2.0	0.7	0.5	0.2		20.6	2.8	3.7	0.0	2.3	3.0	0.3	1.64
ノリタケの森	0.3	0.2	0.2	0.3	1.2	1.0	0.3	0.7	0.5	1.7	0.5	0.2	1.56

(複数回答)

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数 (a) とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定 (b) の合計を調査サンプル数 (a) で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.50 = \{3677(a) + 1844(b)\} \div 3677(a)$$

d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」と同行する観光客が 31.0%で、「幼児・小学生連れ」や「夫婦」など「家族連れ」が合計で 50.1%、「ひとり」が 15.7%となっている。

観光地点別にみると、「ひとり（同行者なし）」が全体の割合と比較して多い地点として「名古屋城」（24.2%）、「熱田神宮」（21.9%）、「幼児・小学生連れ」が多い地点として「名古屋港水族館」（27.5%）、「東山動植物園」（26.5%）、「夫婦」が多い地点として「熱田神宮」（20.0%）が挙げられる。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ計	家族連れ			団体		その他
					幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生	
名古屋城		24.2	26.0	44.7	8.5	16.7	19.5	4.9	0.0	0.2
東山動植物園		13.4	26.9	54.9	26.5	17.0	11.4	4.1	0.2	0.5
熱田神宮		21.9	30.3	44.7	7.5	20.0	17.2	2.3	0.0	0.8
名古屋市科学館		14.7	36.6	45.6	21.7	9.2	14.7	1.6	0.0	1.5
名古屋港水族館		5.7	35.5	58.3	27.5	10.2	20.6	0.0	0.2	0.3
ノリタケの森		14.1	30.5	52.6	20.6	13.8	18.2	1.5	0.5	0.8
全体		15.7	31.0	50.1	18.7	14.5	16.9	2.4	0.1	0.7

「パッケージ旅行」の割合は、全体では4.4%であり、パッケージ旅行ではない割合が9割以上を占める。

地域別にみると、「パッケージ旅行」の割合は、「九州・沖縄」（18.9%）、「関東」（17.0%）、「北海道・東北」（14.1%）の順に多い。

宿泊有無別では「宿泊客」のパッケージ旅行率が8.4%であり、「日帰り客」の利用率（1.8%）に比べて多い。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

（単位%）

観光地点・地域・宿泊		旅行形態	
		パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない
観光地点	名古屋城	6.1	93.9
	東山動植物園	3.8	96.2
	熱田神宮	5.0	95.0
	名古屋市科学館	4.0	96.0
	名古屋港水族館	1.3	98.7
	ノリタケの森	6.5	93.5
地域	東海	1.1	98.9
	名古屋市	0.8	99.2
	愛知県（名古屋市を除く）	1.0	99.0
	岐阜県・三重県・静岡県	2.2	97.8
	関東	17.0	83.0
	近畿	4.2	95.8
	北陸・甲信越	8.2	91.8
	北海道・東北	14.1	85.9
	中国・四国	10.2	89.8
	九州・沖縄	18.9	81.1
その他	25.8	74.2	
宿泊	宿泊客	8.4	91.6
	日帰り客	1.8	98.2
全 体		4.4	95.6

③ 旅行費用

a. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000～3,000円未満」(31.5%)が最も多く、次いで「1,000円未満」(26.9%)とつづく。一方、「交通費はかからない」が17.4%となっている。市内交通費の平均額は1,123円であり、前年度(955円)と比較すると168円増(17.6%増)となった。

交通費の平均額を観光地点別にみると、熱田神宮が1,474円で最も高く、次いで東山動植物園(1,178円)、名古屋市科学館(1,135円)の順となっている。

居住地域別では、「名古屋市外客」は「1,000～3,000円未満」(38.2%)、「1,000円未満」(22.9%)が多く、合わせて6割以上を占めている。一方、「名古屋市内客」は「交通費はかからない」(34.1%)、「1,000円未満」(33.5%)の割合が高く、平均額は582円と低額である。

図 2-1-3 入込客の市内交通費

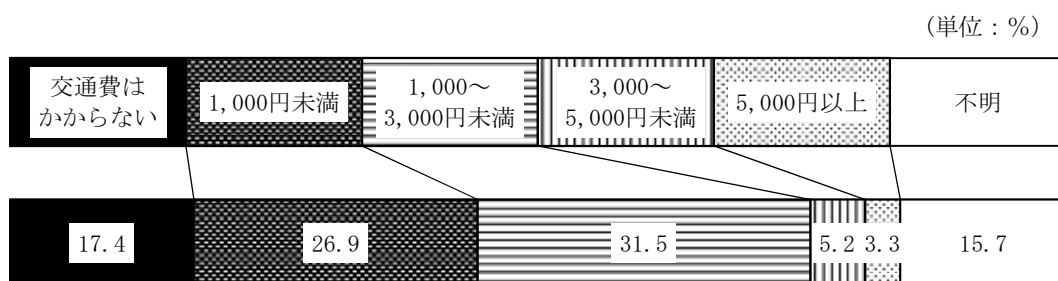


表 2-1-8 入込客の市内交通費 (地点・地域×宿泊別)

(単位：%)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	不明	平均額(円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	14.4	13.8	37.9	9.6	7.1	17.2	1,099
	東山動植物園	22.6	35.5	26.0	2.6	1.6	11.7	1,178
	熱田神宮	26.8	23.6	29.1	3.1	3.0	14.4	1,474
	名古屋市科学館	6.3	39.8	30.6	4.5	3.9	14.9	1,135
	名古屋港水族館	4.0	21.4	45.3	7.1	3.0	19.2	986
	ノリタケの森	30.6	26.9	20.0	4.1	1.3	17.1	796
地域×宿泊	名古屋市内	34.1	33.5	18.8	2.1	0.8	10.7	582
	市内・宿泊	10.0	17.5	22.5	12.5	2.5	35.0	1,522
	市内・日帰り	34.8	34.0	18.7	1.7	0.8	10.0	509
	名古屋市外	8.0	22.9	38.2	6.8	4.7	19.4	1,438
	市外・宿泊	5.6	13.5	42.9	9.6	7.5	20.9	1,902
	市外・日帰り	9.4	28.2	35.6	5.3	3.1	18.4	994
全体		17.4	26.9	31.5	5.2	3.3	15.7	1,123

b. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が全体では50.4%と過半数を占め、支出額では「2,000～5,000円未満」（20.1%）が最も多く、次いで「2,000円未満」（16.5%）とつづく。土産代の平均額は2,188円であり、昨年度と比較すると335円増加している。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」（62.9%）、「名古屋港水族館」（55.2%）の順に高い。

地域×宿泊別にみると、「名古屋市外客」は「土産を購入する」割合が60.3%と高く、特に「名古屋市外からの宿泊客」は82.7%を示す。

図 2-1-4 入込客の市内での土産代

(単位：%)

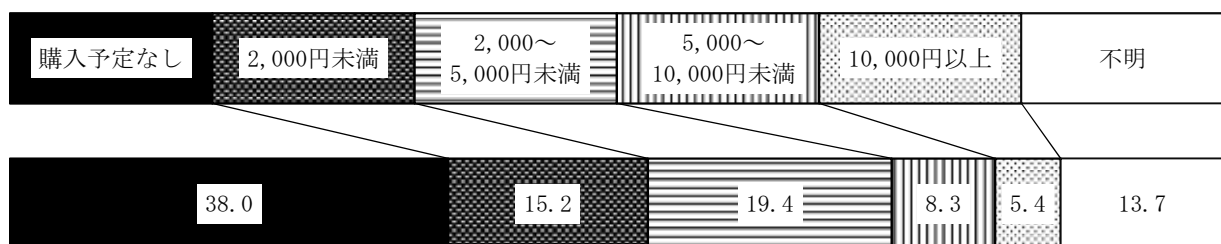


表 2-1-9 入込客の市内での土産代（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

土産代 地点・地域×宿泊		購入予定なし	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	不明	平均額(円)
		観光地点	名古屋城	26.3	14.0	27.8	12.7	8.5
東山動植物園	37.5		28.1	13.7	3.6	3.2	13.9	1,584
熱田神宮	40.3		14.7	19.7	8.9	5.0	11.4	2,870
名古屋市科学館	36.4		17.2	20.1	7.8	4.5	14.0	2,020
名古屋港水族館	30.8		18.6	21.7	9.6	5.3	14.0	2,291
ノリタケの森	45.5		6.0	17.5	8.6	5.8	16.6	1,804
地域×宿泊	名古屋市	57.4	14.9	8.6	1.8	1.4	15.9	782
	市内・宿泊	12.5	12.5	20.0	12.5	32.5	10.0	7,242
	市内・日帰り	58.8	14.9	8.2	1.5	0.4	16.2	485
	名古屋市外	27.6	15.6	25.5	11.9	7.3	12.1	2,859
	市外・宿泊	10.2	10.2	34.9	21.7	15.9	7.1	4,735
市外・日帰り	37.2	18.6	20.2	6.4	2.5	15.1	1,585	
全体		38.0	15.2	19.4	8.3	5.4	13.7	2,188

c. 市内での食事代

市内での食事代をみると、全体では「2,000円未満」が最も多く30.7%であり、次いで「2,000円～5,000円未満」が25.5%となっている。食事代の平均額は3,114円であり、前年度（2,548円）と比較すると566円増（22.2%増）となった。

地域×宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「5,000～10,000円未満」（33.1%）、「10,000円以上」（31.6%）、「2,000円～5,000円未満」（22.4%）の順で多く、平均額は6,487円と最も高額になっている。一方、「名古屋市内の日帰り客」は「2,000円未満」が43.3%と最も多く、次いで「食事代はかからない」が23.5%となっている。

図 2-1-5 入込客の市内での食事代

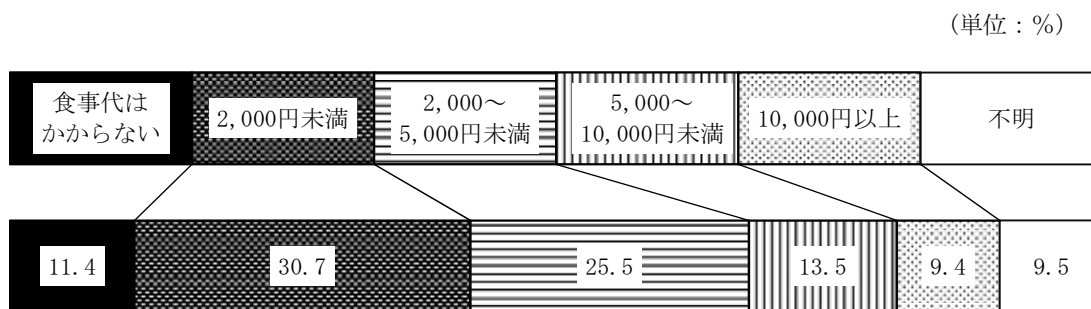


表 2-1-10 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内食事代		市内食事代						平均額 (円)
		食事代は かからない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上	不明	
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	11.2	26.1	22.4	14.9	16.4	9.0	4,160
	東山動植物園	7.3	37.7	29.5	12.2	3.9	9.4	2,430
	熱田神宮	13.1	25.0	24.7	15.9	12.4	8.9	3,376
	名古屋市科学館	8.4	30.9	29.3	12.1	9.2	10.1	3,136
	名古屋港水族館	14.4	30.3	25.5	10.6	7.1	12.1	2,662
	ノリタケの森	19.1	32.8	19.9	10.8	9.3	8.1	2,648
地域×宿泊	名古屋市	22.9	42.2	17.3	4.3	1.8	11.5	1,449
	市内・宿泊	2.5	7.5	47.5	20.0	12.5	10.0	4,208
	市内・日帰り	23.5	43.3	16.4	3.8	1.5	11.5	1,207
	名古屋市外	6.0	24.4	29.6	17.5	14.0	8.5	3,937
	市外・宿泊	1.7	7.2	22.4	33.1	31.6	4.0	6,487
市外・日帰り	8.4	34.0	33.6	8.8	4.1	11.1	2,252	
全体		11.4	30.7	25.5	13.5	9.4	9.5	3,114

d. 市内での宿泊代

「名古屋市内の宿泊施設に宿泊する」と回答した割合は17.0%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000円未満」の割合が12.9%で最も高い。

1泊あたりの宿泊代の平均額は9,657円であり、前年度(8,188円)と比較すると1,469円増(17.9%増)となった。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000円未満」の割合が56.0%を占め、次いで「名古屋市外に宿泊」(13.9%)、「友人・知人の家に宿泊」(13.3%)の順となっている。

図 2-1-6 入込客の宿泊代

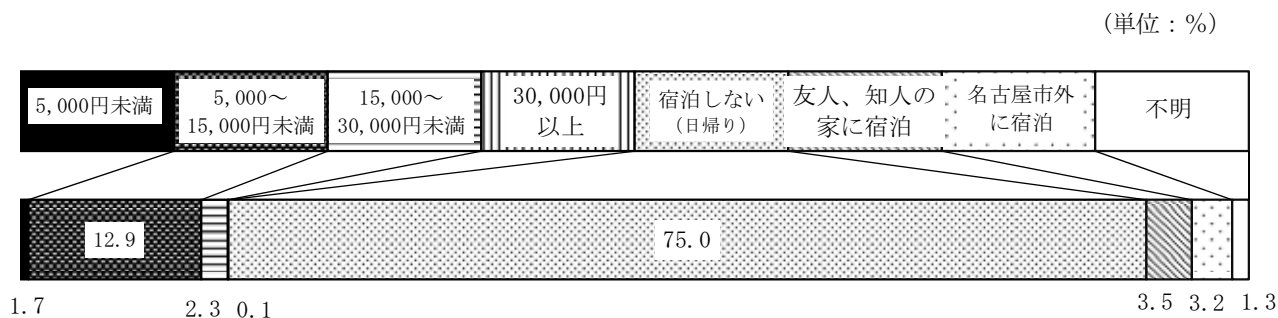


表 2-1-11 入込客の宿泊代 (地点・地域×宿泊別)

(単位：%)

市内宿泊代		5000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	宿泊しない(日帰り)	友人・知人の家に宿泊	名古屋市外に宿泊	不明	平均額(円)
		地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	3.3	16.8	2.6	0.0	67.0	4.1	5.5	0.7	8,555
	東山動植物園	1.0	7.5	1.0	0.0	81.7	4.6	4.2	0.0	8,584
	熱田神宮	2.0	21.1	4.8	0.0	64.4	1.3	3.3	3.1	9,168
	名古屋市科学館	2.4	10.4	1.9	0.2	78.1	4.2	1.8	1.0	8,385
	名古屋港水族館	1.0	10.7	2.0	0.3	76.0	3.3	3.2	3.5	9,543
	ノリタケの森	0.5	10.8	1.5	0.2	82.7	3.3	1.0	0.0	9,594
地域×宿泊	名古屋市	0.5	0.8	0.4	0.1	96.8	1.3	0.1	0.0	-
	市内・宿泊	15.0	25.0	12.5	2.5	0.0	42.5	2.5	0.0	9,500
	市内・日帰り	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	名古屋市外	2.4	19.6	3.4	0.1	62.9	4.7	4.9	2.0	-
	市外・宿泊	6.8	56.0	9.6	0.4	0.0	13.3	13.9	0.0	9,657
市外・日帰り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全体		1.7	12.9	2.3	0.1	75.0	3.5	3.2	1.3	9,657

※平均額は、「宿泊しない」「友人・知人の家に宿泊」「名古屋市外に宿泊」「不明」のデータを含まず算出

e. 市内での入場料

名古屋市内で観光施設等の入場料を支払っている人は、全体では58.6%であり、その金額としては「入場料はかからない」が31.0%で最も高く、次いで「1,000円未満」が26.7%となっている。

観光地点別にみると「ノリタケの森」「熱田神宮」では「1,000円未満（入場料はかからないを含む）」が他地点と比較して多く、それぞれ71.2%、70.8%となっている。

地域別にみると、「名古屋市内客」は、「入場料はかからない」が44.9%を占めるのに対し、「名古屋市外客」では23.4%である。

図 2-1-7 入込客の市内での入場料

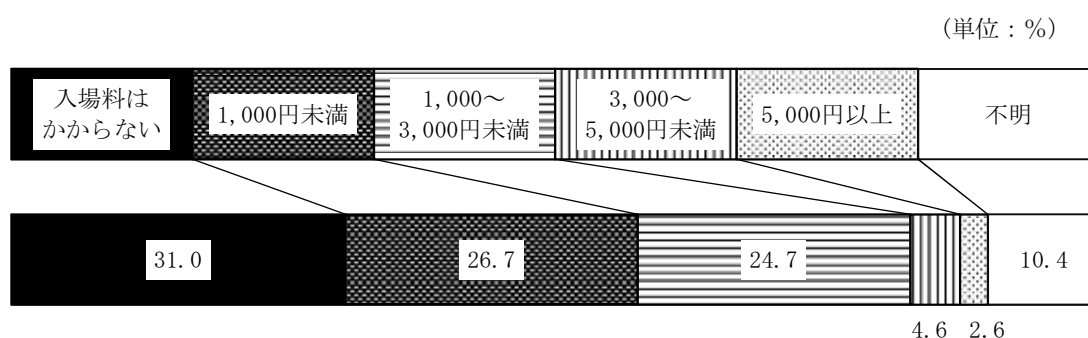


表 2-1-12 入込客の市内での入場料

(単位：%)

入場料		入場料はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	不明	平均額(円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	43.6	15.9	23.8	4.2	2.4	10.1	783
	東山動植物園	15.3	20.8	45.6	6.2	2.6	9.5	1,377
	熱田神宮	34.5	36.3	12.9	2.6	0.8	12.9	553
	名古屋市科学館	11.3	47.1	25.9	5.5	1.6	8.6	1,059
	名古屋港水族館	41.6	9.0	26.5	6.1	7.0	9.8	1,230
	ノリタケの森	40.2	31.0	13.6	2.8	1.0	11.4	519
地域×宿泊	名古屋市内	44.9	26.6	14.5	1.3	1.1	11.6	505
	市内・宿泊	10.0	22.5	35.0	5.0	20.0	7.5	1,997
	市内・日帰り	46.1	26.8	13.8	1.2	0.5	11.6	403
	名古屋市外	23.4	26.8	30.4	6.4	3.4	9.6	1,150
	市外・宿泊	16.7	24.8	35.3	11.4	6.1	5.7	1,488
市外・日帰り	26.6	27.7	27.9	3.7	2.0	12.1	884	
全体		31.0	26.7	24.7	4.6	2.6	10.4	928

f. その他の費用

これまでの項目以外の「その他の費用」は、「その他の費用はかからない」(55.0%)が最も多く、次いで「2,000円未満」(9.8%)、「2,000円～5,000円未満」(7.8%)とつづく。その他の費用の平均額は1,130円であり、前年度(1,008円)と比較すると122円増(12.1%増)となっている。

地域×宿泊別にみると、「名古屋市外客」は、「名古屋市内客」の倍額以上、「その他の費用」を支払っている。

図 2-1-8 入込客のその他の費用

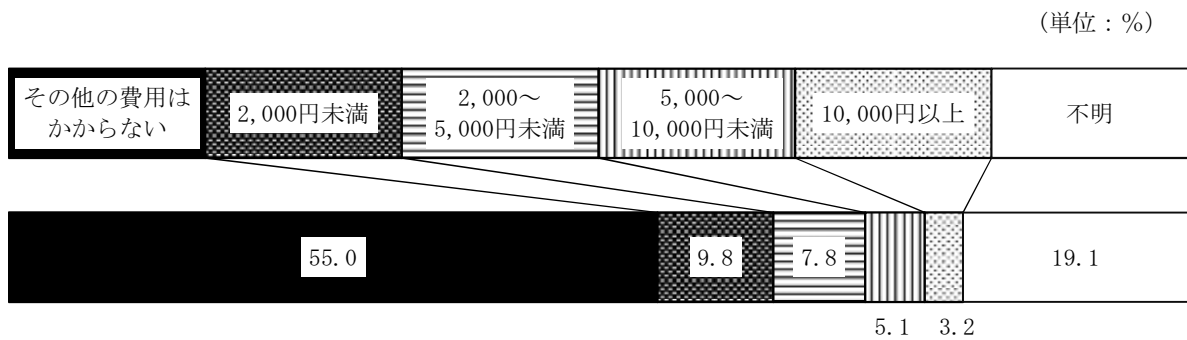


表 2-1-13 入込客のその他の費用

(単位：%)

その他の費用		その他の費用						平均額 (円)
		その他の費用はかからない	2,000円未満	2,000円～5,000円未満	5,000円～10,000円未満	10,000円以上	不明	
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	48.6	11.7	9.6	4.9	5.0	20.2	1,500
	東山動植物園	48.5	12.3	7.5	6.0	4.1	21.6	1,355
	熱田神宮	73.8	3.6	3.8	1.8	2.0	15.0	536
	名古屋市科学館	47.4	11.7	10.0	6.0	3.1	21.8	1,251
	名古屋港水族館	52.7	9.5	5.6	6.0	2.8	23.4	1,155
	ノリタケの森	59.0	10.1	10.1	5.7	2.5	12.6	1,030
地域×宿泊	名古屋市内	62.1	9.0	5.7	3.0	1.6	18.6	656
	市内・宿泊	20.0	15.0	17.5	15.0	7.5	25.0	2,753
	市内・日帰り	63.4	8.8	5.3	2.6	1.4	18.5	486
	名古屋市外	51.1	10.2	8.9	6.2	4.1	19.5	1,393
	市外・宿泊	44.6	8.2	12.5	9.2	6.9	18.6	2,080
市外・日帰り	54.1	11.5	7.0	4.7	2.3	20.4	844	
全体		55.0	9.8	7.8	5.1	3.2	19.1	1,130

① 来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外からの入込客が名古屋を訪れた回数は、「10回目以上」が48.1%と最も多く、「はじめて」訪れた割合は17.4%である。

観光地点別にみると、「はじめて」が全体と比較して多い地点として「熱田神宮」（26.0%）、「名古屋城」（25.0%）が挙げられる。一方、「10回目以上」が多い地点として「名古屋港水族館」（60.7%）、「東山動植物園」（58.1%）が挙げられる。

地域別にみると、「10回目以上」の割合は、東海居住者では8割以上を占めている。一方、東海以外からの入込客では、「はじめて」が32.9%と最も多い。

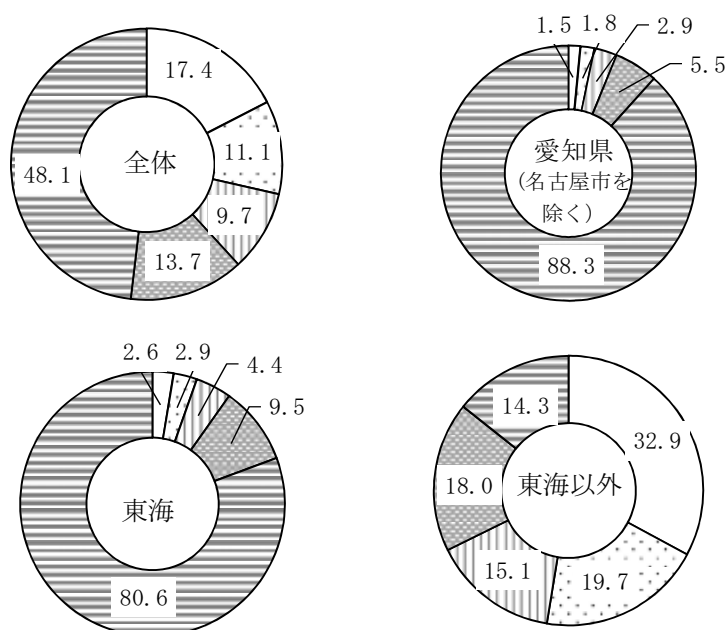
表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数

（単位：％）

観光地点・地域		回数	はじめて	2回目	3回目	4～9回目	10回目以上
観光地点	名古屋城		25.0	14.0	12.3	13.5	35.2
	東山動植物園		8.4	10.0	7.8	15.7	58.1
	熱田神宮		26.0	15.7	10.6	9.9	37.8
	名古屋市科学館		12.9	10.3	7.8	19.5	49.5
	名古屋港水族館		12.0	5.8	8.8	12.7	60.7
	ノリタケの森		17.9	10.6	10.4	11.1	50.0
地域	東海		2.6	2.9	4.4	9.5	80.6
	愛知県（名古屋市を除く）		1.5	1.8	2.9	5.5	88.3
	岐阜県・三重県・静岡県		4.6	5.1	7.2	17.2	65.9
	東海以外		32.9	19.7	15.1	18.0	14.3
全体			17.4	11.1	9.7	13.7	48.1

□ はじめて □ 2回目 □ 3回目 □ 4～9回目 □ 10回目以上

図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）



② 交通機関

名古屋市外からの入込客の名古屋市内への交通手段は、全体では「自家用車」の割合が36.6%で最も高く、次いで「JR」（36.1%）、「名鉄電車」（13.2%）の順となっている。

居住地別にみると、「東海」の各県では「自家用車」の割合が最も高く、次いで愛知県では「名鉄電車」、岐阜県と静岡県では「JR」、三重県では「近鉄電車」の割合が高い。

一方、「東海以外」からの入込客では「JR」が47.8%で最も高く、次いで「自家用車」（26.6%）、「航空機」（9.7%）とつづく。

旅行形態別にみると、「ひとり」、「友人・知人」では「JR」、「家族連れ」では「自家用車」、「団体旅行」では「観光バス」の割合が高い。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

地点・地域・旅行形態		交通機関									
		J R	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計	
調査場所別	名古屋城	34.5	10.3	3.0	35.0	4.8	1.3	7.8	3.8	100.5	
	東山動植物園	39.5	15.7	4.8	28.9	7.8	2.4	4.5	1.2	104.8	
	熱田神宮	43.3	13.1	5.5	30.9	4.1	2.3	3.5	4.1	106.8	
	名古屋市科学館	38.0	14.6	6.1	32.0	5.1	2.9	5.4	2.4	106.5	
	名古屋港水族館	27.3	10.8	3.3	53.9	1.0	2.0	2.0	2.8	103.1	
	ノリタケの森	33.6	15.4	5.6	38.1	6.3	2.5	4.5	1.3	107.3	
地域	東海	24.8	23.7	4.3	46.2	0.0	1.9	1.4	2.2	104.5	
	愛知県（名古屋市を除く）	21.0	29.3	0.6	48.3	0.0	1.5	0.0	2.9	103.6	
	岐阜県	36.0	21.2	2.1	37.0	0.0	3.7	5.8	1.6	107.4	
	三重県	17.3	4.5	39.1	40.0	0.0	3.6	1.8	0.0	106.3	
	静岡県	40.0	7.0	0.0	52.2	0.0	0.0	3.5	0.9	103.6	
	東海以外	47.8	2.4	5.2	26.6	9.7	2.6	7.9	3.1	105.3	
旅行形態	ひとり（同行者なし）	47.1	19.1	5.1	15.4	6.8	3.1	1.7	6.1	104.4	
	友人・知人	43.9	18.4	8.0	22.4	3.7	2.2	4.5	2.9	106.0	
	家族	幼児・小学生連れ	22.6	8.9	2.4	67.1	1.1	0.8	0.3	0.5	103.7
		夫婦	30.7	8.7	1.1	49.6	7.9	1.7	0.8	2.3	102.8
		その他	34.0	9.2	3.7	47.4	4.1	3.0	1.1	2.3	104.8
	団体旅行	15.7	0.0	2.4	7.2	14.5	2.4	65.1	1.2	108.5	
	その他	30.0	20.0	5.0	15.0	5.0	10.0	20.0	0.0	105.0	
全体		36.1	13.2	4.7	36.6	4.8	2.2	4.6	2.7	104.9	

（合計値が100を超えるのは複数回答のため）

③ 名古屋市以外の訪問地

名古屋市外からの入込客のうち、訪問先が「名古屋市内のみ」は74.8%、名古屋市以外にも訪問する人は25.2%である。名古屋市以外の訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿方面」（4.9%）が最も多く、次いで「伊勢・志摩方面」（4.5%）、「明治村・犬山方面」（4.2%）とつづく。

観光地点別にみると、名古屋市以外にも訪問する割合は、「熱田神宮」（31.3%）、「ノリタケの森」（29.3%）、「名古屋港水族館」（28.1%）、「名古屋城」（27.5%）の順で高い。

宿泊客は、名古屋市以外にも訪問する割合が39.9%と、日帰り客の16.1%と比較して高い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

（単位：％）

訪問地 観光地点・宿泊		名古屋市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	伊勢・志摩	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	岐阜・関ヶ原	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	下呂・高山	豊橋・伊良湖	蒲郡・西浦・三谷	多治見・恵那・中津川	瀬戸・小原	豊川・鳳来寺	その他	市外訪問地合計
観光地点	名古屋城	72.5	4.9	6.7	3.6	2.1	2.5	2.8	2.9	1.5	1.1	1.8	2.0	0.8	1.1	2.8	36.6
	東山動植物園	81.3	2.8	3.6	3.3	2.1	1.3	1.5	2.0	1.8	1.1	0.8	1.3	0.7	1.1	0.7	24.1
	熱田神宮	68.7	5.8	5.7	5.3	3.7	3.7	3.6	1.8	1.9	1.3	1.8	1.0	1.5	1.5	1.6	40.2
	名古屋市科学館	84.9	2.9	2.4	3.1	1.9	2.4	1.5	1.5	1.6	0.8	1.3	1.0	1.0	0.0	1.0	22.4
	名古屋港水族館	71.9	7.0	4.4	4.9	5.3	2.9	4.9	4.9	4.0	4.0	2.9	3.1	1.8	1.8	1.5	53.4
	ノリタケの森	70.7	6.3	4.1	5.0	2.8	3.5	2.3	2.7	3.6	2.2	1.5	1.7	1.5	0.7	3.0	40.9
宿泊	宿泊	60.1	10.2	9.6	7.0	4.2	3.9	3.0	2.6	3.1	2.3	1.0	1.3	1.3	0.8	4.2	54.5
	日帰り	83.9	3.0	2.7	2.8	2.5	2.1	2.3	2.4	2.1	1.5	1.7	1.7	1.1	1.1	0.8	27.8
全体		74.8	4.9	4.5	4.2	3.0	2.7	2.7	2.6	2.4	1.8	1.7	1.7	1.2	1.0	1.7	36.1

（合計値が100を超えるのは複数回答のため）

④ 旅行日程

名古屋市外からの入込客の旅行日程は、「日帰り」が58.1%と最も多く、次いで「2日間」(27.1%)、「3日間」(10.6%)とつづく。

観光地点別にみると、「日帰り」の割合が最も高いのは「名古屋港水族館」(71.8%)であり、次いで「名古屋市科学館」(64.4%)、「東山動物園」(61.9%)、「ノリタケの森」(60.2%)となっている。一方、「日帰り」の割合が最も低いのは「名古屋城」で44.6%となっている。

地域別にみると、「東海」居住者は「日帰り」が91.5%と多くを占める一方、「関東」では11.5%と最も日帰りの割合が低い。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

(単位：%)

観光地点・地域		日程				
		日帰り	2日間	3日間	4日間	5日以上
観光地点	名古屋城	44.6	36.1	16.0	1.5	1.8
	東山動植物園	61.9	24.2	8.5	2.7	2.7
	熱田神宮	47.2	35.1	12.6	1.4	3.7
	名古屋市科学館	64.4	23.5	8.6	1.5	2.0
	名古屋港水族館	71.8	17.4	7.8	1.0	2.0
	ノリタケの森	60.2	24.7	9.7	3.1	2.3
地域	東海	91.5	6.8	0.8	0.2	0.7
	関東	11.5	55.0	26.2	3.3	4.0
	近畿	41.5	47.0	8.2	1.8	1.5
	北陸・甲信越	35.7	49.0	13.8	1.0	0.5
	その他	23.5	47.9	20.8	3.6	4.2
全体		58.1	27.1	10.6	1.8	2.4

⑤ 市内での宿泊数

名古屋市外からの入込客の中で「日帰り」客を除いた内、名古屋市内に宿泊する割合は「1泊」が52.3%と最も多く、次いで「2泊」が22.1%を占める。「名古屋市内には宿泊しない」は18.5%を占める。

居住地別にみると、「名古屋市内に宿泊」する割合は、「関東」が86.2%で最も高く、次いで「その他」(82.5%)、「北陸・甲信越」(81.0%)が続く。一方、「東海」からの入込客は「宿泊しない」が27.7%であり、宿泊割合が最も低い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内の宿泊数（地点・地域別）

(単位：%)

市内宿泊数 観光地点・地域		市内宿泊数				
		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上
観光地点	名古屋城	14.9	57.0	22.7	3.6	1.8
	東山動植物園	13.5	50.0	24.6	7.9	4.0
	熱田神宮	19.8	54.2	20.3	3.5	2.2
	名古屋市科学館	12.4	53.8	26.9	4.8	2.1
	名古屋港水族館	33.9	39.3	21.4	2.7	2.7
	ノリタケの森	20.5	52.6	18.0	5.1	3.8
地域	東海	27.7	56.4	11.9	2.0	2.0
	関東	13.8	54.0	27.1	2.3	2.8
	近畿	22.3	61.7	9.8	5.7	0.5
	北陸・甲信越	19.0	60.3	18.3	2.4	0.0
	その他	17.5	51.8	23.3	4.7	2.7
全体		18.5	52.3	22.1	4.5	2.6

⑥ 名古屋の観光評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度は、全体で「大変満足」(32.6%)と「ほぼ満足」(45.6%)を合わせた78.2%が満足と評価している。一方、「不満」は0.3%、「やや不満」は0.8%である。

観光地点別にみると、満足(「大変満足」、「ほぼ満足」の合計)と評価している割合は「名古屋城」、「ノリタケの森」で85.2%、「名古屋市科学館」で83.0%の順に高い。

表 2-1-19 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行満足度
(地点・地域・性別・年齢)

(単位：%)

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
観光地点	名古屋城	42.2	43.0	13.8	1.0	0.0
	東山動植物園	23.2	49.7	25.3	1.5	0.3
	熱田神宮	35.3	41.9	21.7	0.9	0.2
	名古屋市科学館	35.4	47.6	16.3	0.5	0.2
	名古屋港水族館	27.8	49.8	22.1	0.3	0.0
	ノリタケの森	42.3	42.9	13.8	1.0	0.0
地域	東海	31.7	43.2	24.2	0.7	0.2
	愛知県(名古屋市を除く)	31.4	41.2	26.3	0.8	0.3
	岐阜県	37.6	42.8	19.6	0.0	0.0
	三重県	30.0	48.2	20.9	0.9	0.0
	静岡県	26.1	53.0	20.0	0.9	0.0
	関東	37.5	45.2	16.0	1.0	0.3
	近畿	39.0	43.5	16.3	0.3	0.9
	北陸・甲信越	25.5	55.1	18.4	1.0	0.0
その他	33.7	48.1	17.0	0.9	0.3	
性別	男性	29.6	45.9	23.2	1.0	0.3
	女性	34.8	45.5	18.8	0.7	0.2
年齢	10～19歳	46.3	40.7	13.0	0.0	0.0
	20～29歳	39.9	41.4	18.0	0.7	0.0
	30～39歳	28.2	43.6	26.2	1.6	0.4
	40～49歳	24.4	51.5	23.0	0.9	0.2
	50～59歳	34.0	46.6	18.2	0.3	0.9
	60～69歳	27.5	48.3	23.2	1.0	0.0
	70～79歳	35.6	48.8	15.6	0.0	0.0
	80歳以上	31.8	45.5	22.7	0.0	0.0
全体		32.6	45.6	20.7	0.8	0.3

b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が満足した名古屋の観光資源は、「レジャー施設」が38.3%と最も多く、次いで「歴史的な施設」(33.6%)、「グルメ・なごやめし」(13.4%)とつづく。

居住地別にみると、「関東」以外の入込客は「レジャー施設」に満足した割合が最も高い一方、「関東」からの入込客は「歴史的な施設」に満足した割合が53.0%と最も高い。

年齢別にみると、50歳以上のすべての層で「歴史的な施設」の満足度が最も高く、50歳未満のすべての層では「レジャー施設」の満足度が最も高い。

表 2-1-20 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源

(地点・地域・性別・年齢)

(単位：%)

満足した観光資源		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	街歩き	ショッピングや	なごやめし	グルメ・イベント	お祭り・観劇鑑賞	コンサートやスポーツ観戦	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	67.5	5.3	3.8	3.8	10.5	4.5	3.3	4.3	3.0	18.3	124.3	
	東山動植物園	18.1	17.8	35.5	12.0	13.9	0.9	7.2	1.8	5.1	17.8	130.1	
	熱田神宮	71.7	4.1	8.3	10.6	18.0	4.1	3.2	1.6	4.8	11.5	137.9	
	名古屋市科学館	15.1	4.6	72.0	10.0	15.9	2.0	4.6	1.7	2.0	6.6	134.5	
	名古屋港水族館	10.5	3.8	78.4	8.5	10.3	1.5	2.8	2.0	1.5	9.8	129.1	
	ノリタケの森	12.9	39.1	33.3	6.3	11.4	1.5	3.3	1.8	3.5	12.6	125.7	
地域	東海	22.7	10.5	45.4	6.7	7.7	2.6	2.6	2.4	3.1	14.8	118.5	
	愛知県(名古屋市を除く)	22.5	10.7	45.2	6.0	7.2	2.6	2.0	1.9	2.6	15.7	116.4	
	岐阜県	24.9	7.9	47.1	10.1	8.5	3.2	3.2	3.2	5.8	13.2	127.1	
	三重県	15.5	10.0	48.2	4.5	10.0	1.8	3.6	1.8	2.7	18.2	116.3	
	静岡県	27.8	13.9	41.7	7.8	7.8	1.7	4.3	5.2	1.7	7.8	119.7	
	関東	53.0	12.3	23.3	10.0	21.8	3.5	6.8	2.5	3.5	10.0	146.7	
	近畿	35.6	16.3	39.9	8.8	22.4	2.1	5.4	1.8	3.3	8.8	144.4	
	北陸・甲信越	37.2	12.8	39.3	9.2	11.7	1.0	4.1	1.0	1.0	12.2	129.5	
その他	44.8	13.8	31.0	10.3	19.3	2.4	5.4	2.0	3.5	10.2	142.7		
性別	男性	35.2	11.0	36.9	8.2	12.4	3.0	2.8	3.2	3.1	13.9	129.7	
	女性	32.4	12.9	39.3	8.7	14.0	2.1	4.8	1.5	3.4	11.6	130.7	
年齢	10～19歳	23.7	5.6	56.5	15.3	11.3	1.7	3.4	3.4	1.1	11.3	133.3	
	20～29歳	33.3	9.2	45.5	12.4	20.4	2.4	4.1	2.2	2.2	8.8	140.5	
	30～39歳	25.8	8.2	50.7	8.4	12.2	2.0	4.9	2.7	3.8	13.3	132.0	
	40～49歳	34.3	11.4	38.5	8.4	11.8	2.6	3.5	1.9	2.8	16.0	131.2	
	50～59歳	36.1	19.8	22.5	5.6	16.4	2.2	5.6	2.5	3.4	12.0	126.1	
	60～69歳	38.6	19.5	25.2	3.7	7.0	3.4	3.0	1.3	6.0	14.4	122.1	
	70～79歳	50.4	11.9	15.6	0.0	5.9	4.4	1.5	1.5	4.4	12.6	108.2	
	80歳以上	54.5	18.2	13.6	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	122.6	
全体		33.6	12.1	38.3	8.5	13.4	2.5	4.0	2.2	3.3	12.6	130.5	

(合計値が100を超えるのは複数回答のため)

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が今回の名古屋訪問で不満を感じた名古屋の観光資源は、全体では「特になし」が92.3%を占める。個別の観光資源としては、「ショッピングや街歩き」への不満を感じた割合が最も高いが、1.4%にとどまる。

観光地点別、地域別、性別、年齢別にみても、すべての階層で「特になし」が90%近くを占める。

表 2-1-21 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源
(地点・地域・性別・年齢)

(単位：%)

不満を感じた観光資源		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	街歩き	ショッピングや	なごやめし	グルメ・イベント	お祭り・観劇鑑賞	コンサートやスポーツ観戦	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	0.3	0.5	0.3	0.8	0.5	0.0	0.0	0.3	0.8	96.8	100.3	
	東山動植物園	0.6	1.8	0.9	3.3	1.5	0.3	0.3	0.3	1.8	89.8	100.6	
	熱田神宮	1.4	0.5	1.8	1.8	1.6	0.7	0.0	0.5	3.7	89.4	101.4	
	名古屋市科学館	1.0	0.0	1.5	1.5	1.7	0.2	0.7	0.5	1.5	92.0	100.6	
	名古屋港水族館	0.8	0.8	1.8	1.0	0.5	0.8	0.5	0.0	1.8	93.5	101.5	
	ノリタケの森	2.3	0.3	0.8	0.5	1.8	0.0	0.8	0.5	1.5	92.2	100.7	
地域	東海	0.5	0.7	1.2	1.0	1.3	0.2	0.6	0.4	1.2	93.4	100.5	
	愛知県(名古屋市を除く)	0.8	0.9	0.8	0.8	1.3	0.3	0.4	0.4	1.4	93.7	100.8	
	岐阜県	0.0	0.5	1.6	0.5	1.1	0.5	0.0	0.5	1.6	94.2	100.5	
	三重県	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	0.0	2.7	0.9	0.0	89.1	99.9	
	静岡県	0.0	0.0	0.9	0.9	3.5	0.0	0.9	0.0	0.9	93.9	101.0	
	関東	2.3	0.3	1.3	2.5	1.3	0.8	0.3	0.0	2.8	89.8	101.4	
	近畿	1.2	0.6	1.8	0.9	1.8	0.0	0.3	0.3	1.8	92.1	100.8	
	北陸・甲信越	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	99.0	100.5	
	その他	1.6	0.5	1.2	1.9	1.2	0.4	0.2	0.3	2.5	91.1	100.9	
性別	男性	1.3	0.7	0.8	1.6	1.2	0.5	0.6	0.6	2.0	91.5	100.8	
	女性	0.9	0.5	1.5	1.3	1.3	0.2	0.2	0.1	1.7	92.9	100.6	
年齢	10～19歳	0.0	1.1	0.0	1.7	1.1	0.0	1.1	0.6	1.1	93.8	100.5	
	20～29歳	0.7	1.5	1.1	1.1	1.1	0.6	0.4	0.7	0.9	92.1	100.2	
	30～39歳	2.4	0.7	0.9	2.7	1.6	0.7	0.2	0.4	2.2	89.6	101.4	
	40～49歳	0.5	0.0	1.6	0.9	1.9	0.2	0.5	0.0	2.1	93.0	100.7	
	50～59歳	1.2	0.0	0.6	2.5	1.2	0.0	0.0	0.0	1.9	93.2	100.6	
	60～69歳	1.0	0.3	2.3	0.3	1.0	0.3	0.3	0.3	2.7	91.6	100.1	
	70～79歳	0.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	3.0	95.6	101.5	
	80歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
全体		1.1	0.6	1.2	1.4	1.3	0.3	0.4	0.3	1.9	92.3	100.8	

(合計値が100を超えるのは複数回答のため)

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」と回答した割合は66.8%であり、訪れてみたい観光資源としては「レジャー施設」(22.6%)が最も多く、次いで「歴史的な施設」(21.3%)、「グルメ・なごやめし」(13.3%)、「産業観光・ものづくり施設」(12.9%)が多い。

観光地点別にみると、「名古屋港水族館」では、「ショッピングや街歩き」(19.5%)、「スポーツ観戦」(12.5%)の回答割合が全体と比較して高い。

地域別にみると、「東海」、「近畿」は「レジャー施設」、「関東」、「北陸・甲信越」では「歴史的な施設」が最も高い。

性別をみると、「男性」の「スポーツ観戦」(11.0%)が全体の割合と比較して高い。また、年齢別では、「80歳以上」の「歴史的な施設」(36.4%)、「10～19歳」の「ショッピングや街歩き」(20.3%)が全体の割合と比較して高い。

表 2-1-22 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源

(地点・地域・性別・年齢)

(単位：%)

訪れてみたい観光資源		訪れてみたい観光資源											
		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	街歩き	ショッピングや	グルメ・なごやめし	イベント	お祭り・	観劇鑑賞	コンサートや	スポーツ観戦	その他
地点・地域・性別・年齢													
観光地点	名古屋城	20.8	12.5	18.0	5.5	13.8	12.3	6.0	6.3	0.8	38.0	134.0	
	東山動植物園	16.9	6.9	22.9	9.6	9.0	8.7	8.1	4.5	0.3	46.4	133.3	
	熱田神宮	21.2	16.6	21.4	10.8	15.9	11.5	4.4	6.2	2.5	35.3	145.8	
	名古屋市科学館	21.7	15.1	29.5	13.7	12.7	12.0	10.2	6.6	1.5	21.2	144.2	
	名古屋港水族館	22.8	14.8	25.1	19.5	15.5	13.0	8.5	12.5	1.0	25.3	158.0	
	ノリタケの森	23.7	9.8	18.4	8.8	12.1	5.8	6.1	5.6	4.8	35.6	130.7	
地域	東海	21.5	10.8	24.7	13.6	12.7	10.8	9.5	8.2	1.7	34.2	147.7	
	愛知県(名古屋市を除く)	21.4	10.2	24.0	13.1	11.8	10.8	9.1	7.9	1.8	34.3	144.4	
	岐阜県	22.2	9.5	30.2	15.3	15.3	12.7	12.2	9.0	2.1	32.3	160.8	
	三重県	18.2	9.1	20.0	13.6	12.7	13.6	8.2	6.4	0.9	37.3	140.0	
	静岡県	24.3	18.3	25.2	13.9	14.8	5.2	9.6	10.4	0.9	33.9	156.5	
	関東	24.3	16.3	21.5	8.3	14.0	12.0	5.5	6.5	2.5	30.0	140.9	
	近畿	19.3	13.0	23.3	8.8	15.1	10.3	3.9	6.0	1.8	29.9	131.4	
	北陸・甲信越	21.4	10.7	18.4	10.7	14.8	8.2	4.6	6.6	0.5	37.8	133.7	
	その他	21.1	15.1	20.3	9.1	13.9	10.4	4.7	5.8	2.1	32.2	134.7	
性別	男性	18.8	13.3	20.3	9.4	11.9	9.6	5.2	11.0	2.1	34.9	136.5	
	女性	23.1	12.6	24.2	12.8	14.3	11.3	8.6	4.1	1.7	32.0	144.7	
年齢	10～19歳	18.1	9.6	26.6	20.3	16.9	14.1	11.3	7.9	1.1	24.9	150.8	
	20～29歳	18.7	12.7	22.8	12.9	14.2	14.4	8.1	8.2	1.5	27.3	140.8	
	30～39歳	19.8	14.7	28.2	11.1	16.9	13.8	8.0	8.9	2.9	26.4	150.7	
	40～49歳	22.3	13.7	24.8	13.2	13.5	7.4	8.4	8.8	1.4	34.1	147.6	
	50～59歳	24.1	13.0	19.1	8.3	12.7	8.0	4.0	4.0	2.5	38.3	134.0	
	60～69歳	22.8	12.1	18.5	7.4	9.4	6.4	6.0	3.7	1.3	42.3	129.9	
	70～79歳	25.2	11.1	8.9	4.4	4.4	8.1	2.2	4.4	1.5	54.8	125.0	
	80歳以上	36.4	9.1	13.6	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	36.4	122.6	
全体		21.3	12.9	22.6	11.4	13.3	10.6	7.2	7.0	1.9	33.2	141.4	

2-2 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 29 年における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成 28 年度調査により把握した市内宿泊施設（166 施設※1）に平成 29 年に新規開業等（※2）をした施設（10 施設）を加えた 176 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館を除いたものを調査対象とした。

調査に当たっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

※1 昨年度調査対象数は 167 施設から、簡易宿所 1 施設を除いた。

※2 旅館業法に基づき営業許可を取得した旅館・ホテルのうち、平成 28 年度調査対象外であった 2 施設を含む。

③調査項目（巻末調査票参照）

- ・施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- ・タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- ・平成 29 年の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- ・国別、宿泊客数
- ・修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- ・調査時期：平成 30 年 8 月 2 日～8 月 20 日
- ・回答状況：調査対象 176 施設
有効回答数 175 施設
（アンケート票回答 73 施設、実宿泊者数回答 50 施設、延べ宿泊者数回答 55 施設、部分回答（※3）102 施設）
うち新規開業数 10 施設
廃休業数 1 施設

※3 電話・ウェブサイト・昨年度調査結果を基にした補足調査を含む

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象は、昨年度調査対象の167施設のうち、調査で廃休業が判明した1施設と簡易宿所1施設の計2施設を除き、新規開業等施設10施設を加えた175施設を有効回答とした。

有効回答数のうち、アンケート票の回答が得られたのは73施設（対有効回答比41.7%）、実宿泊者数の回答が得られたのは50施設（対有効回答比28.6%）、延べ宿泊者数の回答が得られたのは55施設（対有効回答比31.4%）、部分回答が得られたのは102施設（対有効回答比58.3%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の半数以上を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、客室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200室以上、100室以上200室未満、50室以上100室未満、50室未満

表 2-2-1 回答状況（タイプ、規模別）

（単位：施設）

施設規模		回答状況					廃業	新規開業	調査対象数
		有効回答数	アンケート票回答	実宿泊者数回答	延べ宿泊者数回答	部分回答			
登録ホテル		15	7	6	6	8	0	(0)	15
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	38	15	10	12	23	0	(2)	38
	100室以上 200室未満	48	25	19	18	23	0	(5)	48
	50室以上 100室未満	31	12	7	12	19	0	(3)	31
	50室未満	21	4	2	0	17	1	(1)	22
計		138	56	38	42	82	1	(11)	139
旅館		22	10	6	7	12	0	(0)	22
全体		175	73	50	55	102	1	(11)	176
有効回答数に占める割合		100.0%	41.7%	28.6%	31.4%	58.3%	-	-	-

② 施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが15施設、登録ホテルを除くホテルは138施設、旅館は22施設となっている。また、室数の合計は24,988室、収容人数の合計は37,120人で、前年度調査時点より部屋数では1,458室(6.2%)、収容人数では1,784人(5.0%)の増加となった。

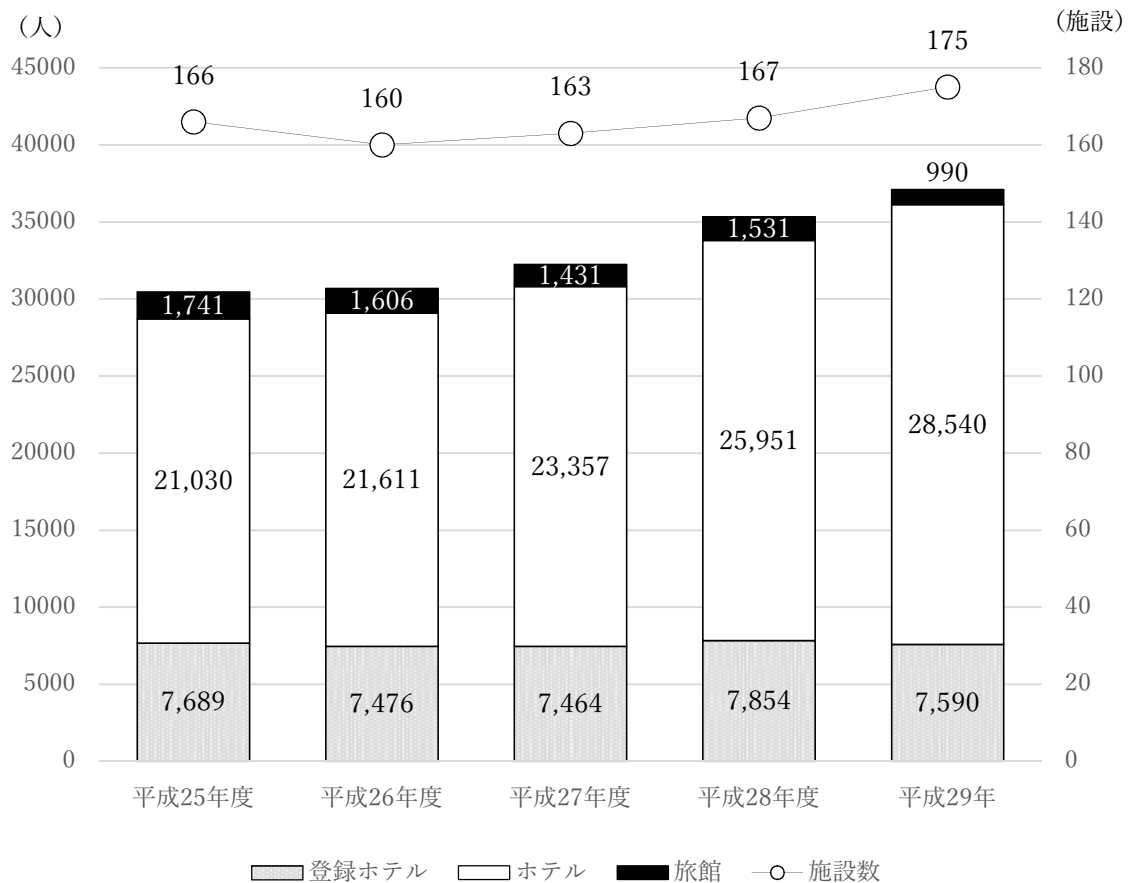
表 2-2-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		室・人員		和室		洋室		和洋室		その他		合計	
		回答数 (施設)	客室 (室)	収容人 数 (人)	客室 (室)	収容人 数 (人)	客室 (室)	収容人 数 (人)	客室 (室)	収容 人数 (人)	客室 (室)	収容人 数 (人)	
登録ホテル		15	8	24	4,708	7,558	3	8	0	0	4,719	7,590	
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	38	10	38	9,916	13,031	0	0	3	6	9,929	13,075	
	100室以上200室未満	48	87	117	6,738	9,329	165	217	0	0	6,990	9,663	
	50室以上100室未満	31	51	141	2,349	3,610	4	19	14	1,286	2,418	5,056	
	50室未満	21	109	214	440	528	2	4	0	0	551	746	
計		138	257	510	19,443	26,498	171	240	17	1,292	19,888	28,540	
旅館		22	335	941	46	49	0	0	0	0	381	990	
全体		175	600	1,475	24,197	34,105	174	248	17	1,292	24,988	37,120	

表 2-2-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年	
	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル	4,898	7,689	4,706	7,476	4,708	7,464	4,630	7,854	4,719	7,590
ホテル	16,020	21,030	16,492	21,611	17,461	23,357	18,318	25,951	19,888	28,540
旅館	631	1,741	577	1,606	531	1,431	582	1,531	381	990
全 体	21,549	30,460	21,775	30,693	22,700	32,252	23,530	35,336	24,988	37,120
施設数	166		160		163		167		175	

図 2-2-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

a. 宿泊者数

平成 29 年の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 890 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 201 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 675 万人泊、旅館が約 13 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 625 万人となっており、1 人あたりの宿泊日数は約 1.42 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 165 万人泊、実人数は約 112 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 17.9%が外国人で構成されており、1 人あたりの宿泊日数は約 1.48 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、宿泊者 1 人あたりの宿泊日数は、旅館が 2.08 日、登録ホテルが 1.75 日、ホテル（登録ホテルを除く）が 1.39 日となっている。

表 2-2-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の年間 総実人数	うち全施設の年間 外国人総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		2,012,706	539,701	1,482,620	367,816
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	3,442,993	647,099	2,463,716	395,329
	100 室以上 200 室未満	2,434,967	385,551	1,907,745	295,430
	50 室以上 100 室未満	754,472	72,416	284,799	53,695
	50 室未満	122,355	4,650	36,951	2,762
合計		6,754,787	1,109,716	4,693,211	747,216
旅館		132,363	1,463	71,335	681
全体		8,899,856	1,650,880	6,247,166	1,115,713

b. 宿泊者数の推移

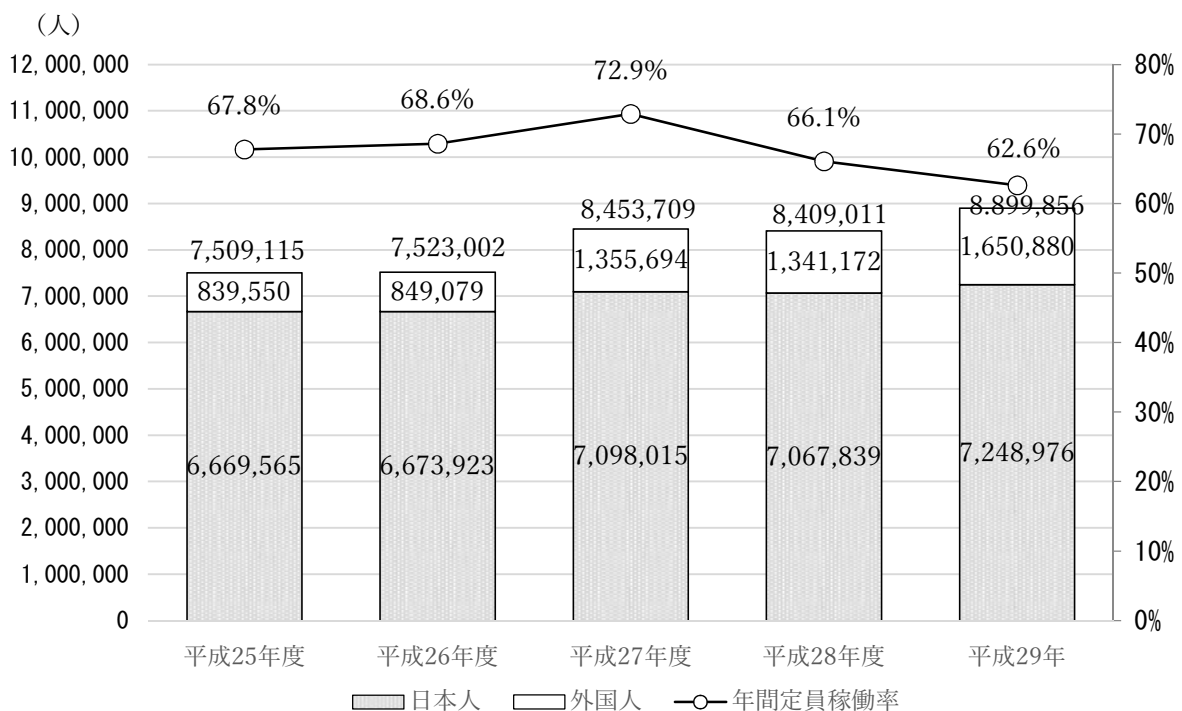
今回の調査より調査対象期間を年度から暦年に変更したことにより、単純な比較は出来ないが、宿泊者数は平成28年度から引き続き減少傾向となった。

外国人宿泊者数は、総実人数が前年度比で約22万人増、総延べ宿泊数は約31万人増となった。

表 2-2-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成29年度 (参考)
年間総実人数（人）	5,979,400	5,855,719	6,529,101	6,387,048	6,247,166	6,235,248
うち外国人	570,030	556,595	1,019,011	893,487	1,115,713	1,046,569
年間総延べ宿泊者数（人泊）	7,509,115	7,523,002	8,453,709	8,409,011	8,899,856	8,679,950
うち外国人	839,550	849,079	1,355,694	1,341,172	1,650,880	1,571,402
年間定員稼働率（%）	67.8%	68.6%	72.9%	66.1%	62.6%	61.7%

図 2-2-2 市内延べ宿泊者数の推移



－ 推計方法 －

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、平成29年の営業日数（365日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答有り施設（55施設）を対象として62.6%の値を得た。区分別にみると、登録ホテルが最も高く、旅館が最も低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する延べ宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-2-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 回答あり施設の 年間延べ 宿泊人数 (人泊)	② 回答あり施設の 1日収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設の 年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		6	792,619	2,989	1,090,985	72.7%
（登録ホテルを除く） ホテル	200室以上	12	1,122,970	4,502	1,643,230	68.3%
	100室以上 200室未満	18	964,908	3,975	1,450,875	66.5%
	50室以上 100室未満	12	418,720	2,806	1,024,190	40.9%
	50室未満	0	0	0	0	-
合 計		42	2,506,598	11,283	4,118,295	60.9%
旅 館		7	37,125	329	120,085	30.9%
全 体		55	3,336,342	14,601	5,329,365	62.6%

注：③＝②×365日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）
④＝①÷③

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設（120施設）の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（5,563,515人泊）を算出した。

表 2-2-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設の 1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設の 年間延べ宿泊者 数の推計値 (人)
登録ホテル		9	4,601	1,679,365	72.7%	1,220,087
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	26	9,301	3,394,865	68.3%	2,320,023
	100室以上 200室未満	30	6,056	2,210,440	66.5%	1,470,059
	50室以上 100室未満	19	2,250	821,250	40.9%	335,752
	50室未満	21	1,110	405,150	30.2%	122,355
合 計		96	18,717	6,831,705		4,248,189
旅 館		15	844	308,060	30.9%	95,239
全 体		120	24,162	8,819,130		5,563,515

注：②＝①×365日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝②×③

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた。(8,899,856人泊)

表 2-2-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		6	792,619	9	1,220,087	15	2,012,706
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	12	1,122,970	26	2,320,023	38	3,442,993
	100室以上 200室未満	18	964,908	30	1,470,059	48	2,434,967
	50室以上 100室未満	12	418,720	19	335,752	31	754,472
	50室未満	0	0	21	122,355	21	122,355
合計		42	2,506,598	96	4,248,189	138	6,754,787
旅館		7	37,125	15	95,238	22	132,363
全体		55	3,336,342	120	5,563,514	175	8,899,856

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設（50 施設）をもとに、延べ宿泊者に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-2-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（6, 247, 166 人）。

表 2-2-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の 年間実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 実人数率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		6	583, 867	792, 619	73. 7%	2, 012, 706	1, 482, 620
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	10	803, 568	1, 122, 970	71. 6%	3, 442, 993	2, 463, 716
	100 室以上 200 室未満	19	755, 985	964, 908	78. 3%	2, 434, 967	1, 907, 745
	50 室以上 100 室未満	7	158, 059	418, 720	37. 7%	754, 472	284, 799
	50 室未満	2	9, 223	0	-	122, 355	36, 951
合 計		38	1, 726, 835	2, 506, 598		6, 754, 787	4, 693, 211
旅 館		6	20, 008	37, 125	53. 9%	132, 363	71, 335
全 体		50	2, 330, 710	3, 336, 342		8, 899, 856	6, 247, 166

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、回答あり施設(46施設)の年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-2-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（1,650,880人）。

表 2-2-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の 年間外国人 延べ宿泊者数 (人泊) ※	② 回答あり 施設の 年間延べ 宿泊者数 (人泊) ※	③ 回答あり 施設の 外人延べ 宿泊者数 (%) ※	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者 数推計値 (人)
登録ホテル		5	158,508	591,124	26.8%	2,012,706	539,701
（登録ホテルを除く） ホテル	200室以上	11	193,852	1,031,420	18.8%	3,442,993	647,099
	100室以上 200室未満	18	152,783	964,908	15.8%	2,434,967	385,551
	50室以上 100室未満	10	26,003	270,915	9.6%	754,472	72,416
	50室未満	0	0	0	-	122,355	4,650
合計		39	372,638	2,267,243		6,754,787	1,109,716
旅館		2	365	33,009	1.1%	132,363	1,463
全体		46	531,511	2,891,376		8,899,856	1,650,880

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

※：「年間外国人総延べ宿泊者数」について回答があった施設の数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設（32施設）をもとに、外国人延べ宿泊者に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表2-2-10）に乗じて算出した。

表 2-2-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり施設の年間外国人 実人数 (人泊) ※	② 回答あり施設の年間外国人延べ 宿泊者数 (人泊) ※	③ 回答あり施設の 外国人 実人数比 (%) ※	④ 全施設の 年間外国人総 延べ宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の年 間外国人実 人数 推計値 (人)
登録ホテル		5	108,026	158,508	68.2%	539,701	367,816
（登録ホテルを除く） ホテル	200室以上	7	80,377	131,566	61.1%	647,099	395,329
	100室以上 200室未満	12	66,179	86,367	76.6%	385,551	295,430
	50室以上 100室未満	6	12,841	17,318	74.1%	72,416	53,695
	50室未満	0	0	0	-	4,650	2,762
合計		25	159,397	235,251		1,109,716	747,216
旅館		2	170	365	46.6%	1,463	681
全体		32	267,593	394,124		1,650,880	1,115,713

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

※：「年間外国人総延べ宿泊者数」及び「年間外国人総実人数」について回答があった施設の数値

②国別外国人宿泊数

国別の外国人宿泊者数について回答が得られた施設は45施設であった。

国別の外国人宿泊者数は「中国」が全体の33.4%と最も多く、次いで「台湾」(21.5%)、「香港」(14.1%)で、合わせて69.0%を示している。以下、「韓国」(10.1%)、「タイ」(5.2%)、「米国」(3.5%)の順となっている。施設分類別に見ても、すべての施設タイプで中国が最も多くなっている。

表 2-2-12 国外、外国人宿泊者数

	登録 ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）					小計	旅館	全体		
		200室 以上	100室以上 200室未満	50室以上 100室未満	50室 未満	回答人数 (人)			推計人数 (人)	割合 (%)	
回答数（施設）	5	8	16	9	1	34	6	45施設	-	-	
中国	22,937	30,730	30,721	6,427	5	67,883	98	90,918	373,151	33.45	
台湾	9,656	25,024	22,157	1,713	2	48,896	16	58,568	240,378	21.54	
香港	4,338	16,674	15,340	2,061	3	34,078	16	38,432	157,735	14.14	
韓国	7,312	8,136	9,374	2,660	0	20,170	10	27,492	112,834	10.11	
タイ	3,476	6,417	3,835	361	0	10,613	1	14,090	57,829	5.18	
米国	1,818	2,528	4,796	420	0	7,744	3	9,565	39,257	3.52	
シンガポール	1,648	2,464	1,390	210	0	4,064	0	5,712	23,444	2.10	
ベトナム	2,148	1,974	511	164	16	2,665	2	4,815	19,762	1.77	
マレーシア	1,344	1,433	706	475	0	2,614	2	3,960	16,253	1.46	
インドネシア	2,265	980	271	119	1	1,371	2	3,638	14,931	1.34	
オーストラリア	717	1,445	1,117	166	1	2,729	2	3,448	14,152	1.27	
英国	383	810	1,288	201	0	2,299	1	2,683	11,012	0.99	
ドイツ	527	858	715	129	0	1,702	1	2,230	9,152	0.82	
フランス	482	536	895	116	0	1,547	0	2,029	8,328	0.75	
カナダ	33	777	46	62	0	885	0	918	3,768	0.34	
フィリピン	4	369	131	6	6	512	6	522	2,143	0.19	
スペイン	0	256	1	30	0	287	0	287	1,178	0.11	
インド	4	184	15	25	0	224	0	228	936	0.09	
イタリア	7	189	3	27	0	219	0	226	928	0.08	
ロシア	24	20	0	0	0	20	0	44	181	0.02	
メキシコ	0	0	0	3	0	3	0	3	12	0.00	
ブラジル	0	9	0	12	0	21	2	23	94	0.01	
フィンランド	0	0	0	2	0	2	0	2	8	0.00	
スリランカ	60	0	0	0	0	0	0	60	246	0.02	
スイス	0	3	0	0	0	3	0	3	12	0.00	
スウェーデン	0	0	0	0	0	0	4	4	16	0.00	
モンゴル	0	0	0	0	0	0	2	2	8	0.00	
アルゼンチン	0	3	0	0	0	3	0	3	12	0.00	
ニュージーランド	0	2	0	1	0	3	0	3	12	0.00	
アフリカ	0	0	3	0	0	3	0	3	12	0.00	
カンボジア	0	0	0	38	0	38	0	38	156	0.01	
パキスタン	0	0	0	7	0	7	0	7	29	0.00	
ブルキナファソ	0	0	0	2	0	2	0	2	8	0.00	
ポルトガル	0	0	0	2	0	2	0	2	8	0.00	
ウクライナ	0	0	0	0	0	0	2	2	8	0.00	
キルギス	0	0	0	0	0	0	3	3	12	0.00	
ネパール	0	0	0	0	0	0	2	2	8	0.00	
その他	0	831	959	75	0	1,865	11	1,876	7,700	0.69	
合計	59,183	102,652	94,274	15,514	34	212,474	186	271,843	1,115,713	100.0	

③修学旅行団体の受入状況

a. 修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 29 年に修学旅行団体を受け入れた宿泊施設は 11 施設（対有効回答 175 施設比 6.3%）であり、学校数は 98 校、宿泊者数は 4,576 人となった。

表 2-2-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	①	②	③
			学校数 (校)	宿泊者数 (人)	1 校あたり 修学旅行 宿泊者数 (人)
登録ホテル		2	28	1,873	67
ホテル (登録ホテルを 除く)	200 室以上	3	10	423	42
	100 室以上 200 室未満	1	4	171	43
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	1	1	60	60
計		5	15	654	44
旅館		4	55	2,049	37
全体		11	98	4,576	47

注：③＝②÷①

表 2-2-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

区分	年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年	
		学校数 (校)	宿泊者数 (人)	学校数 (校)	宿泊者数 (人)	学校数 (校)	宿泊者数 (人)	学校数 (校)	宿泊者数 (人)	学校数 (校)	宿泊者数 (人)
小学校		15	980	18	1,048	37	1,563	29	1,594	28	1,543
中学校		12	469	17	767	28	1,308	29	1,570	5	166
高校		11	747	12	868	27	1,308	16	886	14	958
その他		17	591	35	1,301	24	1,364	39	1,456	51	1,909
全体		55	2,787	82	3,984	116	5,543	113	5,506	98	4,576

b. 地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

全体では98校中41校(41.8%)が近畿地域から、23校(23.5%)が東海・北陸地域から、19校(19.4%)が関東・甲信越地域からの修学旅行団体である。

表 2-2-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	4	0	0	4	0
		関東・甲信越	3	0	0	0	3
		東海・北陸	7	0	3	1	3
		近畿	10	3	1	0	6
		中国・四国	4	0	0	3	1
		九州・沖縄	0	0	0	0	0
		外国・不明	0	0	0	0	0
ホテル (登録ホテル含まず)		北海道・東北	5	0	0	0	5
		関東・甲信越	1	0	0	0	1
		東海・北陸	9	1	0	3	5
		近畿	0	0	0	0	0
		中国・四国	0	0	0	0	0
		九州・沖縄	0	0	0	0	0
		外国・不明	0	0	0	0	0
旅館		北海道・東北	0	0	0	0	0
		関東・甲信越	15	0	1	0	14
		東海・北陸	7	0	0	1	6
		近畿	31	24	0	2	5
		中国・四国	2	0	0	0	2
		九州・沖縄	0	0	0	0	0
		外国・不明	0	0	0	0	0
全体		北海道・東北	9	0	0	4	5
		関東・甲信越	19	0	1	0	18
		東海・北陸	23	1	3	5	14
		近畿	41	27	1	2	11
		中国・四国	6	0	0	3	3
		九州・沖縄	0	0	0	0	0
		外国・不明	0	0	0	0	0
		合計	98	28	5	14	51

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

北海道・東北—北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県

関東・甲信越—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県・新潟県・長野県・山梨県

東海・北陸—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・福井県・石川県・富山県

近畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

中国・四国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県

九州・沖縄—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県・沖縄県

表 2-2-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道					2	178	1	22	3	200
青森県										
秋田県					1	133			1	133
岩手県					1	70			1	70
山形県										
宮城県							2	85	2	85
福島県										
東京都							1	220	1	220
神奈川県							9	204	9	204
千葉県			1	33			5	287	6	320
埼玉県										
群馬県										
栃木県										
茨城県										
新潟県										
長野県							3	72	3	72
山梨県							2	100	2	100
愛知県					3	125	2	42	5	167
岐阜県			3	118	1	33	3	22	7	173
三重県	1	100			1	16	2	42	4	158
静岡県							3	92	3	92
福井県							2	33	2	33
石川県										
富山県							2	127	2	127
滋賀県										
京都府	27	1,443	1	15			4	100	32	1,558
大阪府					2	30	6	363	8	393
奈良県							0	0	0	0
和歌山県										
兵庫県							1	14	1	14
鳥取県					1	174			1	174
島根県					1	172			1	172
岡山県							2	78	2	78
広島県					1	27	1	6	2	33
山口県										
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県										
福岡県										
大分県										
宮崎県										
熊本県										
佐賀県										
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
外国										
不明										
合計	28	1,543	5	166	14	958	51	1,909	98	4,576

2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価 (名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

「名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果」については、調査期間を年度から暦年に変更したことに伴い、平成30年1月に公開した名古屋市観光客・宿泊客動向調査(平成28年度)と同じ調査結果を掲載させていただきます。

(1) 調査の概要

①調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

②調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む18～79歳の男女1,143名(名古屋市を除く)

③調査日時

平成29年3月21日(火)～26日(日)

④サンプリング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性別・年齢別の人口割合を元に、各カテゴリーのサンプル数を求めた(下表参照)。

インターネット調査の対象者

(単位：人)

	男性								女性								合計
	男性計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	女性計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
東海	74	2	12	17	10	12	13	8	76	6	9	6	14	13	17	11	150
関東	197	5	28	33	38	33	35	25	195	5	27	33	38	27	36	29	392
近畿	87	0	14	15	18	13	14	13	86	1	13	15	13	10	18	16	173
北陸・甲信越	37	2	6	4	8	6	5	6	39	2	6	7	3	6	9	6	76
東北・北海道	63	1	9	9	12	11	12	9	70	1	9	11	12	12	14	11	133
中国・四国	48	1	7	8	8	9	8	7	50	0	7	7	10	8	9	9	98
九州・沖縄	54	2	5	9	10	9	11	8	67	1	9	10	12	11	14	10	121
合計	560	13	81	95	104	93	98	76	583	16	80	89	102	87	117	92	1,143

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

東海—愛知県(名古屋市を除く)・岐阜県・三重県・静岡県
 関東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
 近畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
 北陸—福井県・石川県・富山県
 甲信越—新潟県・長野県・山梨県
 東北—青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県
 中国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四国—香川県・徳島県・愛媛県・高知県
 九州—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

①名古屋への訪問状況

a. 過去5年間の名古屋への訪問回数

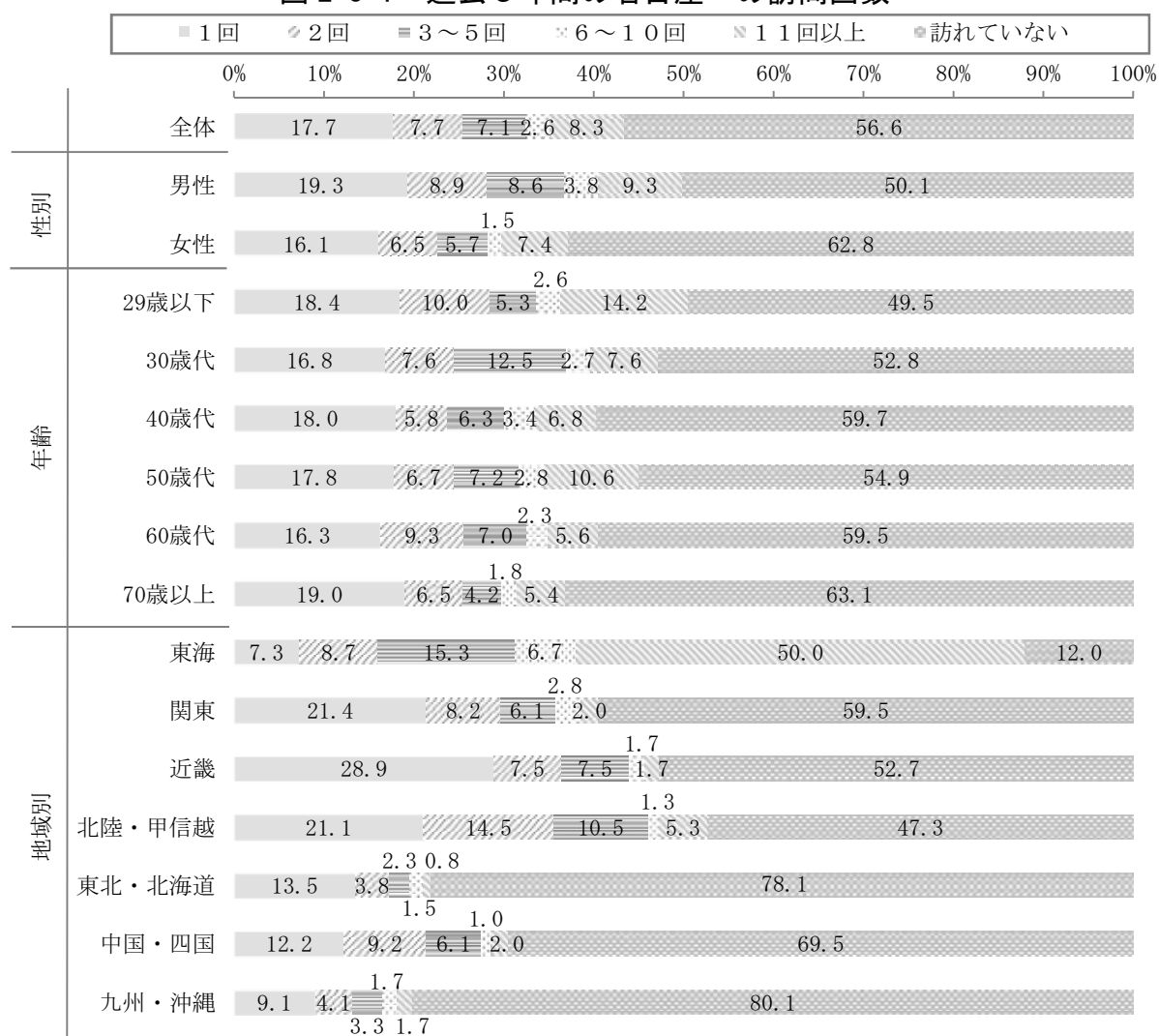
過去5年以内に名古屋を訪れた事がある人は有効回答者1,143人中496人で、割合は43.4%だった。訪問回数としては、「1回」が17.7%と多く、次いで「11回以上」、「2回」、「3～5回」の順となっている。

性別にみると、男性は訪れた割合が49.9%と半数近くを占め、女性より12.7ポイント高い。年齢別にみると、訪れた割合は29歳以下の世代で50.5%と比較的高くなっている。

地域別にみると「東海」では約9割が訪れており、うち「11回以上」が5割を占めている。次いで訪れた割合が高いのは「北陸・甲信越」で半数以上となっている。

訪問回数は、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高い。

図 2-3-1 過去5年間の名古屋への訪問回数



②名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

a. 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で最も認知度が高いのは「名古屋城」で、87.8%が「知っている」と回答した。次いで「なごやめし」(55.9%)、「熱田神宮」(47.2%)、「東山動植物園」(47.2%)、「栄」(36.1%)となっている。「名古屋城」は全ての層で最も認知度が高い観光資源である。

年齢別にみると、「全体」で認知度が高い「名古屋城」、「熱田神宮」、「東山動植物園」は年齢が高くなるほど認知度が増す傾向がある。

地域別にみると、「東海」の認知度が全般に高い。「東海」以外の地域は概ね「全体」と同じ傾向にある。

表 2-3-1 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）

(単位：%)

	名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館(プラネタリウムなど)	名古屋市美術館	名古屋市博物館	ポートビルなど	名古屋港(名古屋港水族館、東山動植物園)	栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	大須(大須観音・大須商店街)	文化のみち(二葉館など)	有松(街並み、有松、鳴海絞会館)	なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、さしめん、みそかつ、手羽先など)	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	知っているものはない	
	全体	87.8	14.3	22.1	47.2	21.4	23.7	16.5	16.9	13.7	10.8	25.4	47.2	36.1	20.3	2.7	8.5	55.9	9.6	8.8	12.3	0.6	7.6
性別	男性	87.5	15.2	22.7	50.5	25.7	27.5	16.6	17.1	14.6	11.6	27.7	49.1	41.4	22.3	3.2	8.9	53.9	10.4	8.8	12.5	0.7	7.5
	女性	88.0	13.6	21.6	43.9	17.3	20.1	16.5	16.6	12.9	10.1	23.2	45.5	31.0	18.4	2.2	8.1	57.8	8.9	8.9	12.2	0.5	7.7
年齢別	20歳未満	86.2	13.8	17.2	24.1	27.6	31.0	20.7	27.6	31.0	24.1	27.6	37.9	31.0	27.6	10.3	17.2	34.5	24.1	24.1	20.7	0.0	6.9
	20歳代	78.9	13.0	14.3	26.1	22.4	24.2	13.0	19.9	13.7	10.6	24.2	29.8	29.8	15.5	3.7	5.6	42.2	10.6	11.2	14.9	0.0	13.7
	30歳代	81.0	13.0	19.0	33.7	22.8	22.3	16.3	17.9	12.0	10.9	26.6	40.2	35.9	21.7	4.3	6.5	49.5	8.7	10.9	10.9	0.0	12.5
	40歳代	91.3	8.7	17.0	38.8	18.4	22.3	16.0	15.5	10.7	7.8	22.8	44.7	38.8	20.9	2.4	6.3	61.2	7.3	7.3	13.1	1.0	6.3
	50歳代	90.6	13.9	20.0	52.8	28.9	26.7	19.4	20.6	17.2	13.9	29.4	53.3	41.1	21.1	0.6	10.6	65.6	8.9	7.2	11.7	0.6	3.9
	60歳代	90.7	16.3	27.0	61.4	22.3	22.8	17.7	13.0	12.1	8.8	25.1	55.3	37.2	20.5	1.4	9.3	60.5	9.8	7.9	11.6	0.5	4.2
	70歳以上	92.9	22.0	36.3	72.0	12.5	23.2	15.5	13.7	14.9	11.9	23.8	59.5	33.3	20.2	3.0	11.3	57.1	10.7	6.5	10.7	1.8	6.5
居住地	東海	94.0	42.7	49.3	87.3	62.0	48.0	54.7	68.7	49.3	38.0	72.0	85.3	80.0	72.0	8.7	40.0	75.3	38.7	43.3	55.3	0.7	4.0
	関東	86.0	10.5	19.6	44.1	17.3	20.7	11.7	8.4	8.7	7.4	18.1	42.3	30.1	14.5	2.6	4.8	54.3	5.9	4.1	5.9	1.3	9.2
	近畿	88.4	11.0	19.1	48.0	24.3	22.0	15.0	11.0	9.8	8.7	20.8	44.5	37.6	18.5	2.3	4.6	54.9	7.5	4.0	7.5	0.6	5.2
	北陸・甲信越	86.8	9.2	23.7	42.1	17.1	27.6	13.2	19.7	9.2	7.9	30.3	56.6	36.8	15.8	0.0	1.3	52.6	3.9	1.3	6.6	0.0	7.9
	東北・北海道	84.2	11.3	16.5	33.1	6.8	15.8	9.8	8.3	8.3	5.3	19.5	32.3	24.1	3.8	0.8	2.3	49.6	4.5	2.3	3.8	0.0	8.3
	中国・四国	84.7	14.3	17.3	30.6	13.3	21.4	9.2	7.1	9.2	7.1	17.3	31.6	17.3	7.1	3.1	4.1	48.0	6.1	8.2	11.2	0.0	10.2
九州・沖縄	91.7	3.3	9.9	38.0	5.8	14.0	2.5	4.1	4.1	2.5	7.4	43.0	27.3	9.1	0.0	1.7	53.7	0.8	0.8	0.8	0.0	7.4	

b. 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋を訪れたと回答した回答者（496人）が訪問または経験したものでは「なごやめし」（43.1%）の割合が最も高く、それに「名古屋城」（40.9%）、「栄」（31.7%）、「熱田神宮」（24.6%）、「大須」（20.2%）と続く。一方、「訪問した場所又は経験したものはなし」の割合は18.3%だった。

上記の観光資源の訪問・体験状況に関しては男女共に同様の順位だった。一方で、男女差をみると、「リニア・鉄道館」「トヨタ産業記念館」は男性が多く、「徳川園」「名古屋市科学館」「名古屋市美術館」は女性が多い傾向があった。

年齢別にみると、多くの観光地で20歳未満の訪問率が高くなっている。

地域別にみると、「名古屋城」、「名古屋めし」、「熱田神宮」は、「東海」居住者・その他の地域の居住者共に訪問率が高い。「名古屋市科学館」、「名古屋港」、「大須」は、「東海」での割合は高いが、その他の地域では10%程度以下となっている。

表 2-3-2 名古屋の観光資源の訪問・体験状況（複数回答）

（単位：％）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（フナネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松、鳴海絞会館）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、さしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	訪問した場所又は経験したものはなし
全体		40.9	9.7	11.7	24.6	10.1	9.9	9.3	10.9	7.3	4.8	16.1	17.1	31.7	20.2	3.2	5.6	43.1	5.4	4.8	5.0	2.8	18.3
性別	男性	39.8	8.6	10.4	22.9	11.5	11.8	9.0	9.0	5.7	4.7	14.7	15.4	33.3	19.7	3.2	6.1	43.0	5.4	6.5	6.5	2.2	17.6
	女性	42.4	11.1	13.4	26.7	8.3	7.4	9.7	13.4	9.2	5.1	18.0	19.4	29.5	20.7	3.2	5.1	43.3	5.5	2.8	3.2	3.7	19.4
年齢別	20歳未満	41.2	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	35.3	29.4	29.4	23.5	29.4	41.2	41.2	17.6	23.5	47.1	23.5	17.6	29.4	0.0	11.8
	20歳代	44.3	10.1	8.9	21.5	8.9	10.1	8.9	13.9	6.3	6.3	5.1	16.5	31.6	21.5	3.8	6.3	35.4	7.6	5.1	6.3	0.0	17.7
	30歳代	34.5	5.7	10.3	21.8	12.6	8.0	11.5	8.0	5.7	5.7	5.7	21.8	31.0	14.9	4.6	4.6	37.9	4.6	5.7	8.0	1.1	26.4
	40歳代	41.0	7.2	9.6	28.9	18.1	10.8	9.6	14.5	3.6	3.6	2.4	21.7	28.9	21.7	2.4	8.4	50.6	4.8	7.2	6.0	3.6	16.9
	50歳代	30.9	3.7	2.5	21.0	1.2	6.2	4.9	6.2	1.2	1.2	1.2	9.9	42.0	24.7	0.0	2.5	49.4	2.5	3.7	1.2	4.9	16.0
	60歳代	43.7	11.5	19.5	24.1	9.2	6.9	8.0	6.9	12.6	12.6	4.6	11.5	28.7	16.1	2.3	4.6	41.4	3.4	2.3	1.1	4.6	21.8
	70歳以上	54.8	19.4	17.7	32.3	6.5	16.1	9.7	11.3	9.7	9.7	6.5	19.4	24.2	17.7	3.2	3.2	43.5	6.5	1.6	1.6	3.2	9.7
居住地	東海	33.3	11.4	14.4	35.6	12.1	12.1	12.9	26.5	14.4	7.6	36.4	31.1	58.3	53.0	6.1	9.8	51.5	10.6	9.1	7.6	3.0	17.4
	関東	44.7	9.4	11.9	22.0	10.7	6.9	10.7	6.3	5.7	4.4	8.2	13.2	18.9	8.8	1.9	4.4	41.5	2.5	4.4	4.4	2.5	21.4
	近畿	42.7	6.1	9.8	19.5	8.5	9.8	4.9	2.4	6.1	4.9	9.8	9.8	24.4	7.3	2.4	6.1	41.5	4.9	2.4	2.4	2.4	15.9
	北陸・甲信越	40.0	2.5	7.5	15.0	2.5	7.5	2.5	2.5	0.0	0.0	10.0	15.0	32.5	12.5	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2.5	5.0	12.5
	東北・北海道	55.2	13.8	13.8	27.6	6.9	10.3	10.3	10.3	3.4	3.4	10.3	3.4	17.2	3.4	3.4	3.4	34.5	3.4	3.4	3.4	0.0	20.7
	中国・四国	46.7	20.0	16.7	13.3	23.3	20.0	13.3	10.0	6.7	6.7	13.3	16.7	13.3	6.7	6.7	6.7	36.7	13.3	6.7	13.3	3.3	20.0
	九州・沖縄	29.2	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	33.3	8.3	0.0	0.0	20.8	0.0	0.0	0.0	4.2	16.7

(3) 名古屋に対する評価

a. 名古屋への今後の訪問意向

名古屋への今後の訪問意向は、「機会があれば訪れたい」が60.4%で最も高い。これに「是非訪れたい」(26.4%)を合わせて、86.8%の人に訪問する意向がある。

「是非訪れたい」、「機会があれば訪れたい」を合わせた訪問する意向がある割合は、性別、年齢別、居住地別で差は見られない。

一方、「是非訪れたい」という強い意向は、年齢別では「20歳未満」が58.6%と飛び抜けて高い。「20歳代」(37.3%)、「30歳代」(35.3%)と続き、年齢が若いほど訪問意向が強い傾向がある。

居住地別にみると「東海」が46.0%と最も高く、「北陸・甲信越」(30.3%)、「関東」(24.7%)と続いた。

図 2-3-2 名古屋への訪問意向



b. 訪れたい名古屋観光資源

今後の訪問意向がある回答者（992人）が訪問したい場所または経験したいものとしては、「なごやめし」（45.6%）と「名古屋城」（44.0%）が半数弱と人気が高かった。次いで人気の高い順に「熱田神宮」（24.7%）、「レゴランド®・ジャパン」（24.5%）、「東山動植物園」（24.1%）、「徳川美術館」（23.6%）、「リニア・鉄道館」（23.5%）、「名古屋港」（21.5%）となっている。

性別でみると「リニア・鉄道館」と「トヨタ産業技術記念館」は男性の訪問意向が比較的高く、「ノリタケの森」「有松」は女性の訪問意向が比較的高かった。

年齢別にみると、「20歳未満」は多くの観光地への訪問意向を有しており、特に「名古屋市科学館」、「名古屋港」、「大須」、「文化のみち」、「有松」、「名古屋まつり」、「にっぽんど真ん中祭り」、「名古屋おもてなし武将隊」は、他の年齢層と比較して訪問意向が高かった。

表 2-3-3 訪れたい名古屋観光資源（複数回答）

（単位：％）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、ポトビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松、鳴海絞会館）	レゴランド®・ジャパン	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	訪問したい場所または経験したいものはない
全体		44.0	19.7	23.6	24.7	23.5	18.4	16.3	16.9	14.8	11.9	21.5	24.1	17.1	13.0	7.1	8.4	24.5	45.6	11.2	7.8	5.8	1.6	4.9
性別	男性	45.1	20.6	24.9	22.9	29.8	25.7	11.2	13.9	14.3	12.4	19.6	21.6	19.4	12.4	6.9	6.5	25.9	41.2	11.6	7.6	5.9	2.2	5.7
	女性	42.8	18.7	22.3	26.5	17.3	11.4	21.3	19.9	15.3	11.4	23.3	26.5	14.9	13.5	7.2	10.2	23.1	49.8	10.8	8.0	5.8	1.0	4.2
年齢別	20歳未満	52.0	20.0	28.0	20.0	24.0	36.0	28.0	44.0	24.0	24.0	40.0	28.0	32.0	32.0	24.0	24.0	44.0	36.0	36.0	36.0	20.0	0.0	4.0
	20歳代	49.6	15.0	15.8	17.3	20.3	14.3	10.5	24.1	12.8	10.5	25.6	23.3	18.8	9.0	5.3	6.8	29.3	41.4	13.5	10.5	6.0	0.8	7.5
	30歳代	50.0	20.9	18.4	21.5	27.2	18.4	16.5	15.2	11.4	10.8	25.3	23.4	16.5	8.9	8.9	7.0	31.0	44.9	14.6	11.4	8.2	0.6	5.1
	40歳代	48.4	19.7	19.7	22.3	18.1	18.6	14.4	15.4	9.6	9.0	20.7	22.3	19.7	14.9	4.8	7.4	30.9	56.4	11.2	5.9	5.3	1.6	3.7
	50歳代	37.9	15.5	16.8	27.3	27.3	19.9	17.4	16.8	13.0	10.6	19.3	18.0	16.8	15.5	4.3	5.0	27.3	42.9	6.2	3.7	5.0	2.5	6.8
	60歳代	36.8	18.4	31.9	28.6	20.5	17.3	17.3	12.4	17.8	11.4	20.0	28.6	15.1	14.1	8.1	11.4	13.5	46.5	7.6	4.9	3.8	1.6	5.4
	70歳以上	40.8	28.9	38.0	31.0	28.9	19.0	19.7	15.5	23.9	18.3	15.5	28.2	13.4	11.3	8.5	9.9	12.0	39.4	11.3	7.0	4.9	2.8	1.4
居住地	東海	32.8	19.7	19.0	26.3	30.7	18.2	22.6	37.2	16.1	16.8	39.4	43.1	37.2	34.3	8.8	10.9	38.0	34.3	13.1	11.7	5.8	0.7	2.2
	関東	45.2	19.3	20.5	25.9	25.0	17.6	15.5	11.0	13.1	8.9	17.0	19.0	14.9	9.8	7.4	8.6	22.3	47.6	12.2	8.9	5.4	1.5	7.1
	近畿	38.5	18.2	28.4	18.2	26.4	16.2	15.5	11.5	13.5	11.5	20.9	16.9	11.5	14.2	6.1	8.1	29.1	50.0	10.1	6.1	3.4	3.4	2.0
	北陸・甲信越	37.3	14.9	23.9	22.4	25.4	20.9	20.9	26.9	25.4	19.4	32.8	22.4	14.9	10.4	3.0	3.0	22.4	49.3	14.9	6.0	6.0	0.0	3.0
	東北・北海道	52.2	21.2	31.0	26.5	12.4	23.9	13.3	16.8	17.7	15.9	21.2	24.8	16.8	9.7	10.6	8.0	19.5	47.8	8.0	7.1	6.2	2.7	5.3
	中国・四国	44.2	22.1	26.7	24.4	20.9	27.9	19.8	17.4	14.0	12.8	16.3	27.9	10.5	4.7	8.1	10.5	23.3	47.7	12.8	8.1	10.5	1.2	4.7
	九州・沖縄	57.1	21.9	21.9	27.6	18.1	9.5	9.5	10.5	11.4	5.7	10.5	22.9	13.3	5.7	2.9	6.7	15.2	41.0	6.7	2.9	6.7	1.0	6.7

c. 名古屋の観光地としての魅力について

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は50.5%と半数を占め、「魅力を感じない」は13.8%と1割程度である。

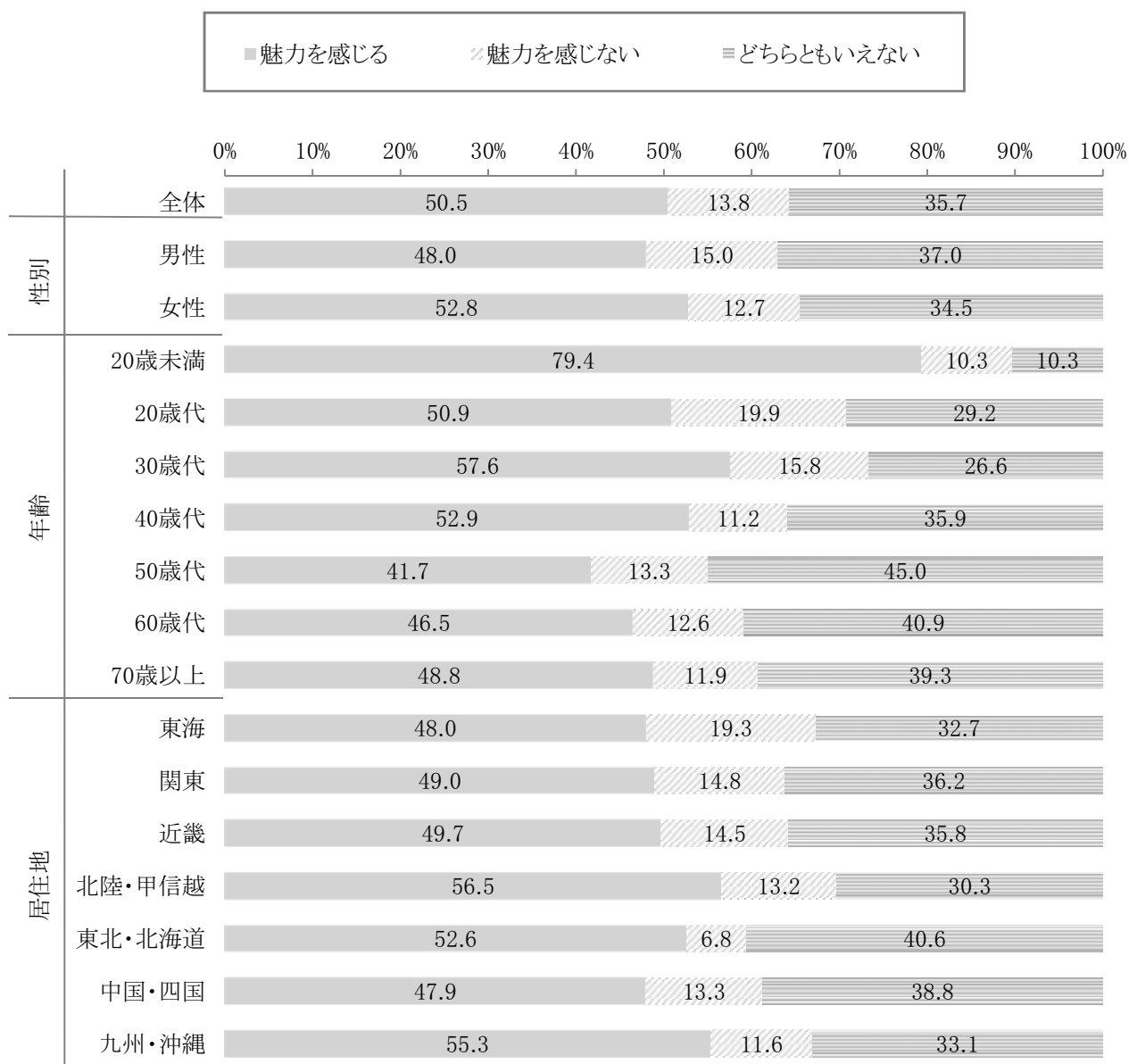
属性別にみても、すべての階層とも、「魅力を感じる」の割合は最も高く、次いで「どちらともいえない」となっている。

性別でみると、「魅力を感じる」の割合は、女性で男性より4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「魅力を感じる」の割合は、20歳未満で飛び抜けて高い。

地域別にみると、「魅力を感じる」割合は、「北陸・甲信越」「九州・沖縄」「東北・北海道」で相対的に高い。

図 2-3-3 観光地としての魅力



d. 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

名古屋に観光地としての魅力を感じない（158人）理由としては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が52.5%と最も多く、次いで「魅力ある観光施設が少ないこと」が39.2%となっている。

表 2-3-4 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由（3つまで回答）

（単位：％）

		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと （観光施設の閉館時間が早いことなど）	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体		52.5	17.7	5.7	39.2	12.7	5.1	10.1	3.2	5.1	3.8	5.1	9.5
性別	男性	54.8	17.9	8.3	46.4	13.1	3.6	9.5	3.6	4.8	3.6	7.1	4.8
	女性	50.0	17.6	2.7	31.1	12.2	6.8	10.8	2.7	5.4	4.1	2.7	14.9
年齢	20歳未満	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	46.9	25.0	15.6	50.0	6.3	3.1	12.5	3.1	0.0	3.1	3.1	6.3
	30歳代	37.9	17.2	10.3	13.8	13.8	10.3	17.2	0.0	6.9	3.4	3.4	13.8
	40歳代	47.8	13.0	4.3	39.1	8.7	0.0	0.0	4.3	8.7	8.7	8.7	4.3
	50歳代	70.8	20.8	0.0	50.0	25.0	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3
	60歳代	59.3	7.4	0.0	48.1	11.1	3.7	11.1	7.4	14.8	0.0	7.4	11.1
	70歳以上	60.0	15.0	0.0	40.0	10.0	5.0	15.0	0.0	0.0	10.0	10.0	15.0
居住地	東海	62.1	13.8	3.4	48.3	27.6	3.4	17.2	3.4	10.3	0.0	6.9	3.4
	関東	58.6	15.5	5.2	41.4	6.9	3.4	3.4	5.2	5.2	5.2	5.2	8.6
	近畿	44.0	16.0	4.0	44.0	8.0	8.0	12.0	0.0	0.0	4.0	4.0	8.0
	北陸・甲信越	40.0	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	東北・北海道	55.6	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	中国・四国	38.5	38.5	15.4	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
	九州・沖縄	42.9	14.3	0.0	35.7	7.1	7.1	14.3	0.0	14.3	14.3	7.1	14.3

(4) 観光振興について

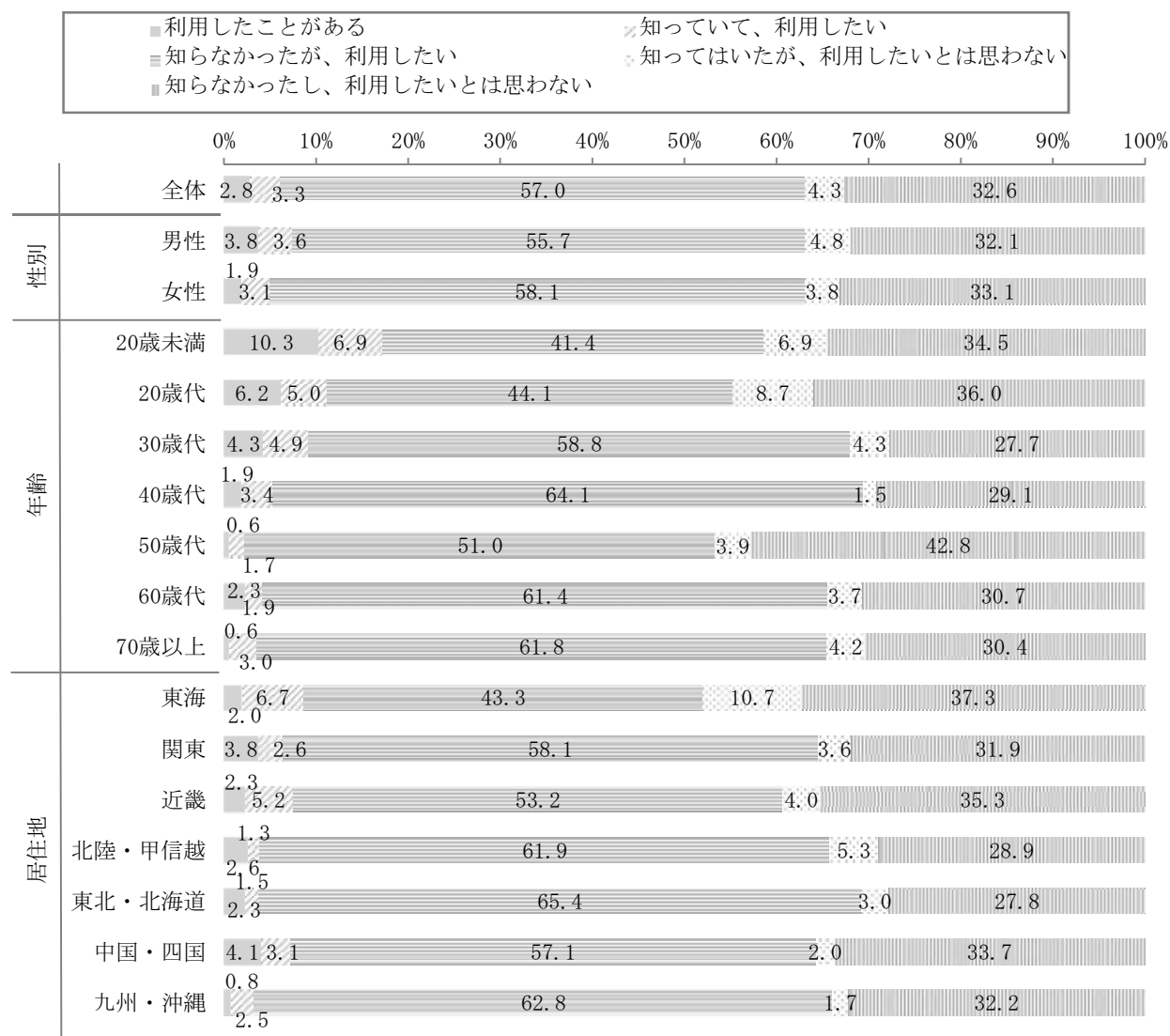
①なごや観光ルートバスについて

a. なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要な観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス（メーグル）を「利用したことがある」割合は2.8%と僅かである。「知っていて、利用したい」（3.3%）と「知ってはいしたが、利用したいと思わない」（4.3%）を合わせても認知度は10.4%と1割程である。また、「知っていて、利用したい」（3.3%）と「知らなかったが、利用したい」（57.0%）を合わせた今後の利用意向は60.3%と6割を超えている。

利用意向に着目すると、30歳代～40歳代、60歳代以上で割合が高い。地域別にみると、「東北・北海道」で利用意向のある割合が比較的高い。認知度は、一番高い「東海」でも19.4%と、まだ十分に周知はされていない。

図 2-3-4 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向



3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

①名古屋市内主要観光施設への観光入込客数の推移

平成29年における名古屋市内主要観光施設（31施設）への入込客数は合計で約2,884万人であった。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が709万人と最も多く、次いでナゴヤドーム（395万人）、東山動植物園（251万人）、名古屋港水族館（220万人）、名古屋城（183万人）とつづく。

年度と暦年のため単純比較はできないが、施設別に平成28年度の入込客数と比較すると、愛知県美術館の入込客が前年度比32.1%増と最も多く、次いで、でんきの科学館（14.9%増）、名古屋港（13.0%増）、名古屋港水族館（11.6%増）とつづく。

②名古屋市内主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数は表3-1-2の通りである。月毎の入込客数の変動が顕著な施設とその理由は、以下の通りである。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1月」の入込客が圧倒的に多い。

屋内型のレジャー施設である、名古屋港水族館、名古屋市科学館、トヨタ産業技術記念館、リニア鉄道館は夏休みである8月が特に入り込み客が多い。一方、屋外が中心の施設である、東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、名古屋農業センター、東谷山フルーツパークは、春季（3月～5月）に年間のピークを迎えている。

また四季の特徴でみると、花見の名所である名古屋城は4月、紅葉の名所である徳川園や白鳥庭園は11月の入込客が多い。

スポーツ関連施設であるナゴヤドームは8月、パロマ瑞穂スポーツパークは7月に、ともに夏休み期間の入り込み客が多い。

表 3-1-1 主要観光施設の入込客数の推移

(単位：人)

施設	年度・年	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年	平成 29 年度 (参考)
名古屋城		1,657,370	1,641,787	1,740,178	1,919,479	1,830,404	1,902,608
東山動植物園		2,228,650	2,271,248	2,583,986	2,408,400	2,512,291	2,600,686
東山スカイタワー		268,511	268,517	314,000	284,399	287,025	289,426
名古屋テレビ塔		242,286	269,852	325,462	299,953	297,436	299,842
熱田神宮		6,852,153	6,760,955	7,063,539	7,006,452	7,090,427	7,132,306
名古屋港		388,015	351,458	490,740	416,427	470,531	513,342
名古屋市科学館		1,436,926	1,394,003	1,382,275	1,379,293	1,277,909	1,219,408
徳川美術館		182,441	183,263	253,848	231,155	222,958	217,310
名古屋市博物館		456,102	426,518	437,550	451,666	447,718	547,975
東谷山フルーツパーク		469,843	520,078	483,182	480,833	428,631	434,798
農業文化園・戸田川緑地		1,188,451	1,135,295	1,119,575	1,156,780	1,075,147	1,082,610
でんきの科学館		292,131	293,669	313,455	243,722	279,932	294,832
名古屋市美術館		386,428	273,428	151,513	314,351	185,339	217,291
名古屋港水族館		2,040,420	1,967,223	2,051,785	1,967,486	2,195,051	2,221,822
トヨタ産業技術記念館		320,366	387,873	413,435	430,956	460,098	452,675
白鳥庭園		116,828	132,241	150,944	159,153	151,919	152,907
市政資料館		75,335	70,917	72,322	78,375	80,143	84,893
名古屋能楽堂		173,848	169,457	170,794	174,398	174,756	173,950
愛知県美術館		946,258	780,788	787,894	885,115	1,169,140	663,016
名古屋市農業センター		655,219	632,986	681,297	663,849	643,564	616,645
有松・鳴海絞会館		168,531	177,381	177,335	169,389	179,917	176,495
久屋大通庭園フラリエ		124,485	353,531	621,847	632,356	625,073	642,959
名古屋ボストン美術館		165,634	183,281	142,590	196,006	125,619	125,228
ノリタケの森		336,994	352,890	357,730	329,167	313,551	311,301
ブルーボネット		64,089	51,019	53,211	52,147	52,611	53,596
徳川園		233,203	285,957	320,341	320,335	300,498	300,027
文化のみち二葉館		33,485	35,942	37,555	34,085	32,174	30,886
スカイプロムナード		102,863	96,359	99,395	91,598	83,906	82,393
リニア・鉄道館		592,191	530,982	546,491	463,378	447,249	433,368
ナゴヤドーム		-	-	-	-	3,954,618	-
パロマ瑞穂スポーツパーク		-	-	-	-	1,449,293	-
主要観光施設の 入込客数合計		22,199,056	21,998,898	23,344,269	23,240,703	28,844,928	23,274,595

注1：平成 29 年調査より、ナゴヤドームとパロマ瑞穂スポーツパークの 2 施設を主要観光施設に追加した。

注2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計

注3：ランの館は平成 26 年 3 月に閉館し、久屋大通庭園フラリエとして平成 26 年 9 月に開館した。

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

施設	年月							
	平成 29 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
名古屋城	116,859	117,762	188,983	237,232	181,163	150,820	121,613	215,947
東山動植物園	95,398	110,001	272,932	309,599	352,774	172,670	93,378	259,959
東山スカイタワー	19,475	11,436	31,403	32,765	36,506	18,157	13,332	34,001
名古屋テレビ塔	21,981	18,875	25,192	22,996	29,278	23,317	24,321	31,989
熱田神宮	4,376,079	252,416	224,513	222,064	268,617	432,957	227,064	205,063
名古屋港 注 1	17,527	9,574	21,818	37,862	50,972	34,372	49,743	79,967
名古屋市科学館	132,410	109,835	117,653	100,499	123,645	68,209	106,705	193,058
徳川美術館	10,207	16,852	27,692	18,212	22,565	16,683	15,336	23,599
名古屋市博物館 注 2	37,713	41,723	14,179	12,751	25,868	19,013	37,639	79,796
東谷山フルーツパーク	16,721	24,313	39,888	129,089	52,275	20,651	18,596	25,214
農業文化園・戸田川緑地	50,366	51,837	109,237	119,516	185,299	83,594	76,441	86,187
でんきの科学館	0	22,112	29,860	20,307	23,289	16,569	29,848	60,334
名古屋市美術館	14,287	40,179	12,106	10,361	10,492	11,877	268	315
名古屋港水族館	103,008	97,967	171,718	127,573	193,086	151,149	254,170	476,674
トヨタ産業技術記念館	27,743	31,499	37,816	41,335	40,866	33,940	41,674	57,670
白鳥庭園	8,092	6,516	10,583	14,861	17,658	8,504	5,361	4,366
市政資料館	5,002	5,533	9,127	7,096	6,217	6,542	5,464	5,422
名古屋能楽堂	12,537	13,835	17,133	12,456	14,762	18,421	15,952	12,064
愛知県美術館	140,177	187,403	178,544	60,650	79,148	33,233	106,338	112,489
名古屋市農業センター	21,099	65,350	243,050	63,819	52,027	22,684	18,621	20,288
有松・鳴海絞会館	5,787	6,296	7,983	7,352	10,974	96,469	6,222	7,325
久屋大通庭園フラリエ	34,274	28,697	41,353	63,624	122,370	78,120	45,104	38,771
名古屋ポストン美術館	6,244	23,259	5,521	10,988	10,971	7,611	11,344	12,413
ノリタケの森	19,681	19,857	28,030	23,684	33,159	23,228	23,648	28,947
ブルーボネット	0	0	4,483	10,866	15,425	4,908	2,375	2,109
徳川園	16,700	20,438	33,483	29,502	30,922	22,565	17,108	21,598
文化のみち二葉館	1,478	3,270	5,657	2,249	2,765	2,098	2,091	1,849
スカイプロムナード	5,226	4,264	7,843	6,182	7,904	5,861	7,519	9,074
リニア・鉄道館	30,909	28,881	48,316	28,911	39,564	30,321	47,777	69,858
ナゴヤドーム	217,273	310,967	342,660	413,345	365,469	389,892	384,075	560,791
パロマ瑞穂スポーツパーク	55,709	60,980	70,955	113,756	160,815	154,739	229,657	155,968
主要観光施設の 入込客数合計	5,619,962	1,741,927	2,379,711	2,311,502	2,566,845	2,159,174	2,038,784	2,893,105

注 1 名古屋港：ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計

注 2 名古屋市博物館：常設展示室、部門展示室、特別展示室、講堂入場者延人数

(単位：人)

施設	年月	平成 29 年 9 月	10 月	11 月	12 月	合計
名古屋城		115,820	128,019	156,497	99,689	1,830,404
東山動植物園		198,756	197,184	310,488	139,152	2,512,291
東山スカイタワー		21,265	17,994	32,908	17,783	287,025
名古屋テレビ塔		23,913	24,499	21,591	29,484	297,436
熱田神宮		199,243	203,628	285,874	192,909	7,090,427
名古屋港 注 1		41,544	50,023	47,401	29,728	470,531
名古屋市科学館		79,364	85,137	88,030	73,364	1,277,909
徳川美術館		19,834	21,651	24,123	6,204	222,958
名古屋市博物館 注 2		39,598	46,835	68,627	23,976	447,718
東谷山フルーツパーク		28,279	29,576	29,626	14,403	428,631
農業文化園・戸田川緑地		78,540	100,294	83,470	50,366	1,075,147
でんきの科学館		20,477	22,158	19,039	15,939	279,932
名古屋市美術館		153	19,775	41,144	24,382	185,339
名古屋港水族館		182,631	167,290	138,299	131,486	2,195,051
トヨタ産業技術記念館		34,219	46,352	43,296	23,688	460,098
白鳥庭園		7,179	8,649	44,801	15,349	151,919
市政資料館		7,634	7,252	8,930	5,924	80,143
名古屋能楽堂		13,784	14,051	20,697	9,064	174,756
愛知県美術館		96,104	83,412	91,642	0	1,169,140
名古屋市農業センター		24,545	22,422	68,737	20,922	643,564
有松・鳴海絞会館		8,052	10,050	8,641	4,766	179,917
久屋大通庭園フラリエ		36,480	38,775	41,694	55,811	625,073
名古屋ボストン美術館		11,001	8,382	9,272	8,613	125,619
ノリタケの森		26,335	31,652	34,550	20,780	313,551
ブルーボネット		3,614	4,828	2,899	1,104	52,611
徳川園		19,367	21,415	49,980	17,420	300,498
文化のみち二葉館		2,384	3,039	3,717	1,577	32,174
スカイプロムナード		7,819	5,713	7,028	9,473	83,906
リニア・鉄道館		33,181	36,559	32,821	20,151	447,249
ナゴヤドーム		343,376	15,717	248,971	362,082	3,954,618
パロマ瑞穂スポーツパーク		124,925	149,891	115,932	55,966	1,449,293
主要観光施設の 入込客数合計		1,849,416	1,622,222	2,180,725	1,481,555	28,844,928

注 1 名古屋港：ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計

注 2 名古屋市博物館：常設展示室、部門展示室、特別展示室、講堂入場者延人数

(2) 名古屋のまちの印象（自由回答より）

観光入込客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見が挙げられた。

1. 良い点

【観光施設・観光スポット】

- ・ 名古屋城の周辺がとても良く美しい。(女性 50代)
- ・ 大須商店街がにぎわっていて好きです。(女性 70代)
- ・ 町がきれい。熱田神宮の自然が多くとても良い。(女性 60代)
- ・ 神宮周辺がきれい。(女性 60代)
- ・ 神宮内は自然がいっぱいで守られている。落ち着ける。(男性 20代)(女性 20代)(女性 30代)
- ・ 名駅がきれい。グルメ店が多く楽しい。(男性 20代)
- ・ 神宮の雰囲気がとても良い。(男性 20代)
- ・ 熱田神宮は想像より大きいと思います。咲いている梅がたくさんあってきれいです。交通も便利だと思います。本物の「末之貴紀」を見ました。宝物館で限定展出の「太刀朱銘 千代鶴国安」を見たい。(女性 20代)
- ・ 熱田神宮とっても素敵でした。また名古屋に来たいです。(女性 20代)
- ・ 栄でのショッピングが楽しかったです。(女性 20代)
- ・ レゴランドが楽しみです。(男性 30代)(女性 30代)
- ・ レゴランドが子供達が楽しみにしています。(男性 30代)
- ・ 水族館楽しかったです。(女性 10代)(女性 20代)(女性 50代)
- ・ 観光地たくさんあってもっと時間があったらまわりたかったです。(女性 30代)
- ・ 子供が動物園大好きです。(男性 40代)
- ・ 科学館楽しかったです。(女性 20代)(女性 50代)
- ・ 半年ほど前に引っ越してきて、初めて科博に来ました。前々から来たかったので、来れて良かったです。(女性 20代)
- ・ ペンギンを孫と一緒に見に来てよかったです。(女性 60代)
- ・ 観光資源が非常に多い。(男性 30代)
- ・ プラネタリウムと施設の充実さ。(女性 30代)
- ・ 前回来た時よりも水族館の内容が良くなっていて楽しめました。道路等(新東名の開通により)も時間が短くなり、来やすくなった。また訪れたいです。(女性 40代)
- ・ 水族館は生き物や動物がたくさんいて楽しかったし、生息している環境や生態についてとても分かりやすかったです。大変満足。また来たいと思います。(女性 10代)
- ・ 駐車場も空いていて道も広くて走りやすい。水族館の中の名古屋グルメ少し高いですが、外で探さなくてもよくていいなと思いました。(女性 40代)
- ・ リトルワールドの印象が強い。(男性 30代)
- ・ 名古屋城のおかげ横丁のようなところ(男性 60代)
- ・ 今回は通過のみなので良くわかりませんが、徳川美術館に興味があります。(女性 50代)
- ・ 水族館は、思ったより良かったです。もっと名古屋グルメを堪能したかった。(男性 60代)
- ・ ペンギンがかわいかった。(女性 10代)
- ・ プラネタリウムやっと来ることができました。(女性 60代)
- ・ 科学館大好きです。(女性 50代)

- ・ 新・御園座楽しみです。(女性 30代)
- ・ 科学館よかった。近くにあれば、頻繁に行きたい。(女性 30代)
- ・ 駅では人が多いが、科学館は緑が多くて、気持ちがいいです。(名古屋駅)。(女性 50代)
- ・ 動物園、楽しかったです。名古屋に誇りを持ちたい。(女性 10代)
- ・ 動物や植物をのんびりと見にきた。(男性 60代)
- ・ 色々変わった動物園が楽しみです。(女性 60代)
- ・ 東山動物園が以前より綺麗になってきた。さらに整備していくとよくなる。(男性 60代)
- ・ 熱田神宮の神秘的なパワーをたくさんいただきました。(女性 10代)
- ・ 熱田神宮の色々な意味での大きさに圧倒されました。(女性 40代)
- ・ 名古屋城の周り、活気があり良かった。(男性 30代)
- ・ 名古屋城天守閣の展示がとてもよかったです。(女性 10代)
- ・ 東南隅櫓を見られて良かった。(男性 60代)
- ・ おもてなし武将隊が凄く、カッコ良くてよかったです。名古屋城、本丸も綺麗です。(男性 40代)
- ・ 観光できるところが多い。(男性 10代) (女性 30代)
- ・ ノリタケの森は名古屋駅近くで、ゆったりとできる。素敵なところで気に入っている。(男性 60代)
- ・ 初めてのノリタケの森ですが、芝生もよくてとてもきれいなところでした。(女性 20代)
- ・ 名古屋城へ行ったが、市役所等の建物の方が気に入った。(男性 20代)

【行・催事、イベント】

- ・ お祭り、イベント、食べ物は名古屋で楽しめると思う。(男性 30代)
- ・ 区のおまつりなど色々なことがあるイメージ。(女性 30代)
- ・ たくさん良い場所があり、イベントも多く行われているので、面白いです。(男性 70代) (女性 40代)

【風景、景観】

- ・ きれいになりました。(男性 80代)
- ・ 地下鉄の案内表示が分かりやすい。きれいな町。ゴミが落ちていない。(男性 50代)
- ・ 名古屋駅周辺がとってもきれい。(女性 10代) (女性 60代)
- ・ 街並みがきれい。落ち着いた町。(男性 80代)
- ・ 街並みはきれい。(男性 20代、男性 30代、男性 50代、男性 60代、女性 20代、女性 30代、女性 40代、女性 60代、女性 70代) (男性 20代)
- ・ 街並みはゴミも少なく良かったです。(女性 20代)
- ・ 東京より道がきれい。(女性 20代)
- ・ 大阪、梅田に似ていると思ったが梅田よりきれい。(女性 50代)
- ・ 地下が広いと感じました。(男性 20代)
- ・ 高層ビルがたくさんあってびっくりした。(女性 40代)
- ・ 美しい整った町並。(男性 50代)
- ・ 町並みを見たい。(女性 70代)
- ・ とても美しい町、便利な町になりました。(女性 70代)
- ・ 綺麗に整備されて、にぎわいがあってよかったですと思う。また来ようと思う。(男性 40代)
- ・ 広くて、わかりやすい街並みで良かった。初めてきましたが、また来たいと思いました。(女性 50代)
- ・ 建物が多い。(男性 10代)

- ・ おしゃれな建造物が多い。(女性 20代)
- ・ 名駅など賑わっている所が多く、又行きたいです。昔と比べて街が綺麗(20年前)。(女性 50代)
- ・ 名駅・栄は、繁華街より、道裏の方がお店があって楽しいですよ。ちょっとさびれてる。(女性 20代)
- ・ 便利できれいだと思います。(女性 50代)
- ・ 古い町並がけっこう残っており、名古屋グルメもとてもおいしいです。(男性 20代)
- ・ 十分に季節をたのしめるところが多い。(女性 20代)
- ・ 人が多くて驚いた。街がキレイ。(女性 30代)
- ・ 空気おいしい。景色よし。(女性 70代)
- ・ 名古屋の街並みは美しいです。もっと上手く宣伝して！(女性 50代)
- ・ 綺麗で美しい町でした。食べ物もおいしかったです。(女性 20代)(女性 80代)
- ・ 街の美観や治安、公共交通の利便性。(女性 60代)
- ・ きれい、都会。(女性 40代)
- ・ 町並が綺麗。ビル街の中でも緑が多くて気持ち良いと感じました。(女性 20代)

【歴史との融合】

- ・ 駅周辺がとても発展していて予想以上だった。中心部の近くに歴史的な建物があって行きやすかった。(男性 20代)
- ・ 歴史がある場所が好きなのでとても楽しい。(女性 20代)
- ・ 歴史のある町でグルメも楽しみです。(男性 20代)
- ・ 名古屋は都市でありながら、熱田神宮、名古屋城などがあり、歴史好きの人たちにとって、非常に良いところであると思う。(男性 20代)
- ・ 歴史物が多くて好きです。(男性 10代)(女性 30代)
- ・ 歴史とグルメが楽しめて満足しました。(女性 20代)
- ・ 古き良きものから新しいものまで色々あって楽しい街だと思います。(女性 30代)
- ・ 歴史的施設をまた訪れたいです。(女性 50代)
- ・ 織田信長の影響からか。独特だと感じた。(女性 50代)

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ 住みやすい。(男性 10代)(男性 20代)(男性 30代)(女性 40代)(女性 60代)
- ・ 便利。(女性 70代)
- ・ ゆっくりのんびり出来る所が多い。(女性 50代)
- ・ 子育てに優しい町ですね。(女性 40代)
- ・ 町全体が明るくてよい。(住みやすそうなところ)(男性 40代)
- ・ 名駅がにぎやかでよい。(男性 20代)
- ・ 活気がある。にぎわっている。(男性 10代)(男性 50代)(女性 10代)
- ・ 住みやすそうな町。(女性 60代)
- ・ 落ち着いた町。(女性 50代)(女性 60代)
- ・ 便利なところと買い物しやすい。(女性 20代)
- ・ 産業の豊かさと住むには良いところ。(男性 40代)
- ・ 意外ににぎやかだと思った。(男性 70代)
- ・ 老人にやさしい街。(福祉関係)(男性 70代)
- ・ 街並みがすっきりして住み良い。(女性 70代)
- ・ ゆったりできてよいです。(女性 50代)

- ・ にぎやか。(男性 20代、男性 30代、女性 20代、女性 40代) (女性 50代)
- ・ 清潔、案内がわかりやすい。(女性 60代)
- ・ 都会だと思う。ビルの高さが違う。(男性 10代) (女性 20代)
- ・ 田舎から来たので駅前がとてもにぎわっていると感じました。(女性 20代) (男性 60代)
- ・ 最近駅前(名駅)が発展してきた楽しみ。(女性 20代)
- ・ 都会の要素が集まっている様。住みやすい。(男性 30代) (女性 10代)
- ・ 発展している。(男性 60代)
- ・ 田舎っぽさもあって、とても良い町です。(男性 20代)
- ・ 人がたくさんいて毎日にぎわっている。(女性 10代)
- ・ 人が多くてにぎやかだし、雰囲気華やかでいいです。(女性 10代)
- ・ 便利。程よい距離。(男性 50代)
- ・ 近くに都会があつていい。(男性 40代)
- ・ 色んな施設ができてきてとても良い。近場でこれるのでとても良い。(女性 40代)
- ・ 休日は落ち着いていて良く過ごしやすい。(男性 30代)
- ・ 平和。(男性 40代) (女性 10代)
- ・ 全体的に見ると快適。(男性 20代)
- ・ 普通にいい町。(女性 10代)
- ・ なんでもあるので、頻繁に訪れています。とても有難い町です。(男性 40代)
- ・ お店が増えた。(女性 40代)
- ・ 商業施設が多いので、買い物がしやすい。1回の買い物で行きたい、買いたいものがすぐにそろふ。
(女性 10代)
- ・ ほどよい賑わいで、街中も綺麗で、観光、ショッピング、食事もしやすく満足しました。(女性 50代)
- ・ のびしろのある街。発展してってください。(男性 30代)
- ・ どこに行くにも便利で、住みやすいです。(女性 30代)
- ・ にぎやか。大きい。(男性 10代)
- ・ 活気がある。(男性 60代) (女性 30代)
- ・ ショッピングする所も多く、その多くの場所に、子供用の遊ぶ場所や、トイレ、ベビーカーがあるので使いやすい。栄や大須にも、地下鉄で移動しやすいので、子供も行きやすい。(女性 20代)
- ・ 暮らしやすい町だと思います。(女性 30代)
- ・ 星ヶ丘へ久しぶりに来て、おしゃれな店があるのに、びっくりした。(女性 60代)
- ・ ゆったりしている感じ。(女性 60代)
- ・ 治安がいい。人通りが多く、にぎわっている。(男性 10代)
- ・ 名古屋の住人です。毎日、散歩でかける公園等が多く、感謝しています。(男性 70代)
- ・ 住みやすい町。(男性 40代) (女性 40代) (女性 50代)
- ・ 県外から来て4年になりますが、大変心地よく過ごしています。(男性 20代)
- ・ 名古屋駅の人の多さにびっくり。(女性 40代)
- ・ にぎやか・派手な感じ・グルメはうまい。(女性 20代)
- ・ 思っていたより都会でビックリしました。(男性 20代)
- ・ 仙台や福岡地方みたく都市の中で大きく利便性高く気に入っている。以前訪れたとき駅前が変わっていて広く感じました。グルメパンフレット(あったらすみません)とか駅でもらえる名古屋が楽しいです。(男性 20代)
- ・ 適度な人混みでよかったです。(女性 20代)
- ・ 広くてゆったり。(男性 30代) (女性 60代)

- ・ とても都会で何でもあって、電車もすぐに来るので、便利だと思った。(男性 20代)
- ・ 金シャチ横丁ができるのが楽しみ。(女性 40代)
- ・ 街中も東京ほど人がいなくて、ほっとする場所も多くありました(女性 60代)
- ・ 都会的でビックリしました。次は歴史的なものを見て観光したいと思います。(男性 30代)
- ・ 名古屋の発展を祈っています。(女性 60代)
- ・ 活動的な駅前(女性 70代)
- ・ 少しずつ良くなっていると思う(男性 70代)
- ・ 街がゆったりしていて綺麗。(女性 60代)
- ・ のんびりしていて好きです。(女性 80代)
- ・ 自由に生活しやすい環境(女性 20代)
- ・ ビルが新しくなりよくなった。(男性 60代)
- ・ ちょうど良い大きさ(都市として)利便性もよい、道路も広い。施設も充実している。(女性 10代)

【名古屋グルメ】

- ・ “名古屋めし”が美味しいです。(男性 10代)(男性 20代)(男性 30代)(男性 40代)(女性 10代)(女性 20代)(女性 30代)(女性 40代)(女性 50代)(女性 60代)(女性 80代)
- ・ 安い・活気がある。(女性 20代)
- ・ 名古屋飯が好きで食べ歩きしている。(女性 40代)
- ・ とても大きな都市だと思いました。味噌カツが美味しかったです。(男性 10代)
- ・ 個性的な食べ物、文化、歴史的施設があり、魅力的な町だと感じます。(男性 40代)
- ・ モーニング充実していていいなと思います。(男性 30代)(女性 40代)
- ・ カフェがおしゃれでいい店がいっぱいある。(女性 30代)
- ・ 味噌串カツ。地下鉄も乗りやすくて良かった。(女性 20代)
- ・ 食べ歩きをもっとしたい。(男性 20代)
- ・ 道が広い。おいしい物がたくさんある。二回訪問では食べきれない。(男性 60代)
- ・ 買い物する所や飲食店が多く、食べる所に困らなかった。(女性 20代)

【名古屋人、気質】

- ・ 地下鉄(金山)にボランティアの案内人がいて親切でよかった。(間違えてあおなみ線に乗るところでした)(女性 60代)
- ・ バスガイドさんが分かりやすい。(女性 20代)
- ・ 名古屋城のガイドが凄くよかった。(女性 30代)(女性 60代)
- ・ 名古屋おもてなし武将隊がかっこいい。(女性 10代)
- ・ 人が優しい(男性 20代)(女性 20代)(女性 30代)(女性 60代)(女性 70代)
- ・ 駅でも親切にしてもらえ、初めてで1人でしたが無事目的地にも着きました。(女性 10代)
- ・ 名古屋おもてなし武将隊で、名古屋PRをどんどんしてください。(女性 40代)

【道路・道路交通】

- ・ 道路が広くて車が走りやすいのが良いです。(男性 40代)(男性 60代)(女性 30代)(女性 40代)(女性 50代)
- ・ 駐車が広くてよい。静かでとても良い。(女性 30代)
- ・ 道路が広い。(男性 20代)(男性 40代)(男性 50代)(女性 20代)(女性 30代)(女性 50代)

代) (女性 70代)

- ・ 道路の混雑が少ない。(男性 50代)
- ・ 道が綺麗 (ゴミが落ちていない、緑もある) (女性 40代) (女性 50代) (女性 60代)
- ・ 道路がわかりやすくよかったです。(女性 10代)
- ・ 交通や道路も割と整備されておりちょうど良い感じですよ。(女性 60代)

【公共交通】

- ・ 歩きでも色々行ける交通網があって良いと思います。(男性 20代)
- ・ 敬老パスを楽しみにしています。宜しくお願いします。(女性 50代)
- ・ 公共交通が便利で良いと思います。(男性 10代) (男性 20代) (男性 30代) (女性 20代) (女性 40代) (女性 50代) (女性 60代) (女性 70代)
- ・ 名古屋から各地へのアクセスが良い。(女性 10代)
- ・ 交通についてはバス等が町の隅々まであり利用しやすいと思う。(男性 10代)
- ・ 案内表示とアナウンスできちんと案内してくれる。(男性 60代)
- ・ 路線バスが安心して乗れてよかった。電車の便も良いと思った。(男性 20代)
- ・ 市バスの本数が多くて便利になった。(女性 20代)
- ・ 入場料や地下鉄の料金が安いのでうれしいです。(女性 40代)
- ・ 東山動物園に行きやすい。(交通) (女性 20代)
- ・ 交通の便の良さ・街の整備が行き届いている。(女性 30代)
- ・ 土日エコキップで割引されたのがよかった。(女性 10代)
- ・ 金山駅の乗り換えがとても分かりやすかったです。(女性 20代)
- ・ 公共交通の案内の表示がわかりやすいです。(男性 50代) (女性 30代) (女性 40代)

【その他】

- ・ 思ったよりしずか。(男性 20代)
- ・ 次回は家族を連れていきたいです。(女性 40代)
- ・ 30年ぶりに来てみて良かった。より新しい物、小学生の為になると思われました。(男性 70代)
- ・ 忍者がかっこよかった。(女性 20代)
- ・ 徐々に来る度が変わるので、楽しく見せてもらいました。(男性 50代)
- ・ 工場とか鉄のイメージ。(男性 20代)
- ・ 朝早くから活動しているイメージ。(女性 20代)
- ・ 久しぶりに来たら、駅前が大変身していてびっくりしました。(女性 50代)
- ・ 施設はどこも素晴らしい。(女性 50代)
- ・ 名古屋名物がたくさんあり、特徴的。(女性 20代)
- ・ 他の都市と比べなくてもいい。名古屋は名古屋でいいところもあると思うから。(男性 40代)
- ・ 色々楽しい場所があり、楽しんでいます。(男性 50代)
- ・ 名古屋の街のスケールは、当方県と違い大きいですね。楽しませてもらってます。(女性 60代)
- ・ 三重から訪れやすく、また、ショッピングも気軽に楽しめる。とても良い街です。(女性 20代)
- ・ 東京で有名なお店が、栄や大須にある所がいい。(女性 10代)
- ・ 地図などが多数設置されていて、迷うことが少ないので、市外から来た人々にも優しいと思いました。(男性 10代)
- ・ おしゃれな人が多い。(男性 20代)
- ・ 子供無料が多くちょうど良い。(女性 40代)
- ・ 大好きな街です。少し田舎っぽいところが気に入っています。(女性 70代)

- ・ 静かで良い。(男性 20代)
- ・ 昔より良くなりました。(男性 70代)
- ・ とても魅力的な街だと思います。(女性 40代)
- ・ お店が多い(女性 20代)
- ・ 夜の街もステキでした。(女性 70代)
- ・ 東京都と比べても意外と栄えていて、びっくりしました。(男性 20代)
- ・ 名古屋で生まれ育ちましたが大好きです。良い所だと思いますのでPRを上手に(男性 50代)
- ・ 色々な施設があり、一日楽しめる。グルメ、国とか関係なく色々な種類がある。ビルばかりでなく、緑もたくさんあった。(女性 50代)

2. 不満な点、要望

【観光施設・スポット】

- ・ 動植物園、水族館を一体化して総合的に楽しみたい。(男性 60代)
- ・ 東京・大阪に負けないレジャーが欲しい。(女性 20代)
- ・ 観光名所・スポットが少ない。(男性 10代)(男性 20代)(男性 30代)(男性 40代)(男性 60代)(男性 80代)(女性 20代)(女性 30代)(女性 40代)(女性 60代)(女性 70代)
- ・ 名古屋港周辺の活性化。(男性 30代)
- ・ 木造天守を実現して欲しい。(男性 50代)(男性 70代)(女性 70代)
- ・ 歴史的な名物がないと思う。(男性 40代)
- ・ 熱田神宮をもっとアピールして欲しい。(男性 50代)
- ・ 県外からのお客を案内する時、名古屋城以外ない。(男性 30代)
- ・ 遊ぶところが少ない(女性 70代)
- ・ 名古屋港の発展が、長崎、神戸、横浜に比べて遅れている。食べる所、遊ぶところが少ない。(男性 70代)
- ・ 子連れで遊べる場所も増やして欲しい。(女性 30代)
- ・ 子供と一緒にいける場所が、便利な場所があると嬉しい。その近くに飲食店もたくさんあると嬉しい。(女性 30代)
- ・ 他県の友人を案内できる所が少ないと感じます。(女性 20代)(女性 50代)
- ・ 東山動物園の駐車場が少なすぎる。(女性 20代)
- ・ 是非、名古屋城天守閣の復元と、地下鉄をのぼして、地下鉄を安くしてほしい。モノレールを直してほしい。お堀を綺麗にして、船で遊覧したい。(男性 40代)
- ・ 物価は高いが、飯も特徴的でおいしい。ただ主要な観光施設(トヨタ博物館など)が、市外にあるのは不便を感じる。(男性 20代)
- ・ 歴史的な施設に遊べる所が必要。(男性 30代)
- ・ 熱田神宮前の商店街の再開発。おかげ横丁みたいに、変化を希望します。(男性 40代)(男性 50代)(女性 30代)
- ・ 中川運河をもっと活性化してほしい。名駅から名古屋城までを楽しい街並みを作る。特に街道等を見てまわる人が多い。(男性 50代)
- ・ 名古屋駅のコインロッカーが少ない。(女性 30代)
- ・ 名古屋城の他には、あまり行くところがない。(女性 50代)
- ・ 観光客の買い物通りが欲しいですね。(男性 40代)
- ・ レゴランドは大変良かったですが、敷地内に食事をする施設がとても少なかったのが残念でした。(男性 50代)(女性 30代)
- ・ 名古屋市民も、もっと城を見るべき。(男性 60代)

- ・ 町並みがあまりおもしろくないと感じる。観光地や行きたいと思うような場所が少ない。名古屋駅周辺は最近もりあがってきているが、栄の大通りのにぎわいをもっと増したらいいと思う。若者を他都市からひきつけるまちになってほしい。(男性 20代)
- ・ もっと武将隊で盛り上げて欲しいです。(女性 30代)
- ・ 名古屋城に授乳室をつくって欲しい。他施設にも。子連れにやさしい環境づくり。(女性 30代)
- ・ 古い街並みを残してほしい。笠寺は古い家が壊されて残念。(女性 50代)

【公共交通】

- ・ 交通が不便。(男性 30代)(女性 50代)(女性 60代)
- ・ 大曽根駅を地下鉄・名鉄・JRの駅を一緒にしてほしい。(男性 70代)
- ・ 市内施設に行くのに交通の便が悪い。(男性 70代)
- ・ バスの並び方が若い人がなっていない。マナーが悪い。(男性 60代)
- ・ 地下鉄のゲートを増やしてほしい。(男性 30代)
- ・ 電車が安い。(男性 40代)(女性 30代)(女性 60代)
- ・ パスも(オートチャージができなかった)不便。(女性 60代)
- ・ 公共交通が分かりづらいです。(慣れてないのもありますが…) (女性 20代)
- ・ せっかく人口も多くにぎわっているのに、電車をもっときれいに発達して、街並みもきれいだと思えます。(女性 20代)
- ・ 名鉄と名古屋市営地下鉄を値段を統一して欲しい。(男性 20代)
- ・ しいて言うならば、名古屋駅に、名城線を通して欲しい。(女性 10代)
- ・ 日中のメーグルバスの本数がもう少し頻繁にあれば、もっと good でした。(女性 50代)
- ・ 京都市内のように、バスの本数を増やして、便利にして欲しい。(女性 40代)
- ・ 地下鉄が混みすぎ。歩きにくい。(男性 40代)
- ・ 名古屋から東山動物園行きの電車が混んでいて少々不便に感じました。(女性 20代)
- ・ 市バスの本数が少ない (男性 20代)
- ・ リニア開通による、まちづくりに期待しています。(男性 40代)
- ・ 市の地下鉄で、乗り換え時方向によって、使うエスカレーターが違うのが不便。(女性 50代)
- ・ 名古屋城直通メーグルの本数が少なく、名駅からの便は、いつも満員で、お子さん連れは大変。休日は本数を増やして欲しい。(女性 40代)
- ・ 市バスの始発を早くして欲しいと思えます。(女性 50代)
- ・ 交通マナーが悪い。(男性 20代)(女性 50代)

【道路、道路交通】

- ・ 車の運転が荒い。(男性 20代)(男性 30代)(男性 60代)(女性 20代)(女性 30代)(女性 40代)(女性 50代)
- ・ 車線変更がしにくい。運転しにくい。(女性 50代)
- ・ 車が多いせいか車線変更がしにくい。分かりにくい。(男性 30代)
- ・ 道路が走りにくい。(車が多い) (男性 40代)
- ・ 高速、駐車料金が安い。(男性 30代)(女性 40代)
- ・ 路駐が多い。(女性 20代)
- ・ 横断歩道が渡りにくい(四角くなっていないので) (女性 60代)
- ・ 横断歩道や道路の白線が薄い。(女性 40代)
- ・ 渋滞が多いので何とかして欲しい。(男性 30代)
- ・ 道路(車線)がわかりづらい。(女性 50代)

- ・ 交通量が多い。(男性 30代) (女性 50代)
- ・ 路上駐車や、危険運転の人が多くて怖い。(女性 30代)
- ・ 歩きやすい道と、歩きにくい道が両極端すぎる。交通マナーが結構悪く感じます。(女性 20代)
- ・ 車がないと生活が不便な街。(女性 70代)
- ・ 自転車専用道路を明確にして欲しい。(男性 50代)
- ・ 一方通行が多い。(男性 60代)
- ・ 道路が広くて、車で走るのにわかりづらい。(男性 60代)
- ・ 道路が複雑。運転が難しい。(男性 50代) (女性 10代)
- ・ 車両が多く道路が混んでいて、ストレスがたまる。(男性 40代)
- ・ 街路が草が伸びていたり、汚れていたり、気になる工事が多く、道路が体の不自由な人には考えられていない。(女性 60代)

【駐車場】

- ・ 名古屋の駐車場(道路で土・日は駐車可になる所)の場所が、分かるようにして欲しい。(女性 40代) (女性 50代)
- ・ 路駐が多い。(男性 30代)
- ・ 駐車代高い。(男性 20代) (男性 50代) (男性 70代)
- ・ 駐車場代がどこに行ってもかかるのがネック。(女性 40代)
- ・ 東山通り、谷口の信号へ向かう通りの路上駐車を規制して欲しいです。(女性 30代)
- ・ 駐車場が近くて安くとめられるといいです。(男性 40代) (女性 30代)
- ・ 路肩駐車が、走行しにくい。(男性 40代)
- ・ 駐車場が少ない。(男性 20代) (男性 60代) (女性 40代)
- ・ 熱田神宮や、名古屋ドームの駐車場を増やしてほしい。(男性 30代)

【案内、表示】

- ・ 目的地の道順が分かりにくい。(女性 60代)
- ・ 観光情報少ない。(男性 50代)
- ・ 道案内が不親切。(地下に地図があり地上にはない、京都・広島では考えられない) 多言語が進んでいない。(男性 40代) (男性 60代) (女性 40代)
- ・ コインロッカーが分かりにくいし、少ないし案内もない。(女性 20代)
- ・ 名古屋駅の地下鉄やっぱりわかりにくいです。床か天井に案内線を引いてみては？(女性 40代)
- ・ 名古屋駅の乗り換えが分かりづらい。(男性 20代)
- ・ 東京から来ると地理感覚が分からない。(男性 40代)
- ・ 休業日がわかりづらい。(男性 20代)
- ・ トイレ迷う。(女性 30代)
- ・ 一つ目の場所に行くのに迷うことが多い(特に初めて行くところ)。(女性 30代)
- ・ 地下鉄がわかりづらい。(男性 20代) (男性 50代) (女性 30代)
- ・ 大きくて迷う。(女性 40代)
- ・ 中国の方が多いので中国語の案内を充実させたらどうか。(男性 30代)
- ・ 公共交通機関相互の乗り換えがわかりにくい。名古屋駅周辺だけが、混雑している印象。信長・秀吉などの武将に頼りすぎない方が良い。(男性 60代)
- ・ 広くて把握できない。もっとわかりやすいPR。(男性 60代)
- ・ もっと英語の表記や、外国語を増やす。(男性 20代) (男性 40代) (女性 40代)
- ・ 市バスの乗るところ、ルートがわからず、迷いました。(男性 30代) (女性 40代)

- ・ 栄、大須、名古屋とスポットが分散しているのが良い反面、初日ではわかりにくく、行くところを選ぶ。例：大須でお土産を買いたい。栄はらしさがない。(男性 30代)
- ・ 市バスの乗り方、行き先などがわかりにくい。(女性 40代)
- ・ 行きたい所へのアクセスがわかりにくい。人により教えてくれる事が違う。まよってしまう。(女性 60代)
- ・ イベントの案内図、スケジュールなどの案内がもう少しあるとわかりやすいです。(女性 40代)
- ・ 市内を散策していて、地図面がないので苦労した。(女性 60代)
- ・ 名古屋駅と栄地下の案内表示がとても分かりにくいし、すっきりしていないので、旅行する人が大変だと思います。(女性 40代) (女性 50代)
- ・ 公共交通の利便性は良いが、分かりづらい。JR、名鉄？私鉄？地下鉄等があり複雑に感じました。(女性 20代)

【宣伝、告知】

- ・ PR 不足。良いものをもっと PR した方が良い。(男性 50代) (女性 20代) (女性 30代) (女性 40代) (女性 50代) (女性 70代)
- ・ 関東の方面でもっと名古屋を PR して欲しい。(男性 50代)
- ・ ホームページが弱く、インバウンド対策がされていない。行きたい所が見つからない。(男性 40代)
- ・ 東山・水族館・科学館は日本一なのでどんどん頑張って下さい。(女性 40代)
- ・ いいところいっぱいあるが知られてない。(女性 40代)
- ・ たくさん面白い場所があり、催しがあるのに、広報や PR がうまくなくて、市民にすら周知されていないのがとても残念です。(女性 40代)
- ・ なごやめしは、美味しいのに、なごやめしの PR が弱い。せっくなごやめし博覧会をしているのに、その効果が全くない。スペシャルスポーターの使い方も悪い。(女性 30代)
- ・ 季節のイベント情報をもっと欲しい。(女性 20代)
- ・ 市民に向けての案内ももう少し積極的に発信されるといいかと思います。(女性 60代)

【名古屋グルメ】

- ・ モーニング(小倉トースト、セット等)に期待していたのに駅前、スターバックスに人が並んでいてどこに行ったらよいか分からなかった。食文化が面白いので力を入れてどこの駅前でも名古屋のモーニングが楽しめるといい。(女性 40代)
- ・ 名古屋グルメをもっと売りに出してほしいです。(女性 30代)
- ・ レストランの値段が高い。(男性 40代)
- ・ 人が多くて幼児二人を連れて食事をする所とかに困りました。(女性 50代)
- ・ きしめんをもう少し安くして欲しい。名古屋飯の種類を増やしたらどうか。観光客がもっとお金を落としてくれると思う。(男性 30代)
- ・ 意外とみそかつを見ない。(男性 20代)
- ・ 飲食店が混みすぎて、時間がかかる。(女性 30代)
- ・ 夜が早いので、飲食関係がもう少し遅くまで営業して欲しいです(名駅や栄)。(女性 40代)
- ・ いい喫茶店がない。(女性 60代)
- ・ 名古屋めしチケットは使いづらい。(女性 40代)

【環境・衛生】

- ・ レジャー施設のトイレ、おむつ替えスペースが狭い。(女性 20代)
- ・ 野良猫の保護。(女性 70代)
- ・ ゴミが散らかっている。(男性 10代) (女性 40代) (女性 50代)
- ・ 木(街路樹)が少なく、暑い時につらい。(女性 30代)
- ・ 名古屋の整備、町をきれいにして。(汚い) 植木の手入れも間隔をまめに。ぼさぼさ。(女性 50代)
- ・ 空気が汚い。(女性 20代)
- ・ ゴミ箱がない。(女性 30代) (女性 40代)
- ・ タバコの吸い殻が多いと思う。(男性 50代)
- ・ 名古屋市内全体の歩道の舗装などをもっと美しくして欲しい。(女性 60代)
- ・ 整然とした町は美しいが、緑があるともっといい。(男性 40代)
- ・ 住んでいる街の街灯(明かり)が、暗いと思う。(女性 60代)
- ・ いちょうの木の枝を切らないでほしい。(女性 10代)
- ・ トイレが少ない。(男性 50代) (女性 10代)
- ・ トイレがきたない。(女性 10代)
- ・ トイレの便座が冷たいところが多い。(女性 60代)

【バリアフリー】

- ・ 狭い範囲に色んなものがある。地下鉄の階段が多すぎる。(女性 40代)
- ・ 名駅がベビーカーでは不便でした。(女性 30代)
- ・ 駅の乗り換えが歩いて遠い。エレベーターが少ない。(女性 60代)
- ・ エレベーターが使いづらい。子連れでは来たくない。(女性 30代)
- ・ 階段が多いので足がつらい。(女性 50代) (女性 60代)
- ・ 階段を減らしてエレベーターを増やしてほしい。(女性 30代)
- ・ 地下鉄のエレベーターが不便。ベビーカーがあると大変です。(女性 30代) (女性 40代)
- ・ バリアフリー(ユニバーサルデザイン)の設置が他都市に比べて遅い。(女性 50代) (男性 30代)
- ・ 地下鉄のエレベーターをもっと整備してほしいです。まだまだ少ないと思います。(女性 20代)
- ・ 子供が生まれるので、もっと子供に優しい街づくりを目指して欲しい。(男性 20代)
- ・ ベビーカーを使うようになって、地下鉄の不便さを感じる。車内のベビーカー置き場、エレベーターや、アナウンス不足、伏見駅の東山線など階段しかないホームがある。少子高齢化の今だからこそ、子育てしやすい街づくりを早急に進める必要があると思う。(女性 30代)
- ・ 栄駅のバリアフリーがいまいち。階段が多く、ベビーカーで移動ができない。地下鉄の駅のバリアフリー化をすすめるべき。(女性 30代)
- ・ 市内で、1~2番の観光客の多い施設。地下鉄から、地上へ出るエスカレーターを設置を至急検討して欲しい。大名古屋と言えない。(男性 70代)
- ・ 駅のエレベーターを増やしてほしい。(男性 30代)
- ・ 市バスの案内がもっとわかりやすければ、また利用したい。地下街からのエスカレーターを増やしてほしい。(女性 40代)
- ・ 地下鉄が階段が多い。荷物を持っていると大変。(女性 40代)
- ・ 足の悪いおばあちゃんでも楽しめる所をたくさん作ってほしい。(女性 10代)

【その他】

- ・ 金山の周辺が寂しかったです。(男性 60代)
- ・ 小さな子供向けの遊具が少ない。(女性 20代) (男性 40代)
- ・ イベント会場が少ない。(女性 50代)
- ・ 神宮前の商店街に活気がない。活気を戻して欲しい。(女性 60代)
- ・ 観光客の集客力がない。ターゲットの年代が狭く、2度同じところへは行きたいとは思わない。(女性 50代)
- ・ 鶴舞図書館をきれいにしたい。建物が古いのできれいにしたら、公園もあるのでもっと人が集まると思う。(女性 30代)
- ・ 駅前が都会らしくテンションが上がった。しかし大阪や京都にもあるお店ばかりで残念。(女性 20代)
- ・ 少し古臭い。もう少し明るい、子供の未来が明るくなるような施設作りを頑張ってください。(女性 30代)
- ・ 皆さん地下にもぐってしまうので、地上に出すような努力を。逆に地下街を売りにした大きなイベントはどうでしょう。(男性 40代)
- ・ 名古屋駅にロッカーが少ない。(女性 60代) (女性 70代)
- ・ 名古屋駅での自転車の駐輪スペースをもっと増やしてほしい。(男性 50代)
- ・ 子供向けイベントをもっと多くして欲しい。(男性 30代)
- ・ 自転車ガード整備を進めていって下さい。自転車が車道を走ると危険です。(男性 40代)
- ・ 徳川コースとか織田コースとか、歴史ツアーを組んだパックを作ればよいと思う。(男性 30代)
- ・ タクシーを安く利用できるサービス。(女性 30代)
- ・ 歩行者天国を毎週行ってください。(男性 40代)
- ・ 外国人を「外国」の人と見て、避けられ、残念。(女性 40代)
- ・ 気軽に学べる所が欲しい。(男性 30代)
- ・ 座れるところが少ない。(女性 60代)
- ・ コンサートホール・劇場が少ない。(女性 50代)
- ・ ナイトライフを充実させてほしいです。(女性 50代)
- ・ 名駅周辺の開拓をもっと押して行って欲しい。(女性 20代)
- ・ 名古屋は芸術関係が弱い。絵画展など、一流のものが素通りで寂しい。(女性 50代) (男性 80代)
- ・ もっと開放したサービスが欲しい。名古屋らしい観光を目指すべき。(男性 60代)
- ・ 名古屋オリジナルブランドがまとめて買えるお土産屋さんがあればうれしいです。(女性 40代)
- ・ 個人的には、遊ぶ場所が欲しいと思う。(男性 20代)
- ・ 映画館や、大きな劇場が増えると嬉しい。(女性 30代)
- ・ 大劇場(ロングラン)が減っているから、増やしてほしい。絵も名古屋をとばすのはやめてね。(女性 60代)
- ・ イベントがもう少し色々あるといいと思いました。(女性 30代)
- ・ 工事が多いですね。(女性 30代)
- ・ 夜早く暗くなる。(女性 50代)
- ・ 古い民家をもっと大切にしたらなお良い、水族館、名古屋城は近年大変良くなった。(男性 50代)
- ・ 武将隊が多くの人に知ってもらえるイベント。武将発祥地のイベントが増えるといいな。(女性 30代)
- ・ 夜が早いので観光客が夜楽しむ場所がないと聞いた。(女性 50代)
- ・ 名駅には何もないイメージ。栄で、やっとなにかあるイメージ。(女性 20代)

名古屋市観光客入込客数調査 調査票

※個別施設の情報が公開されることはありません。不明もしくは回答不可の場合は空欄で結構です。

※調査票は裏面もございます。お手数をおかけいたしますが、裏面までご回答をお願いいたします。

※飲食・土産物関連事業者の方は、名古屋市内の店舗・施設全体の状況についてご回答をお願いいたします。

■問1. 平成29年の入込客数(入場者数もしくは来客数) (平成29年1月から平成29年12月まで)

_____人、(市内:約 _____割、市外:約 _____割)

■問2. 平成29年の「外国人」の入込客数(入場者数もしくは来客数) (平成29年1月から平成29年12月まで)

_____人、(主な国籍① _____、② _____、③ _____)

■問3. 貴施設の月別繁閑についてお伺いします。(外国人ではなく施設全体での傾向です)

繁忙月に及び閑散月それぞれについて、最もあてはまる月に○をお付けください。(それぞれ一つ)

繁忙月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
閑散月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

■問4. 今後の外国人旅行客の受け入れについて貴施設はどのようにお考えですか。

1. 今よりも積極的に受け入れていきたい (積極的に受け入れたい国・地域名: _____) 2. 現状並みに受け入れていきたい 3. 外国人旅行客についてはあまり関心がない 4. 外国人旅行客について全く関心がない
--

■問5-1. 貴施設はこれまでにユニークベニュー(※)としてレセプション、パーティなどの用途で貸し出しを行ったことがありますか。

1. 平成29年、施設をユニークベニューとして貸し出した 2. 平成29年は貸し出さなかったが、過去に貸し出したことがある 3. 実績はないが貸し出し可能 4. 実績は分からない 5. 貸し出すことができない
--

※ユニークベニュー・・・歴史的建造物や公的空間・観光施設等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場

■問5-2. 問5-1で「1 平成29年、施設をユニークベニューとして貸し出した」と回答した施設にお聞きします。貴施設が平成29年1月1日から平成29年12月末までに貸し出したユニークベニューの件数、規模(参加合計人数)をご記入ください。※概ねの数値で結構です。

件数 : _____ 件 規模(参加合計人数) : _____ 人
--

■問6. 貴施設の決済で使用可能なカード・スマホ決済について、あてはまる番号全てに○印をお付けください。

1. VISA 2. MASTER 3. JCB 4. AMEX 5. 銀聯(Union Pay) 6. その他カード [_____] 7. スマホ決済 [対応可能な種類をご記入下さい: _____] 8. カード・スマホ決済には対応していない

■問7. 貴施設内には外貨両替機能・店舗・窓口等がありますか。あてはまる番号、記号に○をおつけください。

1. ある (a.米ドル b.中国元 c.台湾ドル d.香港ドル e.ユーロ f.韓国ウォン g.その他) 2. ない

裏面に続く→

■問8. 貴施設には外国語版のパンフレットがありますか。

- | |
|--|
| 1. ある (a.英語、 b.中国語簡体字、 c.中国語繁体字、 d.韓国語、 e.その他 []) |
| 2. 現在はないが、作成を検討している |
| 3. 現在もないし、今のところ作成の予定はない |
| 4. 以前は作成していたが、現在はない |

■問9. 貴施設のウェブサイトの外国語対応についてご回答下さい。

- | |
|---|
| 1. 対応している
(a.英語、 b.中国語簡体字、 c.中国語繁体字、 d.韓国語、 e.その他 []) |
| 2. 現在は対応していないが、対応を検討している |
| 3. 現在対応しておらず、今のところ対応の予定はない |
| 4. 一度対応したが、現在は更新ができていない |
| 5. その他 [] |

■問10. 貴施設は、公式 SNS を開設していますか。

- | |
|--|
| 1. 開設している
種別 (a. Facebook、 b. Twitter c. Instagram d.その他 []) |
| 2. 現在はないが、開設を検討している |
| 3. 現在もないし、今のところ開設の予定はない |

■問11. 貴施設内に、外国語表示の案内表記、客室での説明文などはありますか。

- | |
|--|
| 1. ある (a.英語、 b.中国語簡体字、 c.中国語繁体字、 d.韓国語、 e.その他 []) |
| 2. 現在はないが、設置を検討している |
| 3. 現在もないし、今のところ設置の予定はない |

■問12. 貴施設には、外国語での対応ができるスタッフはいらっしゃいますか。

- | |
|--|
| 1. いる (a. 英語 b.中国語 c. 韓国語 d.その他 []) |
| 2. 現在はないが、配置を検討している |
| 3. 現在もないし、今のところ配置の予定はない |

■問13. 貴施設における外国人対応で実施していることは何ですか。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 礼拝スペースの確保 | 2. 特別食の提供 (ベジタリアン、ビーガン等) |
| 3. 特別食の提供 (ムスリムなど宗教信仰者への対応) | 4. なし |
| 5. その他 [] | |

■問14. 今回の調査でご回答いただいた観光入込客数は、観光地点の中分類(観光庁の分類に基づく)ごとに集計し、個別施設・事業の値は公表しませんが、次回の調査における施設・事業別入込客数の公表の可能性をお尋ねします。(いずれか一つに○をお付けください)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 公表は可能 | 2. 条件付で公表できる：条件 [] |
| 3. 公表には支障がある | 4. 現時点で分からない |

■問15. 名古屋市観光施策に対する期待、要望等、ご意見がございましたらご記入ください

--

貴施設名：	回答部署名および担当者氏名
お電話番号：	FAX 番号：

ご協力誠にありがとうございました。2018年8月10日までに同封の封筒かFAX:052-307-1126までご返信いただけますと幸いです。

平成29年度 名古屋市観光客動向調査

名古屋市 観光文化交流局 観光推進室

調査場所：

(調査日：平成29年11月 日)

お楽しみのところ恐れ入りますが、
アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1 どこからお越しになりましたか (出発地はどちらですか)。1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|---------|------------------|-------|-------|
| 1 名古屋市内 | 2 名古屋市を除く愛知県 | 3 岐阜県 | 4 三重県 |
| 5 静岡県 | 6 その他の都道府県 (具体的に |) | |

問2 今回、名古屋を訪れた (今回の名古屋への旅行) 主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

- | | | |
|---------------------|---------------------------------|---|
| 1 観光施設の見学 | 2 ショッピング (非日常の買物。ウインドショッピングを含む) | |
| 3 観劇・コンサート | 4 イベント (参加・鑑賞) | |
| 5 飲食 | 6 その他の娯楽行為 (具体的に |) |
| 7 商用・公用 | 8 帰省・冠婚葬祭 | |
| 9 大会・学会・国際会議への出席・参加 | 10 その他 (具体的に |) |

問3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 雑誌・新聞をみて | 2 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて |
| 3 テレビやラジオ番組の情報から | 4 インターネットホームページの情報から |
| 5 友人・知人に薦められたから | 6 前に来たことがあり良かったから |
| 7 駅や電車内のポスター・広告 | 8 特になし |
| 9 その他 (|) |

問4 今回の訪問 (今日のお出かけ) で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1 名古屋城 | 2 トヨタ産業技術記念館 |
| 3 ノリタケの森 | 4 徳川美術館 |
| 5 徳川園 | 6 熱田神宮 |
| 7 白鳥庭園 | 8 東山動植物園 |
| 9 東山スカイタワー | 10 名古屋テレビ塔 |
| 11 名古屋市美術館 | 12 愛知県美術館 |
| 13 名古屋ポストン美術館 | 14 名古屋市科学館 |
| 15 でんきの科学館 | 16 名古屋市博物館 |
| 17 久屋大通庭園フラリエ (旧ランの館) | 18 名古屋港水族館 |
| 19 名古屋港 | 20 シートレインランド |
| 21 レゴランド®ジャパン | 22 有松・鳴海絞会館 |
| 23 ミッドランドスクエアなどの高層建築物 | 24 リニア・鉄道館 |
| 25 その他 (|) |

注：平成29年3月調査では問4の選択肢にレゴランド®・ジャパンを含まない。

問5 今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金もお答えください。（費用が市内のみか、市外分を含むかを選択）。

- 1 パッケージ旅行 およそ()円くらい(市内分のみ もしくは 市外分含む)
2 パッケージ旅行ではない

問6 今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えてください。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金以外の費用をお答えください。

①市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。

およそ()円くらい

②市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。（日帰りの方、宿泊施設に泊まらない方、名古屋市以外に宿泊の方は、該当するところに を記入してください。）

およそ()円くらい

- 宿泊しない（日帰り） 友人、知人の家に宿泊 名古屋市外に宿泊

③市内でのおみやげ代。

およそ()円くらい

④市内での飲食代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。

およそ()円くらい

⑤市内での入場料（観光施設等の入場料の合計額）。

およそ()円くらい

⑥市内でのその他費用。

およそ()円くらい

問7から問13については、名古屋市外からお越しの方のみお答えください。

問7 今回の訪問（旅行）での、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 大変満足 2 ほぼ満足 3 普通 4 やや不満 5 不満

※2枚目に続きます

問8 名古屋市に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 はじめて 2 2回目 3 3回目 4 4～9回目 5 10回目以上

問9 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

- 1 JR 2 名鉄電車 3 近鉄電車 4 自家用車
5 航空機 6 路線バス 7 観光バス 8 その他（ ）

問10 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

- 1 名古屋市内のみ 2 長久手・刈コパーク方面 3 明治村・犬山方面
4 瀬戸・小原方面 5 知多・常滑・セトリア方面 6 豊田・岡崎・足助方面
7 蒲郡・西浦・三谷方面 8 豊川・鳳来寺方面 9 豊橋・伊良湖方面
10 岐阜・関ヶ原方面 11 多治見・恵那・中津川方面 12 下呂・高山方面
13 長島温泉・湯の山・鈴鹿方面 14 伊勢・志摩方面
15 その他（ ）

問11 今回の訪問（旅行）での、名古屋の観光資源についてお伺いします。① 今回の訪問で満足されたもの、② 不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）
2 産業観光・ものづくりの施設（トヨタ産業技術記念館・ノリタケの森等）
3 レジャー施設（動植物園・水族館・科学館等）
4 都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須） 5 グルメ・なごやめし
6 お祭り・イベント 7 コンサートや観劇などの鑑賞
8 スポーツ観戦（野球・サッカー等） 9 その他（具体的に ）

① 今回の訪問で、満足されたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

② 今回の訪問で、不満を感じたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

③ 次回訪れてみたいものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

問12 今回の訪問(旅行)は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 日帰り 2 2日間 3 3日間 4 4日間 5 5日以上

問13 問12で回答が2日間以上のご旅行の方に伺います。

名古屋市内に宿泊される日数(予定も含む)をお教えてください。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 1泊 2 2泊 3 3泊 4 4泊以上
5 名古屋市内には宿泊しない

あなたご自身(回答者)についてご質問します。

問14 あなたの性別・年齢をお教えてください。(○は一つずつ)

①性別

②年齢

- | | | | |
|-----|----------|----------|----------|
| 1 男 | 1 10~19歳 | 2 20~29歳 | 3 30~39歳 |
| 2 女 | 4 40~49歳 | 5 50~59歳 | 6 60~69歳 |
| | 7 70~79歳 | 8 80歳以上 | |

問15 本日の名古屋訪問(名古屋への旅行)で同行されている方をお教えてください。(○は一つだけ)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 ひとり(同行者なし) | 2 友人・知人 |
| 3 幼児や小学生連れの家族 | 4 夫婦 |
| 5 家族(「3」・「4」以外) | 6 団体旅行 |
| 7 修学旅行 | 8 その他() |

[自由意見] 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査(宿泊施設)[対象年次:平成29年]

※個別施設の情報が公開されることはありません。不明もしくは回答不可の場合は空欄で結構です。

※平成29年(平成29年1月～12月)の状況についてご回答ください。

※調査票は6頁(裏面含む)ございます。お手数をおかけいたしますが、6頁目までご回答をお願いいたします。

■問1-1. 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 ホテル	2 旅館	3 簡易宿所(種別:)	4 下宿
5 その他[]			

■問1-2. 貴施設のタイプは、「4号営業ホテル」(風俗営業法第2条第6項第4号に該当)もしくは「新法営業ホテル」に該当しますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 該当する	2 該当しない
--------	---------

■問2. 貴施設の平成29年12月末時点の室数および収容可能人数をご記入ください。

	和室	洋室	和洋室	その他	合計
室数	室	室	室	室	室
収容人数	人	人	人	人	人

■問3. 貴施設の平成29年1月から平成29年12月までの宿泊客数(月別・合計)をご記入ください。
月別で把握出来ない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入いただける範囲でご回答ください。

注：連泊客の数え方

①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。

②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」...と数えてください。

	H29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

	8月	9月	10月	11月	12月	合計
①実人数	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人

次頁に続く→

■問4. 貴施設の日本人宿泊客の居住地についてご回答ください。

※多い順に都道府県名とその割合をご記入下さい。(概ねで結構です)
 1番目(、 %)、2番目(、 %)、3番目(、 %)
 4番目(、 %)、5番目(、 %)

■問5. 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間(平成29年1月～12月)でどの国(地域)から何人ありますか。
 なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。(概数でも結構です)

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	インドネシア	人		人
香港	人	ベトナム	人		人
台湾	人	マレーシア	人		人
韓国	人	英国	人		人
米国	人	ドイツ	人		人
タイ	人	フランス	人		人
シンガポール	人	オーストラリア	人		人

■問6. 貴施設の宿泊客の平均泊数についてご回答ください。

1泊(約 %)、2泊(約 %)、3泊(約 %)、4泊(約 %)、5泊以上(約 %)

■問7. 貴施設の宿泊客の利用目的についてご回答ください。

1 日本人宿泊者 【 観光・レジャー(約 割)、ビジネス(約 割)、その他(約 割) 】
 2 外国人宿泊者 【 観光・レジャー(約 割)、ビジネス(約 割)、その他(約 割) 】

■問8-1. 貴施設では、これまでに修学旅行団体(小・中・高校など)を受入れたことがありますか。
 また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 平成29年、受入れた。
 2 平成29年受入れなかったが、過去5年以内では受入れたことはある。
 3 実績はないが受入れ可能。
 4 受入れられない。

■問8-2. 問8-1で「1 平成29年、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。

貴施設が平成29年1月1日から平成29年12月末までに受入れた修学旅行団体の所在地(都道府県名)、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈記入例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

次頁に続く→

■問8-3. 問8-1で「1」以外を回答した施設にお聞きます。

貴施設が平成29年に修学旅行団体を受入れなかった理由をお選びください。(複数回答可)

1 施設が団体対応していない	2 空室がなかった	3 問い合わせがなかった
4 先方の予算と合わなかった	5 その他[]

■問9-1. 貴施設では、これまで以下の①～④の条件全てにあてはまる会議・研修・セミナーの会場として施設を貸し出したことがありますか。

【条件】

①参加人数10名以上 ②参加者に海外からの参加者を含む ③開催時間4時間以上

④ビジネス目的（商取引の促進、情報交換、ネットワーキング等）で開催。社交的・娯乐的活動の会議は含まない。

次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 平成29年、施設を会議会場として貸し出した。
2 平成29年は貸し出さなかったが、これまでに貸し出したことがある。
3 受入れ実績はない。
4 わからない。

■問9-2. 問9-1で「1 平成29年、施設を会議会場として貸し出した。」と回答した施設にお聞きます。

貴施設が平成29年1月1日から平成29年12月末までに受入れた会議・研修・セミナーの件数、参加人数をご記入ください。

件数： _____ 件	参加人数： _____ 人
-------------	---------------

■問10-1. 貴施設では、これまでに海外からのインセンティブ旅行(※)を受入れたことがありますか。

次のいずれか1つに○印をお付けください。

※インセンティブ旅行・・・企業等の行う報奨・研修旅行。企業が従業員やその代理店等の表彰や研修などの目的で実施するもの。

1 平成29年、受入れた。
2 平成29年受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。
3 受入れ実績はない。
4 わからない。

■問10-2. 貴施設では、今後のインセンティブ旅行の予約もしくは問い合わせを受けていますか。

次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 今後の予約もしくは問い合わせを受けている。
2 ない。

■問10-3. 問10-1で「1 平成29年、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。

貴施設が平成29年1月1日から平成29年12月末までに受入れた海外からのインセンティブ旅行の件数をご記入ください。

件数： _____ 件	参加人数： _____ 人
-------------	---------------

次頁に続く →

- 問 10-4. 名古屋市では、MICE 開催助成制度として、主催者へ「大規模インセンティブ旅行等開催助成」、「研修・視察旅行等誘致推進事業助成」を行っております。以下に記載しております、それぞれの助成要件(※)をご覧ください、貴施設での受入れ状況についてご回答ください。
※実際の要件の一部を記載しております。

(1)大規模インセンティブ旅行等開催助成

【助成要件】 次の条件を満たす海外からの企業ミーティング及びインセンティブ旅行
・名古屋市内での宿泊が連続して2泊以上かつ延べ2,000泊以上

次のいずれか1つに○印をお付けください。※宿泊の一部でも貴施設で受入れていれば、○印をお付け下さい。

- 1 平成29年、大規模インセンティブ旅行等開催助成に該当する旅行の受入れがあった。
- 2 平成29年は該当する受入れはなかったが、これまでに受入れたことがある。
- 3 助成要件に該当する旅行の受入れ実績はない。
- 4 わからない。

(2)研修・視察旅行等誘致推進事業助成

【助成要件】 次の①、②をともに満たす、企業・団体等が実施する研修・視察旅行
①名古屋市内での宿泊が延べ30泊以上
②ベトナム・台湾の企業等が主催

次のいずれか1つに○印をお付けください。※宿泊の一部でも貴施設で受入れていれば、○印をお付け下さい。

- 1 平成29年、研修・視察旅行等誘致推進事業助成に該当する旅行の受入れがあった。
- 2 平成29年は該当する受入れはなかったが、これまでに受入れたことがある。
- 3 助成要件に該当する旅行の受入れ実績はない。
- 4 わからない。

- 問 10-5. 問 10-4(1)で「1 平成29年、大規模インセンティブ旅行等開催助成に該当する旅行の受入れがあった。」と回答した施設にお聞きします。
該当する受入れの延べ泊数をご記入ください。
また、お分かりでしたら国・地域別の宿泊客数(実数)をご記入ください。(概数でも結構です)

延べ泊数: _____ 泊

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	インドネシア	人		人
香港	人	ベトナム	人		人
台湾	人	マレーシア	人		人
韓国	人	英国	人		人
米国	人	ドイツ	人		人
タイ	人	フランス	人		人
シンガポール	人	オーストラリア	人		人

■問 10-6. 問 10-4(2)で「1 平成29年、研修・視察旅行等誘致推進事業助成に該当する旅行の受入れがあった。」と回答した施設にお聞きします。

該当する受入れの延べ泊数をご記入ください。

また、お分かりでしたら国・地域別の宿泊客数(実数)をご記入ください。(概数でも結構です)

延べ泊数: _____ 泊

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	インドネシア	人		人
香港	人	ベトナム	人		人
台湾	人	マレーシア	人		人
韓国	人	英国	人		人
米国	人	ドイツ	人		人
タイ	人	フランス	人		人
シンガポール	人	オーストラリア	人		人

■問 11. 貴施設のウェブサイトの外国語対応についてご回答下さい。

- 1 対応している (a.英語、 b.中国語簡体字、 c.中国語繁体字、 d.韓国語、 e.その他[])
- 2 現在是对应していないが、対応を検討している。
- 3 現在是对应していない。今のところ対応の予定はない。
- 4 一度対応したが、更新ができていない。
- 5 その他[]

■問 12. 貴施設内に、外国語表示の案内表記、客室での説明文などがありますか。

- 1 ある (a.英語、 b.中国語簡体字、 c.中国語繁体字、 d.韓国語、 e.その他[])
- 2 現在はないが、設置を検討している 3. 現在もないし、今のところ設置の予定はない

■問 13. 貴施設には、外国語での対応ができるスタッフはいらっしゃいますか。

- 1 いる (a. 英語 b.中国語 c. 韓国語 d.その他[])
- 2 現在はいないが、配置を検討している
- 3 現在もないし、今のところ配置の予定はない

■問 14. 今後の外国人宿泊客の受け入れについて貴施設はどのようにお考えですか。

- 1 今よりも、積極的に受け入れていきたい
(特に積極的に受け入れたい国・地域があればご記入下さい: _____)
- 2 現状並みに受け入れていきたい
- 3 外国人旅行客についてはあまり関心がない 4. 外国人旅行客について全く関心がない

■問 15. (食事提供している場合)貴施設において、食事対応についてお答えください。

一部でも対応しているものがあれば、あてはまるもの全てに○をおつけください。

- 1 食事成分を表示 2 ベジタリアン対応の料理を提供 3 ビーガン対応の料理を提供
- 4 宗教(ムスリム等)に応じた食事の提供が可能 5 アレルギー対応が可能
- 6 その他[]
- 7 非該当

■問 16. 名古屋市の観光について、貴施設に宿泊のお客様からよくある質問がございましたらお書きください。

--

■貴施設の名称、所在地、電話番号についてご記入ください。

また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒 名古屋市
電話番号	
ご記入者	(ご所属) (ご氏名)

ご協力誠にありがとうございました。

2018年8月20日までに同封の返信用封筒かFAX:052-307-1126 までご返信いただけますと幸いです。

名古屋の観光に関する全国インターネット調査

■ 調査項目

番号	条件	内容
Q1	必須回答	過去5年以内に名古屋に何回訪れたことがありますか。
1		1回
2		2回
3		3～5回
4		6～10回
5		11回以上
6		訪れていない
		サンプル数(%ベース)

Q2	必須回答	名古屋には、以下に示すような観光資源があります。この中で、知っているものをお答えください。
1		名古屋城
2		徳川園
3		徳川美術館
4		熱田神宮
5		リニア・鉄道館
6		トヨタ産業技術記念館
7		ノリタケの森
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)
9		名古屋市美術館
10		名古屋市博物館
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)
12		東山動植物園
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)
14		大須(大須観音・大須商店街)
15		文化のみち(二葉館など)
16		有松(街並み、有松・東海紋会館など)
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)
18		名古屋まつり
19		にっぽんど真ん中祭り
20		名古屋おもてなし武司隊
21		その他
22		知っているものはない
		サンプル数(%ベース)

Q3	必須回答:Q1=1～5	名古屋の観光資源の中で、過去5年以内に訪問した場所又は経験したものを教えてください。
1		名古屋城
2		徳川園
3		徳川美術館
4		熱田神宮
5		リニア・鉄道館
6		トヨタ産業技術記念館
7		ノリタケの森
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)
9		名古屋市美術館
10		名古屋市博物館
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)
12		東山動植物園
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)
14		大須(大須観音・大須商店街)
15		文化のみち(二葉館など)
16		有松(街並み、有松・東海紋会館など)
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)
18		名古屋まつり
19		にっぽんど真ん中祭り
20		名古屋おもてなし武司隊
21		その他
22		訪問した場所又は経験したものはない
		サンプル数(%ベース)

Q4	必須回答	今後、名古屋を訪れたいと思いますか。
1		是非訪れたい
2		機会があれば訪れたい
3		訪れたいとは思わない
4		その他
		サンプル数(%ベース)

Q5	必須回答:Q4=1,2	名古屋の観光資源の中で、今後、訪問してみたい場所又は経験してみたいものは何ですか。
1		名古屋城
2		徳川園
3		徳川美術館
4		徳田神宮
5		リニア・鉄道館
6		トヨタ産業技術記念館
7		ノリタケの森
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)
9		名古屋市美術館
10		名古屋市博物館
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)
12		栗山動物園
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)
14		大須(大須観音・大須商店街)
15		文化のみち(二葉館など)
16		有松(街並み、有松・鳴海校舎館など)
17		レゴランド・ジャパン(平成28年4月開業予定)
18		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、さしめん、みそかつ、平羽先など)
19		名古屋まつり
20		たっぽんど真ん中祭り
21		名古屋おもてなし賞得獎
22		その他
23		訪問してみたい場所又は経験してみたいものはない
		サンプル数(%ベース)

Q6	必須回答	名古屋に観光地としての魅力を感じますか。
1		魅力を感じる
2		魅力を感じない
3		どちらともいえない
		サンプル数(%ベース)

Q7	必須回答:Q6=2	魅力を感じない理由は何だと思われますか。あてはまるものを3つまでお選びください。
1		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること
2		名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと
3		名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと
4		魅力ある観光施設が少ないこと
5		魅力あるイベントが少ないこと
6		魅力あるおみやげ品が少ないこと
7		交通アクセスが良くないこと
8		夜に楽しめる場所が少ないこと(観光施設の閉館時間が早いことなど)
9		観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと
10		まちがきれいでないこと
11		まちに緑が少ないこと
12		その他
		サンプル数(%ベース)

Q8	必須回答	名古屋市では、平成19年7月から、主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を運行しています。このバスをご存知でしたか。また利用したいと思いますか。あてはまるものをお選びください。
1		利用したことがある
2		知っていて、利用したい
3		知らなかったが、利用したい
4		知ってはいしたが、利用したいとは思わない
5		知らなかったし、利用したいとは思わない
		サンプル数(%ベース)

F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。
1		男性
2		女性
		サンプル数(%ベース)

F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。
1		20歳未満
2		20歳代
3		30歳代
4		40歳代
5		50歳代
5		60歳代
6		70歳以上
		サンプル数(%ベース)

F3	必須回答	お住まいの地域(都道府県)をお答えください。
1		北海道
2		青森県
3		岩手県
4		宮城県
5		秋田県
6		山形県
7		福島県
8		茨城県
9		栃木県
10		群馬県
11		埼玉県
12		千葉県
13		東京都
14		神奈川県
15		山梨県
16		長野県
17		新潟県
18		富山県
19		石川県
20		福井県
21		岐阜県
22		静岡県
23		愛知県
24		三重県
25		滋賀県
26		京都府
27		大阪府
28		兵庫県
29		奈良県
30		和歌山県
31		鳥取県
32		島根県
33		岡山県
34		広島県
35		山口県
36		徳島県
37		香川県
38		愛媛県
39		高知県
40		福岡県
41		佐賀県
42		長崎県
43		熊本県
44		大分県
45		宮崎県
46		鹿児島県
47		沖縄県
		サンプル数(%ベース)

※調査票の条件欄について
「Q1 = 1」は、「Q1で選択枝「1」を選択している人が対象」を意味します。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(平成 29 年)

平成 30 年 11 月発行

発 行 名古屋市観光文化交流局

業務委託先 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。